

「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)
結果とりまとめプレスリリース

資料2

関係人口の実態把握

補足資料

令和3年3月17日
国土政策局 総合計画課

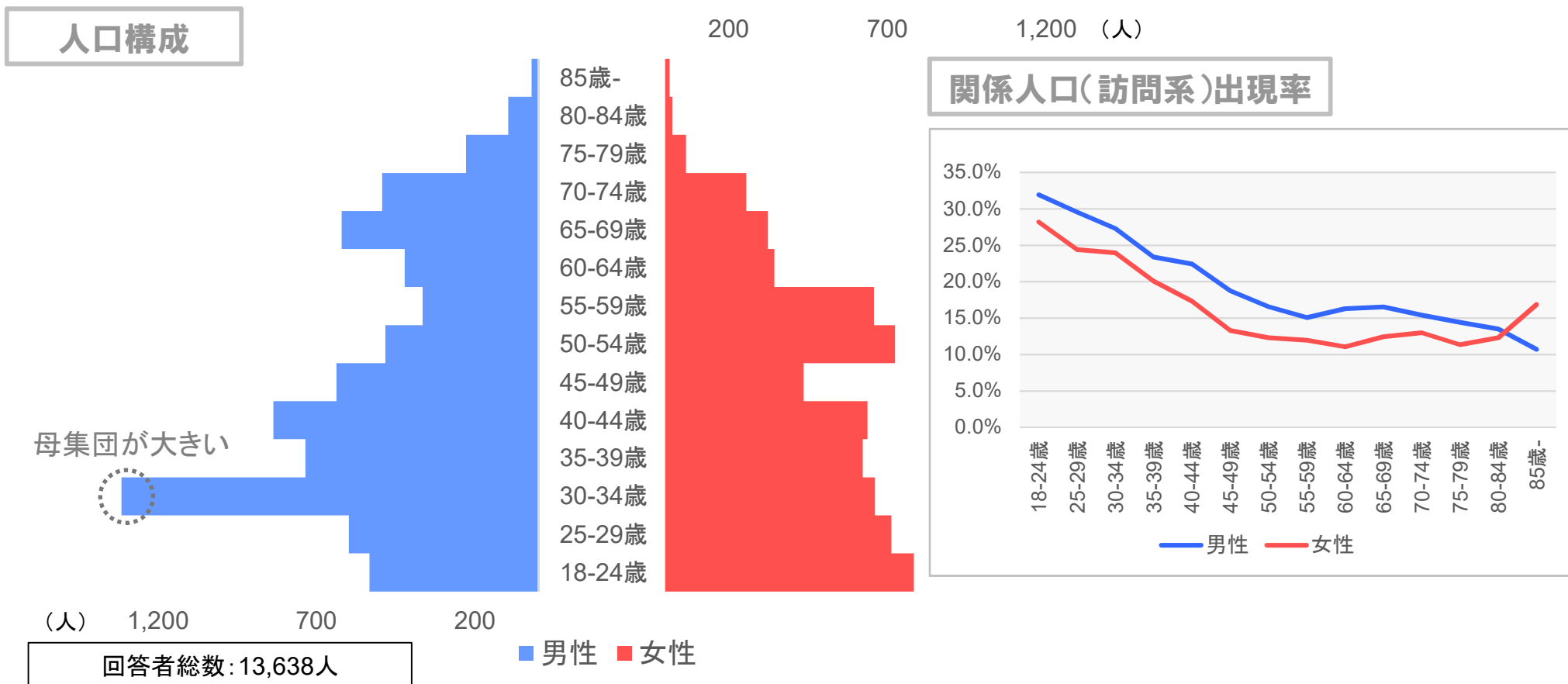
目次

1. 関係人口(訪問系)はどのような人たちか	2	5. 関係人口(非訪問系)の分析	66
(1) 関係人口(訪問系)の人口構成と出現率	3	(1) 関係人口(非訪問系)の取組内容	67
(2) 関係人口(訪問系)の職業	5	(2) 関係人口(非訪問系)の年齢構成	69
(3) 関係人口(訪問系)のペルソナ	7	(3) 関係人口(非訪問系)の世帯構成	70
2. 関係人口(訪問系)の年間訪問日数と過ごし方	15	(4) 地方部における居住経験の有無	71
(1) 関係人口(訪問系)の年間訪問日数の計算方法	16	(5) 地域に関わることとなったきっかけ	72
(2) 関係人口(訪問系)の年間訪問日数(推計)	17	(6) 新型コロナウイルスの影響	73
(3) 関係人口(訪問系)の過ごし方の種類とその内容	18	(7) 関わりのある地域への訪問の希望	74
3. 関係人口(訪問系)と地域の関わり	20	6. アンケート調査の内容	75
(1) 関係人口(訪問系)の関わり年数	21	(1) WEBアンケート調査概要	76
(2) 関係人口(訪問系)の訪問頻度	22	(2) WEBアンケート調査の枠組み	77
(3) 関係人口(訪問系)の滞在期間	23	(3) WEBアンケート調査フロー	78
(4) 関係人口(訪問系)の同行者	24	(4) WEBアンケート調査の地域区分	80
(5) 関係人口(訪問系)の過ごし方	25	(5) WEBアンケート調査結果の異常値棄却	82
(6) 関係人口の動態性(当初→現在の過ごし方)	27	(6) 関係人口の類型化(2次調査(訪問系))	83
(7) 関係人口(訪問系)になったきっかけ	28	参考. 関係人口(訪問系)のペルソナ分析	84
(8) 新型コロナウイルスが関係人口(訪問系)に及ぼした影響	30	(1) 分析指標の集約化	85
(9) 関係人口(訪問系)が地域との関わりを深めるために必要な要素	31	(2) 個人のライフスタイルに着目した分析	88
4. 地域内関係人口	32	(3) 世代と地域への関わり方に着目したブロック分析結果	92
(1) 本分析における地域内関係人口の定義	33		
(2) 地方区分及び都市雇用圏の区分	34		
(3) 分析フレーム	35		
(4) 三大都市圏の大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態	36		
(5) 三大都市圏以外の大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態	37		
(6) 小都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態	38		
(7) 東京大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)	39		
(8) 東京大都市雇用圏に居住している地域内関係人口	42		
(9) 新潟大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)	48		
(10) 新潟大都市雇用圏に居住している地域内関係人口	51		
(11) 福岡大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)	57		
(12) 福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口	60		

1. 関係人口（訪問系）はどのような人たちか

(1) 関係人口(訪問系)の人口構成と出現率 — 三大都市圏 — 国土交通省

- 関係人口(訪問系)の出現率については、50代後半にかけては年齢を重ねるにつれて低下する傾向にあるとともに、男性の方が若干高くなっている。
- 三大都市圏に居住する関係人口(訪問系)の人口構成において、30代前半の男性の実数が大きくなっているのは、その年代のアンケート回答者数が多いことに加え、関係人口の出現率が比較的高いことが理由として考えられる。

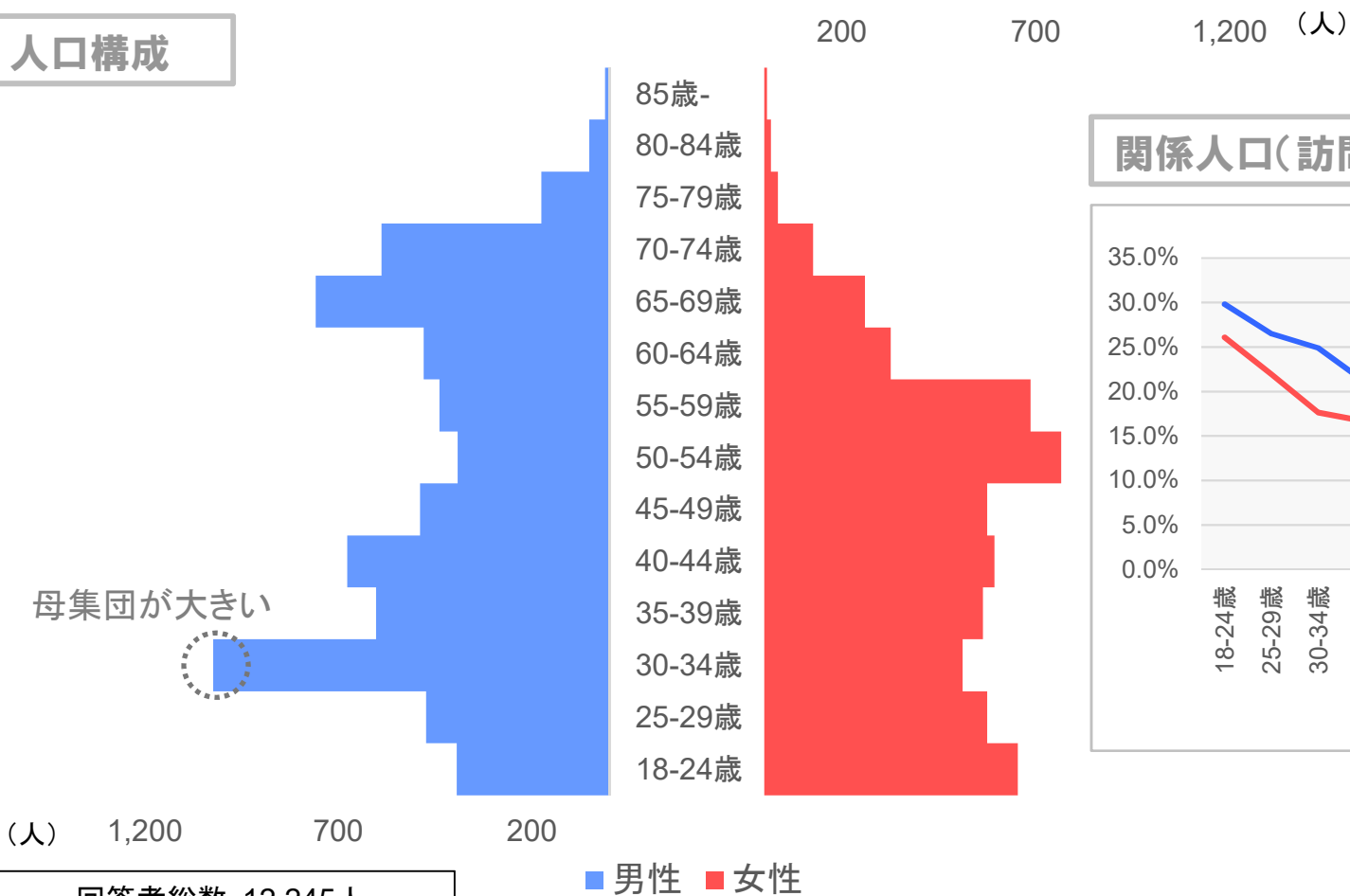


(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、人数ベース

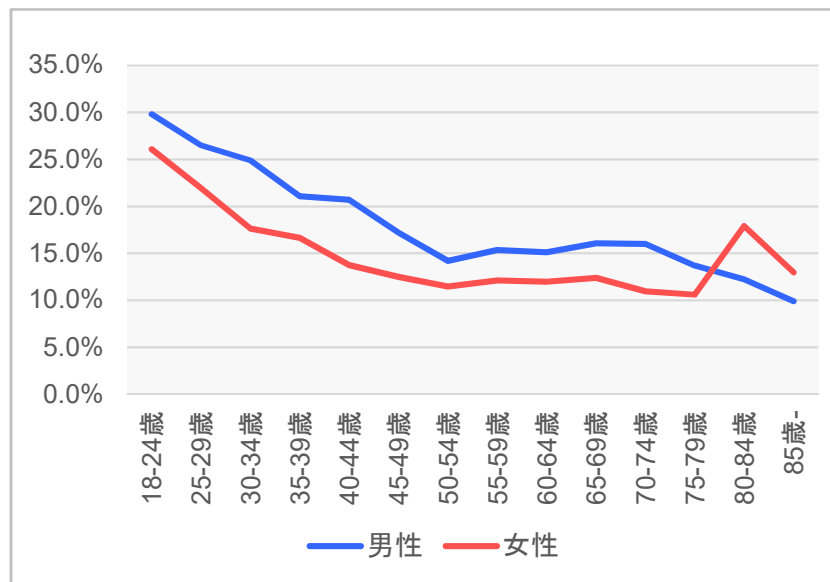
(1)関係人口(訪問系)の人口構成と出現率 — その他地域 — 国土交通省

○ 基本的には、三大都市圏に居住する関係人口（訪問系）と同様の傾向を示している。

人口構成



関係人口(訪問系)出現率

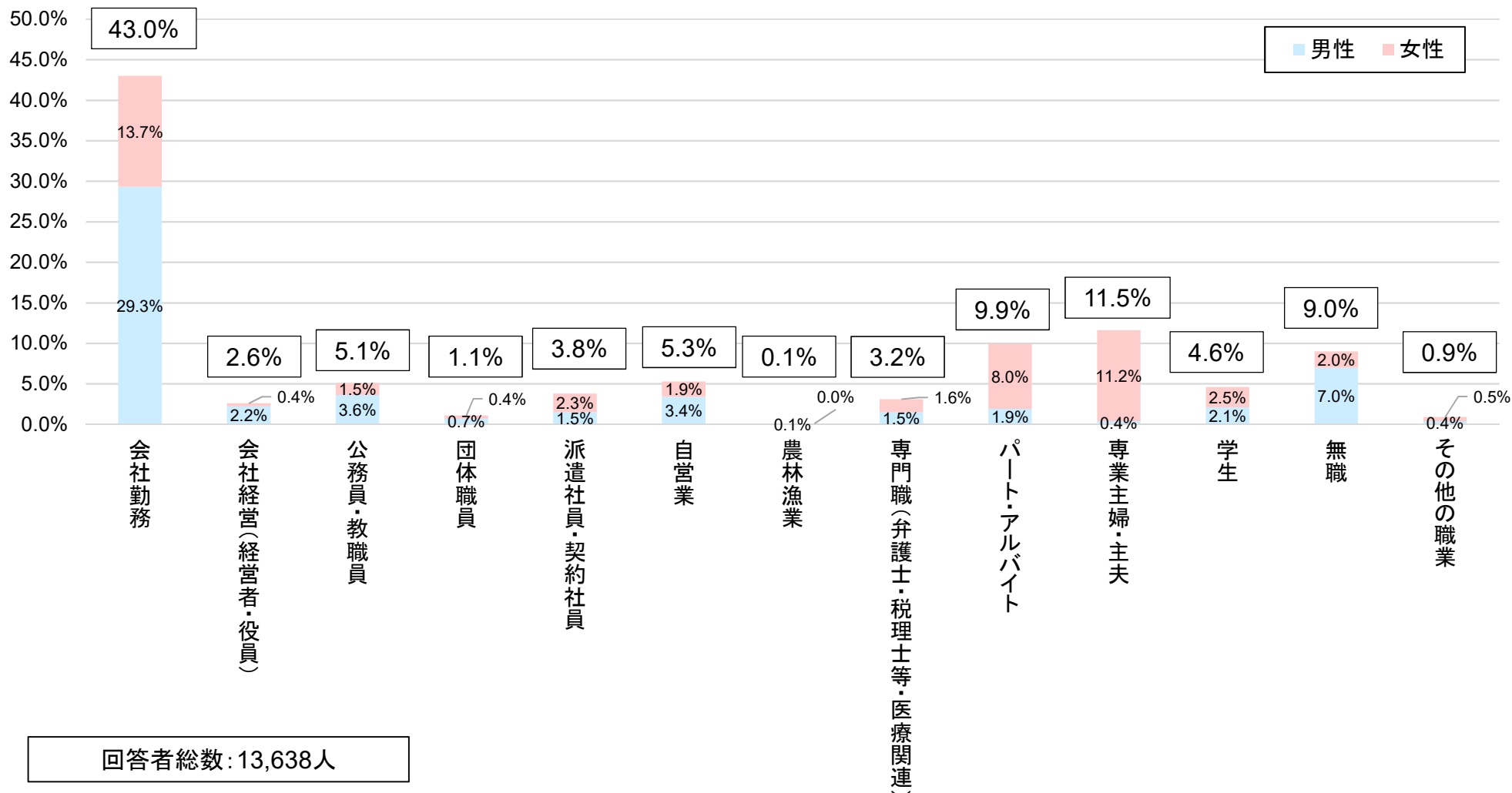


回答者総数: 12,245人

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、人数ベース

(2)関係人口(訪問系)の職業 — 三大都市圏 —

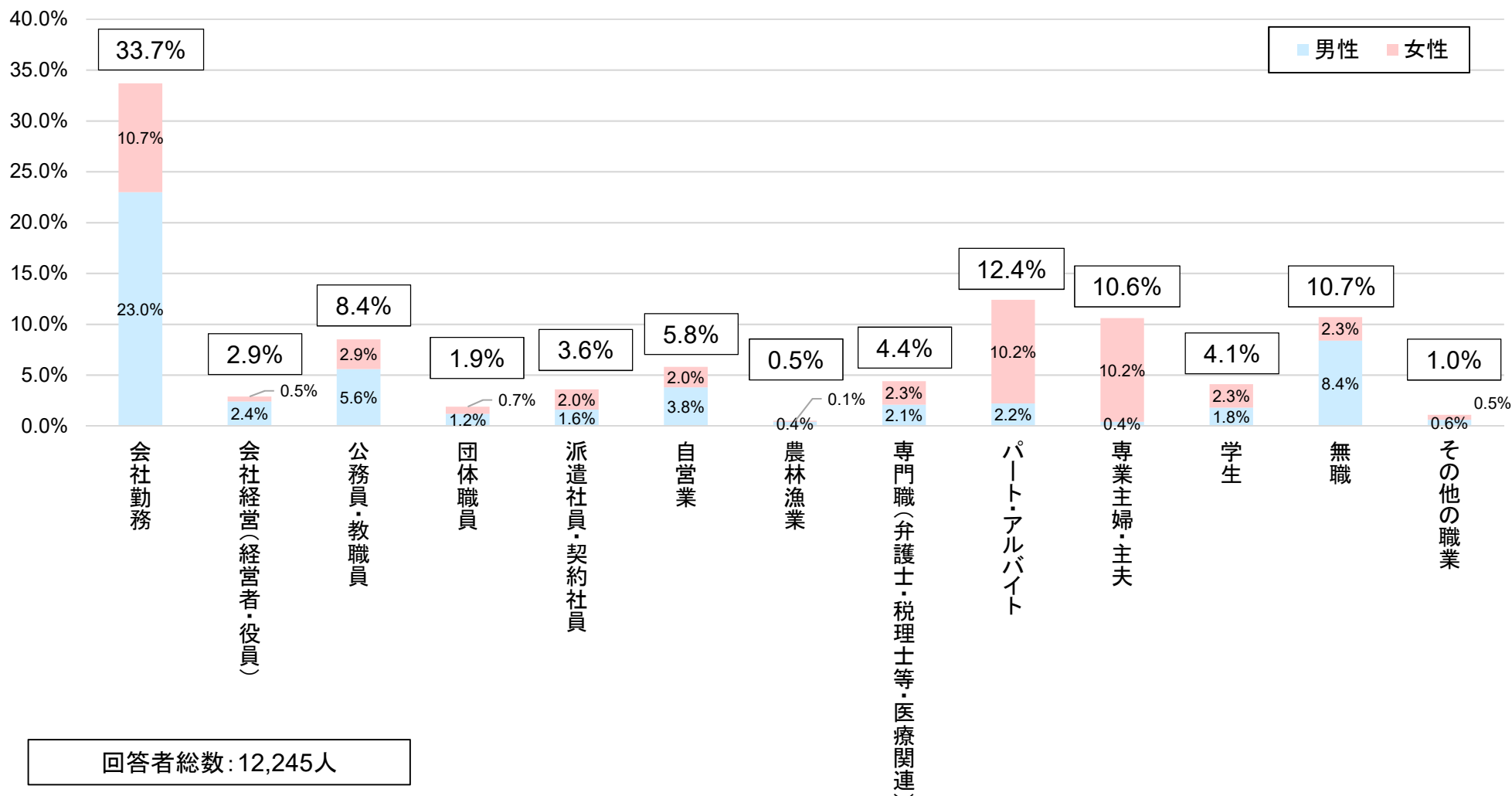
- 三大都市圏に居住する関係人口（訪問系）のうち、約4割が会社勤務となっており、男性の割合が大きい。
- 専業主婦・主夫、パート・アルバイトも一定数存在し、女性の割合が大きい。



(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、人数ベース

(2)関係人口(訪問系)の職業 — その他地域 —

- その他地域に居住する関係人口（訪問系）のうち、約3割が会社勤務となっており、男性の割合が大きい。
- 専業主婦・主夫、パート・アルバイトも一定数存在し、女性の割合が大きい。



(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、人数ベース

- 「個人のライフスタイルに着目した分析」及び「世代と地域への関わり方に着目したブロック分析」により、関係人口（訪問系）のペルソナ像を整理する。

1. 個人のライフスタイルに着目した分析

- ・関係人口（訪問系）と地縁・血縁的な訪問者を対象として、**個人のライフスタイルに着目した関係人口のペルソナ像を把握**

2. 世代と地域への関わり方に着目したブロック分析

- ・関係人口（訪問系）直接寄与型を対象として、**世代と地域への関わり方に着目した関係人口像を把握**

(参考論文)

- ・上記の分析は、管野貴文・安藤慎悟・谷口守：活動内容にみる訪問型関係人口の存立実態 — 個人のライフスタイルに着目して —, 土木計画学研究・講演集, Vol.61, 2020.の分析手法を参考としている。

→本論文では、昨年度調査結果を活用して、関係人口を「公共従事者型」・「自己研鑽・趣味型」・「ノマドワーカー型」・「多世代・若年型」・「活動的父親型」・「単身男性型」・「非活動的ノマド型」・「夫婦のみ世帯型」に分類

(3)関係人口(訪問系)のペルソナ — 分析手法 —

- 関係人口（訪問系）のペルソナの各分析手法は以下のとおり。
- 関係人口（訪問系）のペルソナ分析の詳細は「参考.関係人口（訪問系）のペルソナ分析」で整理。

	1. 個人のライフスタイルに着目した分析	2. 世代と地域への関わり方に着目したブロック分析
分析対象	関係人口（訪問系）＋地縁・血縁的な訪問者	関係人口（訪問系）直接寄与型
分析区分	三大都市圏、その他地域別	<ul style="list-style-type: none"> ・ 居住地-関わり先別 →首都圏都市部-その他地域 →その他地域-首都圏都市部
分析指標	ライフスタイルに関連する諸指標 →個人属性、世帯属性、就労環境（副業/テレワーク）、趣味・関心、まちづくり活動	関わり方の動態性に関連する諸指標 →個人属性、訪問のきっかけ、訪問の年数、訪問頻度、滞在場所、過ごし方
分析手法	①主成分分析により諸指標を集約して主成分軸を抽出(名称も検討) →固有値1.0以上、累積寄与率6割以上の条件で主成分軸を抽出 ②主成分得点（標準化を実施）を活用して非階層クラスター分析により、関係人口を類型化 →クラスター数は事前に8個として設定 ③主成分軸及び非階層クラスター分析の結果をクロス集計することにより、ペルソナ像を把握	①主成分分析により諸指標を集約して主成分軸を抽出(名称も検討) →固有値1.0以上、累積寄与率6割以上の条件で主成分軸を抽出 ②性別・世代別に関係人口を類型化 →世代はA：団塊世代・ポスト団塊世代以上、B：バブル世代、C：団塊ジュニア世代・ポスト団塊ジュニア世代、D：さとり世代・デジタルネイティブ世代の4つに分類（ <u>社会的世代区分</u> ） ③主成分軸及び性別・世代別の主成分得点の結果をクロス集計することにより、各世代のペルソナ像を把握

(3)関係人口(訪問系)のペルソナ — 社会的世代区分の定義 — 国土交通省

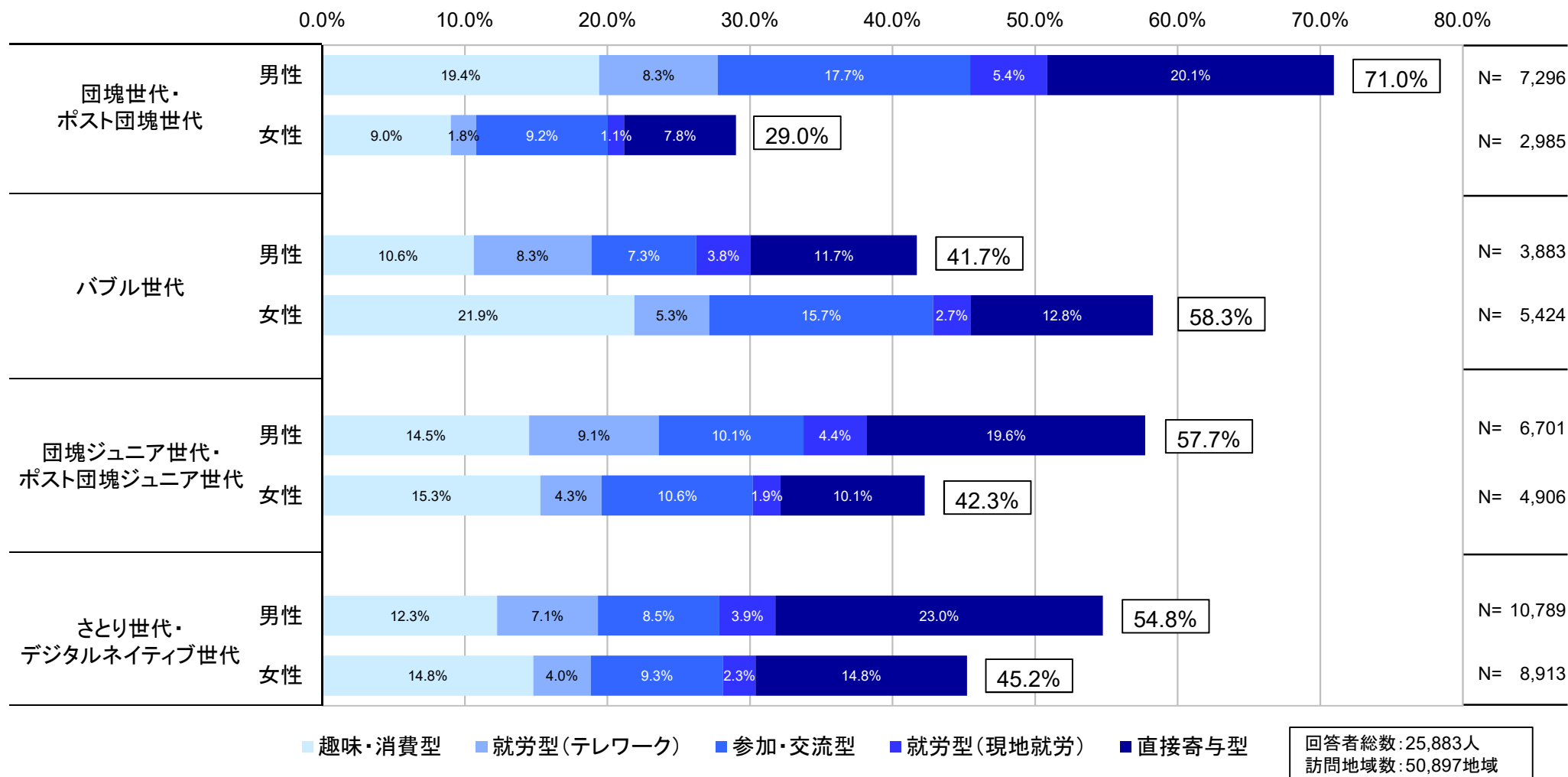
○ 「世代と地域への関わり方に着目したブロック分析」では、以下に示す社会的世代区分別にペルソナを整理する。

本分析における区分	世代名	一般的にいわれる特徴	定義
A：団塊世代・ポスト団塊世代以上 ※団塊世代以上の年齢層含む	団塊世代	・「ニューファミリー」と呼ばれ核家族で行動し、ファミリーレストランやレジャー施設を家族で利用した最初の世代 ・テレビ普及期の影響を受ける	1946～1950年生まれ
	ポスト団塊世代	・団塊世代との対比で「シラケ世代」「三無主義」（無気力、無関心、無責任）と評される ・手軽で便利な消費文化を享受（71年にマクドナルド、74年にセブン-イレブン1号店）	1951～1959年生まれ
B：バブル世代	バブル世代	・就職活動時や社会人初期に右肩上がりの消費を謳歌した後、「失われた20年」と呼ばれる時期を過ごしてきた ・1986年に施行された男女雇用機会均等法以降に就職した最初の世代	1960～1970年生まれ
C：団塊ジュニア世代・ポスト団塊ジュニア世代	団塊ジュニア世代	・フリーター、非正規社員、高学歴ワーキングプアの先駆け ・ファミコン（1983年発売）少年ジャンプと共に育った世代 ・コンビニ、カラオケ、CDのターゲット層	1971～1975年生まれ
	ポスト団塊ジュニア世代	・同世代の中で格差が開き、消費行動も多様化 ・親と近居・隣居して、3世代で消費する傾向がみられる。母と娘の関係も強い	1976～1982年生まれ
D：さとり世代・デジタルネイティブ世代	さとり世代	・中学生・高校生のころから携帯電話を持ち始めた ・ゆとり教育を受けた世代（1987年4月～2004年3月生まれ）	1983～1994年生まれ
	デジタルネイティブ世代	・「さとり世代」と同様に、ゆとり教育を受けた世代 ・消費意欲が低いといわれる（自動車、酒、海外旅行などへの関心の低下）	1995～2003年生まれ

注) 日戸浩之：世代別分析から見た消費行動の展望,野村総合研究所 知的資産創造,2019,6-25. における世代の定義を参考に整理。

(3)関係人口(訪問系)のペルソナ — 社会的世代区分の割合 — 国土交通省

○ 関係人口（訪問系）直接寄与型の割合は、「さとり世代・デジタルネイティブ世代」が最も大きい。



(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

三大都市圏に居住

既婚者で親世帯と同居

- 中高年層の就業者
 - 子供は同居していないが親世帯と同居
 - 活動的な趣味を持つ
 - まちづくり活動に消極的
- ※非単身型



既婚者で公共事業に従事

- 公務員など公共事業に従事
 - 核家族構成
 - 活動的な趣味を持つ
 - まちづくり活動に消極的
- ※既婚公共従事型



単身の若者または非正規雇用者

- 若年層で公務員やフリーランスは少ない
 - 非正規雇用者は既婚者が多い
 - 若年層は自己研鑽軸活動に積極的
 - 若年層はまちづくり活動に積極的
- ※若年単身・非正規型



単身で公共事業に従事

- 若年層が多い
 - 同居者が居ない場合が多い
 - リモートワーク等が苦手
 - 自己研鑽活動に消極的
- ※単身公共従事型



中年層で核家族構成

- 専業主婦や退職者・無職
 - 同居者がいない場合が多い
 - リモートワーク等が苦手
 - 自己研鑽活動やまちづくり活動に消極的
- ※中年核家族型



既婚者で活動的

- 男性の高齢者
 - 同居者がいない場合が多い
 - 自己研鑽活動に積極的な人はまちづくり活動に消極的
 - まちづくり活動に積極的な人は自己研鑽活動に消極的
- ※中高年夫婦・地域活動型



自己研鑽に消極的な会社員

- 中年層の会社員
 - 同居者がいない場合が多い
 - リモートワーク等が得意
 - 自己研鑽活動やまちづくり活動に消極的
- ※会社員非自己研鑽型



親世代と同居

- フリーランスや非正規雇用者が多い
 - 単身者が少ない
 - 趣味を持つが自己研鑽は消極的
 - まちづくり活動に消極的
- ※親世帯同居軸型



(3)関係人口(訪問系)のペルソナ

— 個人のライフスタイルに着目した関係人口のペルソナ像② —

その他地域に居住

活動的な高齢者

- 専業主婦やリタイヤ後の高齢者、公務員
 - 夫婦のみ
 - 自己研鑽活動に積極的
 - まちづくり活動に積極的
- ※高齢地域活動型



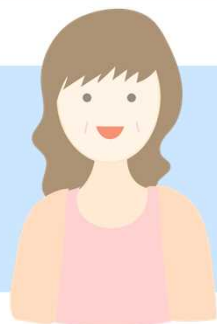
中高年のインドア派

- 中高年層の公務員や自営業、農林水産業
 - 単身または夫婦のみ
 - 読書やゲームなどインドアの趣味を持つ
 - まちづくり活動に消極的
- ※非正規従事型



子供のいる専業主婦

- 中年の専業主婦
 - 夫婦と子供
 - リモートワーク等が特に苦手
 - 特定の趣味を持たない
- ※中年核家族型



ひとり親世帯の公務員

- 公務員
 - 一時的に単身
 - 母子・父子世帯
 - リモートワーク等が苦手
- ※ひとり親世帯型



多世帯同居の中年層

- 中年の公務員
 - 一時的に単身、親世帯や友人・知人等と同居
 - インドアの趣味を持つ
 - リモートワーク等が苦手
- ※親世帯同居・一時単身型



自己研鑽に消極的な会社員

- 中年の会社員または専業主婦
 - 一時的に単身、親世帯や友人・知人等と同居
 - まちづくり活動に積極的な人は自己研鑽活動に消極的
 - リモートワーク等が苦手な人は特定の趣味を持っていない
- ※会社員非自己研鑽型



活動的な若年層の会社員

- 若年または中年の会社員
 - リモートワーク等が得意
 - 多方面に趣味を持つ人はまちづくり活動に積極的
 - アウトドアの趣味を持つ人はまちづくり活動に消極的
- ※若年地域活動型



単身・若年層の公務員

- 若年層の公務員や自営業、農林水産業
 - 独身
 - まちづくり活動に消極的
 - 自己研鑽活動に積極的な人はリモートワークが得意
- ※若年単身・公共従事型



(3)関係人口(訪問系)のペルソナ

— ブロック分析からみる関係人口像(首都圏都市部→その他地域) —

行動的なシニア世代

- 団塊世代、それ以上の会社員
- 日帰りで地域づくり活動に参加、または長期休暇に帰省
- 副業またはテレワークを行っている
- 地域との関わりに能動的



地域活動に積極的なシニア世代

- 団塊世代、それ以上の専業主婦または農林水産業や自営業
- 日常的または長期休暇ごとに地域づくりやイベントに参加
- 仕事関係の知人またはプライベートの友人と活動



長期休暇に帰省する会社員

- バブル世代の会社員
- 長期休暇ごとに帰省または年に数回宿泊施設に滞在し地域づくり活動に参加
- 家族や親族、同僚と活動
- 関わりのきっかけは仕事関係での訪問



ノマドワーク型のバブル世代

- バブル世代の非定職者
- 宿泊施設や生活関連施設に滞在
- テレワークまたは副業、地域づくりの企画を行っている



高頻度で地域にてテレワーク

- 団塊ジュニア・ポスト団塊ジュニア世代の会社員
- 比較的高頻度でテレワーク・副業や自己の用務で地域を訪問、または長期休暇に帰省
- 単独行動または家族同行



友人と地域交流する専業主婦

- 団塊ジュニア・ポスト団塊ジュニア世代の専業主婦
- 不定期に地域づくりに参加
- 住民との交流にも積極的
- かつての同僚やプライベートの友人と活動



仕事つながりで地域活動する自営業者

- さとり世代・デジタルネイティブ世代の自営業
- 日帰りで地域活動に参加または副業を行っている
- 仕事関係の知人と活動
- 関わりのきっかけは仕事関係の訪問



日帰りで地域を訪問する学生

- さとり世代・デジタルネイティブ世代の学生または無職
- 日帰りで地域づくり活動または自己の用務で地域を訪問
- 低頻度または不定期で活動



(3)関係人口(訪問系)のペルソナ

— ブロック分析からみる関係人口像(その他地域→首都圏都市部) —

日帰り訪問の活動的な団塊世代

- 団塊世代、それ以上の会社員
- 日帰りで地域づくり活動に参加
- 副業またはテレワークを行っている
- シェアリングを活用、交流拠点施設や生活関連施設に滞在



家族と年に数回イベントに参加

- 団塊世代、それ以上の専業主婦
- 年に1回～数回、地域のイベントに参加
- 家族が同行
- 関わり年数は5～10年未満



仕事がかっかけて地域と関係

- バブル世代の会社員
- 比較的高頻度で地域づくりの企画またはテレワークや副業を行っている
- 仕事関係の知人や同僚と活動
- 関わりのきっかけは仕事関係での訪問



ひとり訪問のバブル世代専業主婦

- バブル世代の専業主婦
- 月に数回ひとりで地域づくりに参加
- 交流拠点施設に滞在
- 関わり年数は10～30年未満



地域づくりの企画を行う団塊Jr.世代

- 団塊ジュニア・ポスト団塊ジュニア世代の会社員
- 日帰りで地域づくりの企画またはテレワークや副業を行っている
- 関わり年数は10～30年未満
- 仕事関係の知人や同僚と活動



家族と宿泊訪問する公務員

- 団塊ジュニア・ポスト団塊ジュニア世代の公務員
- 宿泊施設に滞在し地域づくり活動または自己の用務をおこなっている
- 家族が同行
- 関わりのきっかけは仕事関係での訪問



単独で地域活動、イベント参加

- さとり世代・デジタルネイティブ世代の学生または無職
- 毎月ひとりで地域づくり企画や活動、イベントに参加
- 日帰りで交流拠点施設に滞在
- 関わり年数は10～30年未満



交流に積極的な学生

- さとり世代・デジタルネイティブ世代の学生または無職
- 地域づくり活動に参加、住民との交流に積極的
- 宿泊施設や交流拠点施設に滞在
- 関わり年数は5～10年未満



2. 関係人口（訪問系） の年間訪問日数と過ごし方

(1)関係人口(訪問系)の年間訪問日数の計算方法

- 地域を訪問していた「訪問頻度」及び「滞在期間」をもとに、関係人口（訪問系）の年間訪問日数を推計する。
- なお、関係人口（訪問系）の年間訪問日数の推計に際しては、「訪問頻度」を「回/年」に変換し、「滞在期間」を「日/回」に変換した上で計算している。

「訪問頻度」及び「滞在期間」の定義

訪問頻度の選択肢	定義	計算用の値 (回/年)
月に10回以上	月に10回	120
月に数回	隔週（月に2回）	24
月に1回程度	月に1回	12
盆・正月・GWなどの長期休暇ごと	年に3回	3
年に数回	年に2回	2
年に1回程度	年に1回	1
数年に1度（2～10年程度に1度）	5年に1回	0.2
不定期、決まっていない	10年に1回	0.1

滞在期間の選択肢	定義	計算用の値 (日/回)
半日程度（日帰り）	6時間（10時～16時）	0.25
丸1日程度（日帰り）	12時間（7時～19時）	0.5
1泊2日程度	24時間（10時～翌10時）	1
2～4泊程度	2泊	2
1、2週間程度	1週間	7
1ヶ月程度	30日	30

※訪問頻度や滞在期間でその他を選択した場合、頻度や期間は不明（0回・0日）とする

関係人口(訪問系)の年間訪問日数の計算方法

訪問日数は以下の計算式で推計

$$\text{訪問日数（日/年）} = \text{訪問頻度（回/年）} \times \text{滞在期間（日/回）}$$

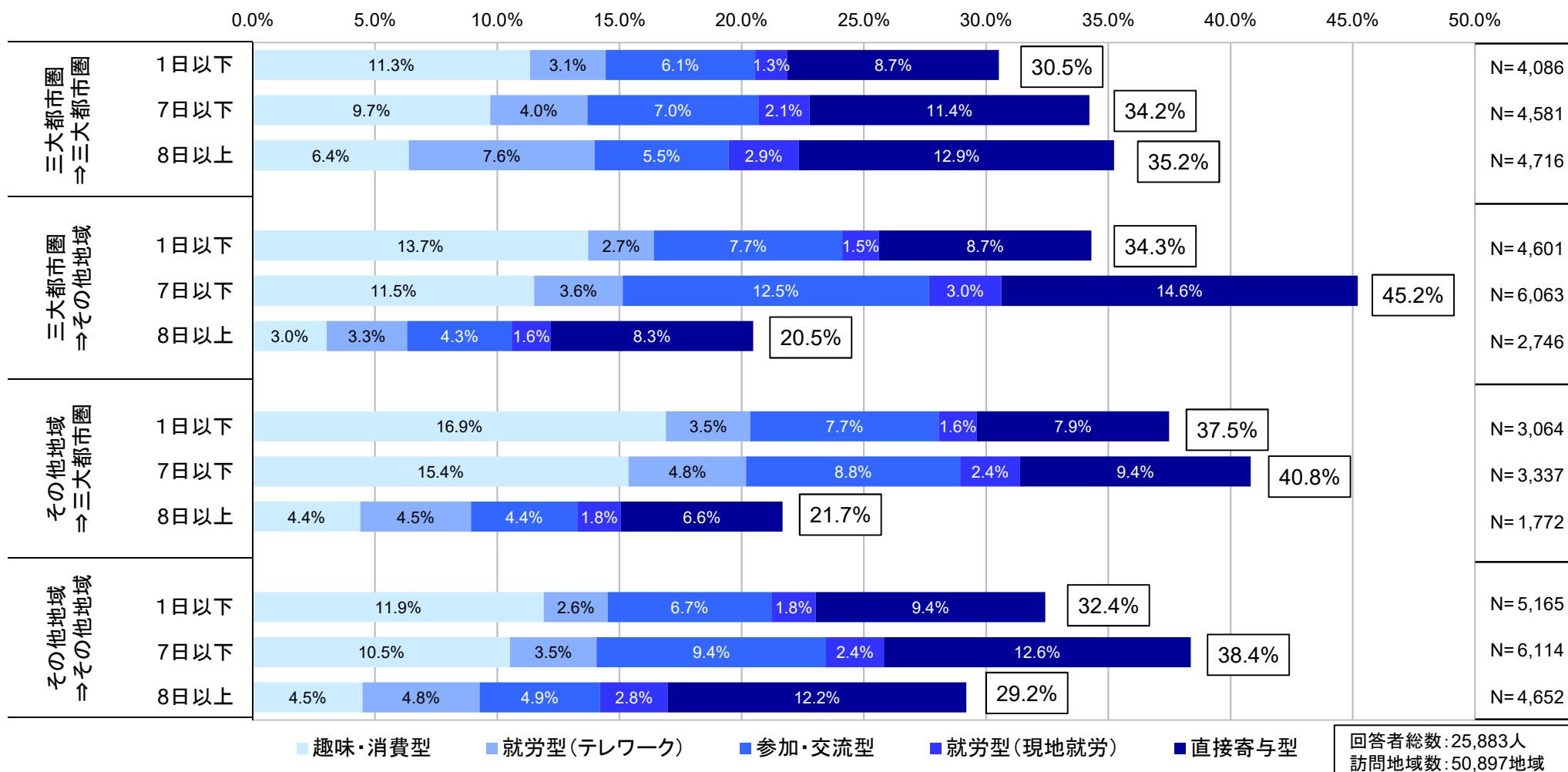
算出例 1) 訪問頻度：年に数回、滞在期間：1泊2日程度
 $= 2 \times 1 = 2$ （日/年）

算出例 2) 訪問頻度：月に10回、滞在期間：半日程度（日帰り）
 $= 120 \times 0.25 = 30$ （日/年）

（出典）「地域との関わりについてのアンケート」（国土交通省、令和2年9月実施） （関係人口（訪問系）、訪問地域数ベース）

(2)関係人口(訪問系)の年間訪問日数(推計)

- 三大都市圏から三大都市圏に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、年間に8日以上訪問する人の割合が大きく、そのうち関係人口(訪問系)直接寄与型の占める割合が大きい。
- 一方で、三大都市圏からその他地域、その他地域から三大都市圏、その他地域からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、年間に1~7日訪問する人の割合が大きい。

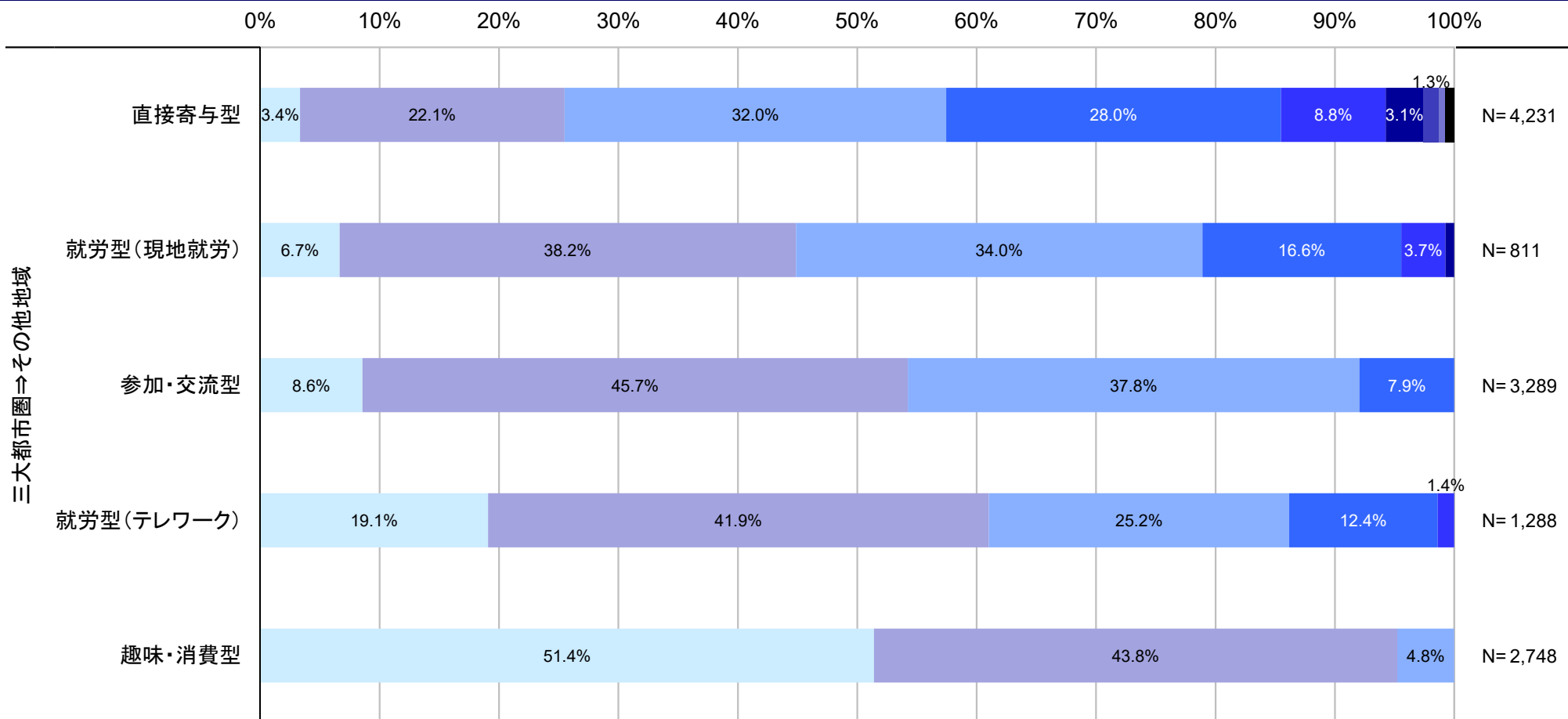


(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

(3) 関係人口(訪問系)の過ごし方の種類とその内容

— 三大都市圏からその他地域への関わり —

- 三大都市圏からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)のうち、関係人口(訪問系)直接寄与型、就労型(現地就労)、参加・交流型では、9割以上の過ごし方の種類が複数となっており、関わり先の地域で多様な過ごし方をしていることがわかる。
- 一方で、関係人口(訪問系)趣味・消費型の半数程度で過ごし方の種類が1種類のみとなっている。



注: 「特に何もしないで過ごす」のみを選択した回答者を除く

■ 1種類 ■ 2種類 ■ 3種類 ■ 4種類 ■ 5種類 ■ 6種類 ■ 7種類 ■ 8種類 ■ 9種類

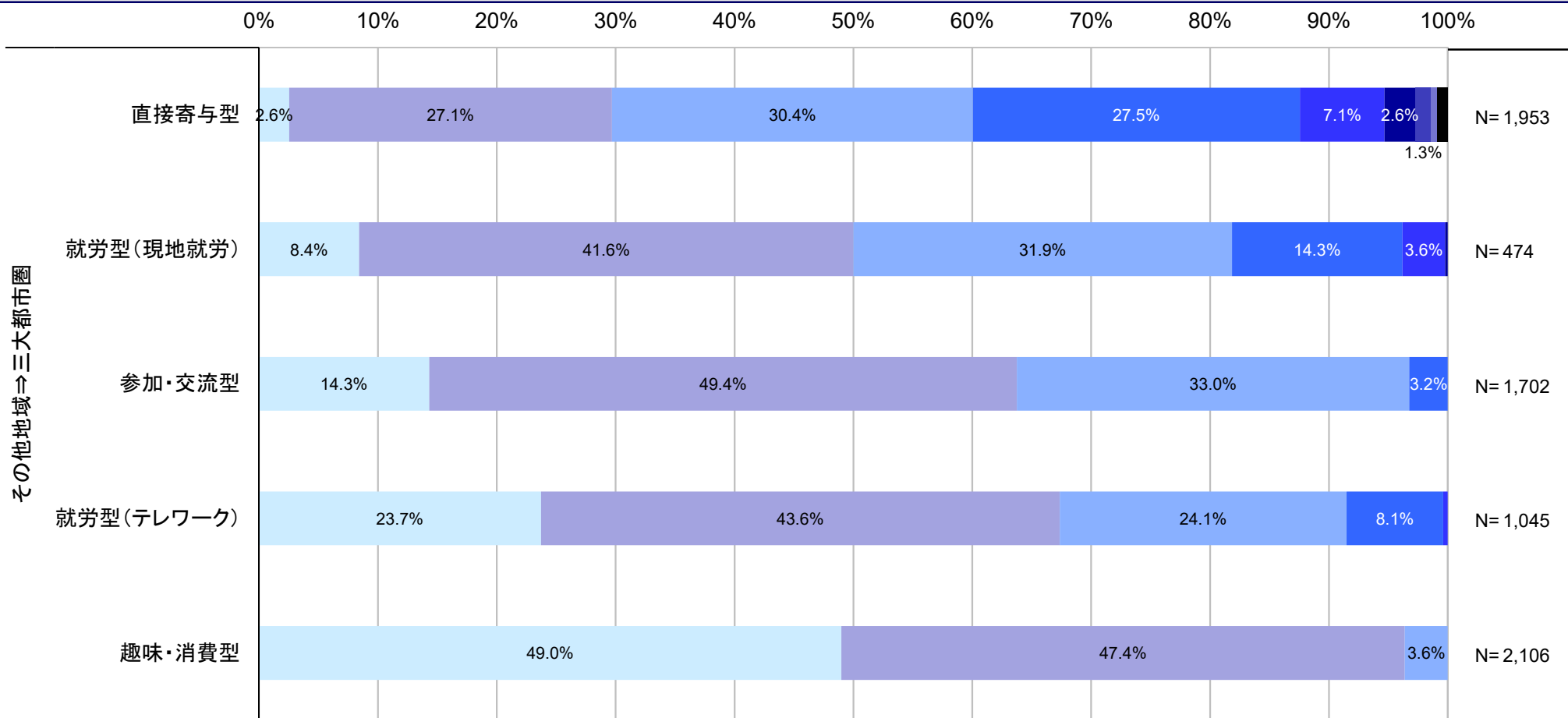
回答者総数: 7,139人
訪問地域数: 13,410地域

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

(3)関係人口(訪問系)の過ごし方の種類とその内容

— その他地域から三大都市圏への関わり —

- その他地域から三大都市圏に関わりを持つ関係人口（訪問系）のうち、関係人口（訪問系）直接寄与型、就労型（現地就労）では、9割以上の過ごし方の種類が複数となっており、関わり先の地域で多様な過ごし方をしていることがわかる。
- 一方で、関係人口（訪問系）趣味・消費型の半数程度で過ごし方の種類が1種類のみとなっている。



注：「特に何もしないで過ごす」のみを選択した回答者を除く

■ 1種類 ■ 2種類 ■ 3種類 ■ 4種類 ■ 5種類 ■ 6種類 ■ 7種類 ■ 8種類 ■ 9種類

回答者総数: 3,812人
訪問地域数: 8,173地域

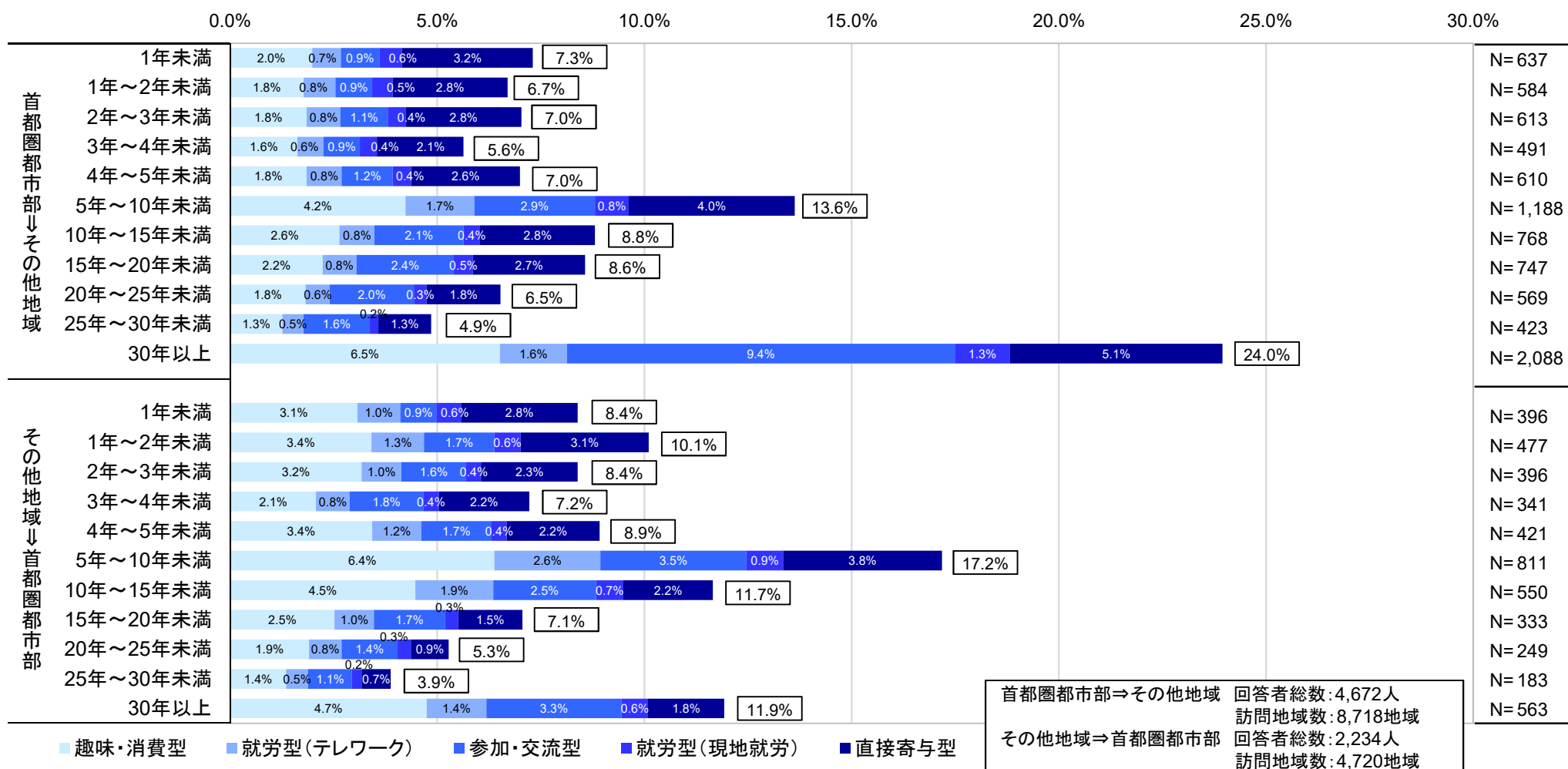
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

3. 関係人口（訪問系）と地域の関わり

(1)関係人口(訪問系)の関わり年数

— 首都圏都市部⇄その他地域 —

- 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、関わり年数が30年以上の人が最も多く、その中でも関係人口(訪問系)参加・交流型の割合が最も大きい。
- 一方で、その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、関わり年数が5~10年未満の人が最も多く、その中でも関係人口(訪問系)趣味・消費型の割合が最も大きい。

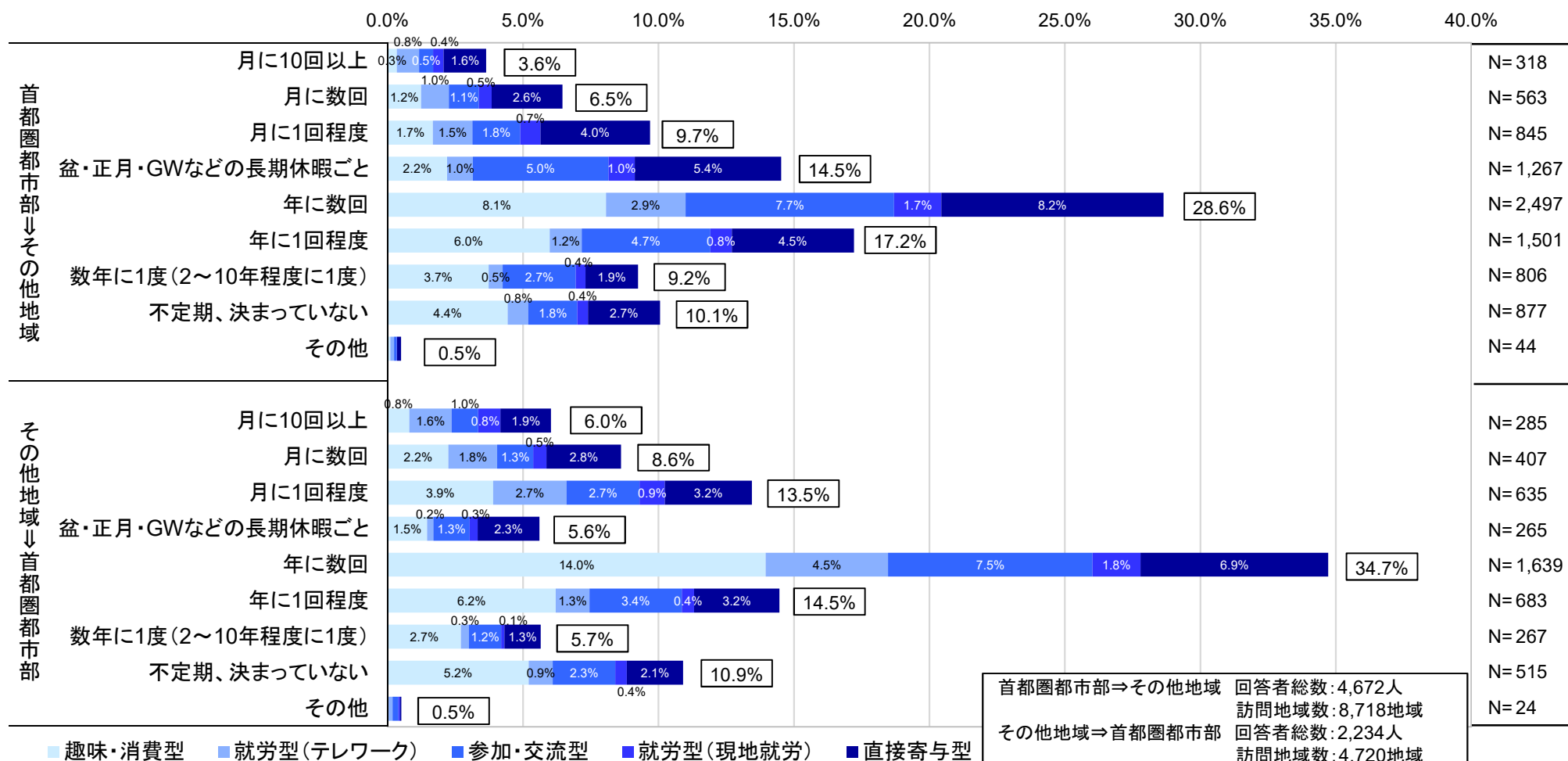


(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

(2)関係人口(訪問系)の訪問頻度

— 首都圏都市部⇄その他地域 —

- 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口（訪問系）は、その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口（訪問系）と比較して、「盆・正月・GWなどの長期休暇ごと」に訪問する人の割合が大きい。
- 一方で、その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口（訪問系）は、首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口（訪問系）と比較して、「年に数回」・「月に1回程度」訪問する人の割合が大きい。

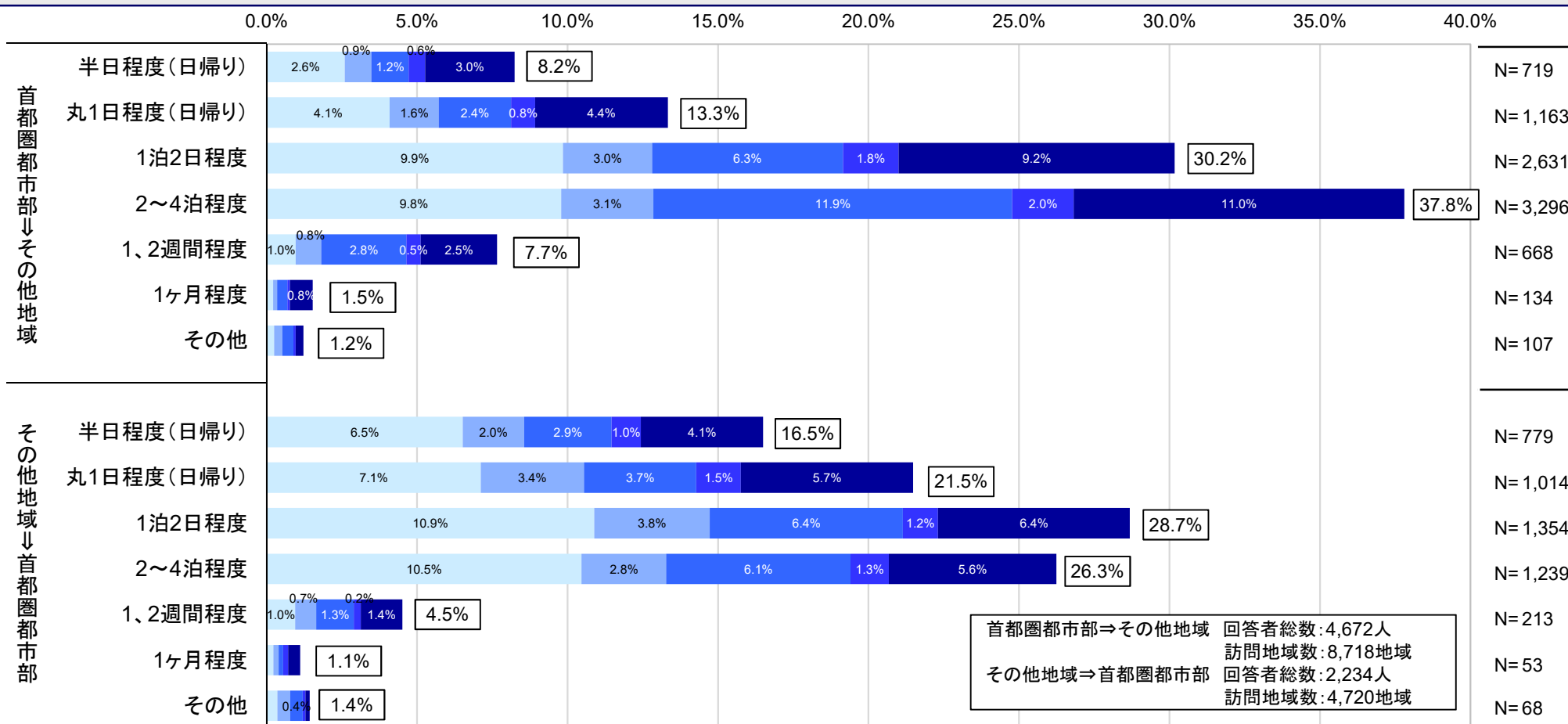


(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

(3)関係人口(訪問系)の滞在期間

— 首都圏都市部⇄その他地域 —

- 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口(訪問系)と比較して、「宿泊(2~4泊程度等)」の割合が大きい。
- 一方で、その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)と比較して、「日帰り(丸1日程度)」及び「日帰り(半日程度)」の割合が大きい傾向にある。



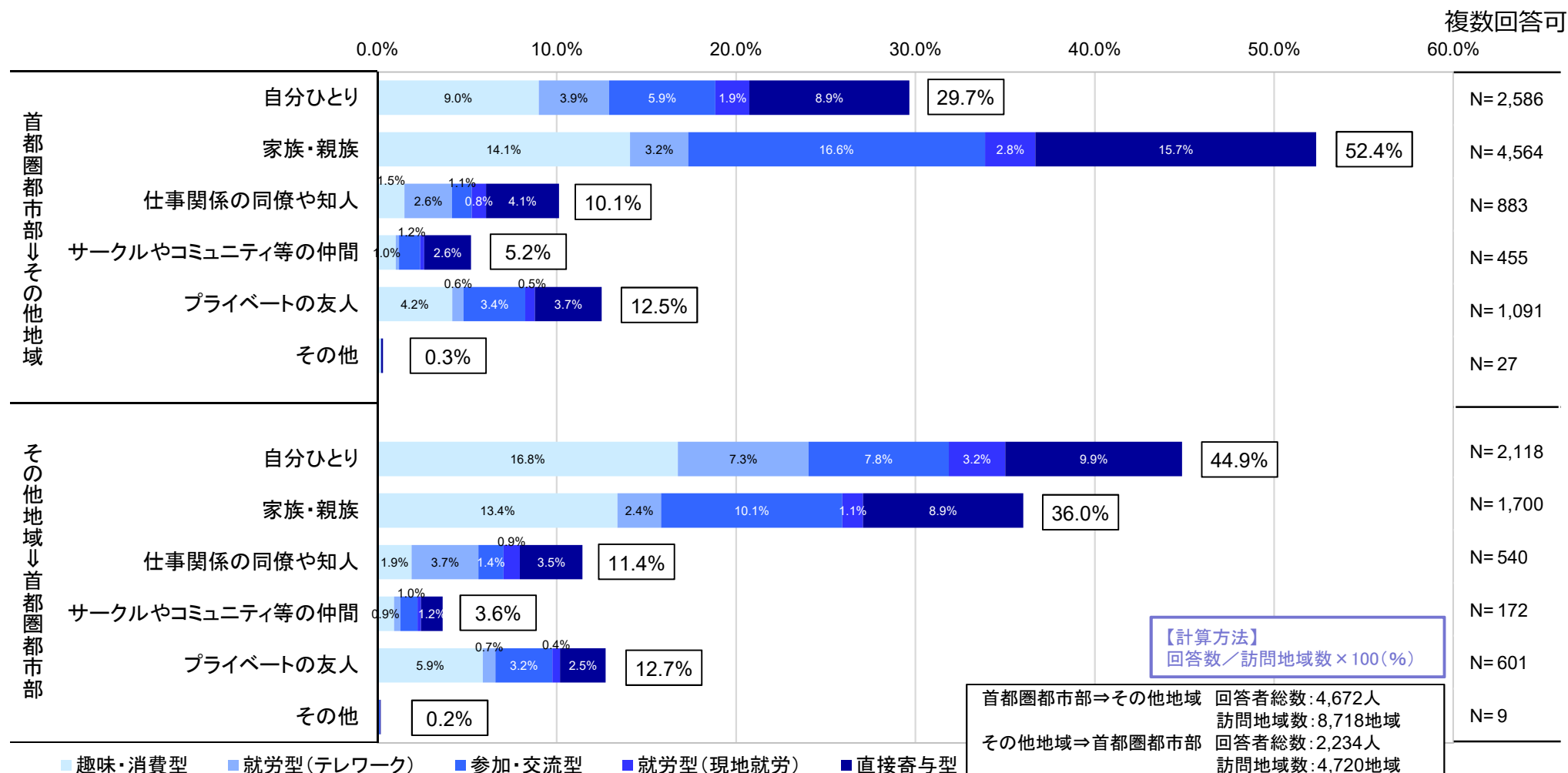
■ 趣味・消費型 ■ 就労型(テレワーク) ■ 参加・交流型 ■ 就労型(現地就労) ■ 直接寄与型

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

(4)関係人口(訪問系)の同行者

— 首都圏都市部⇄その他地域 —

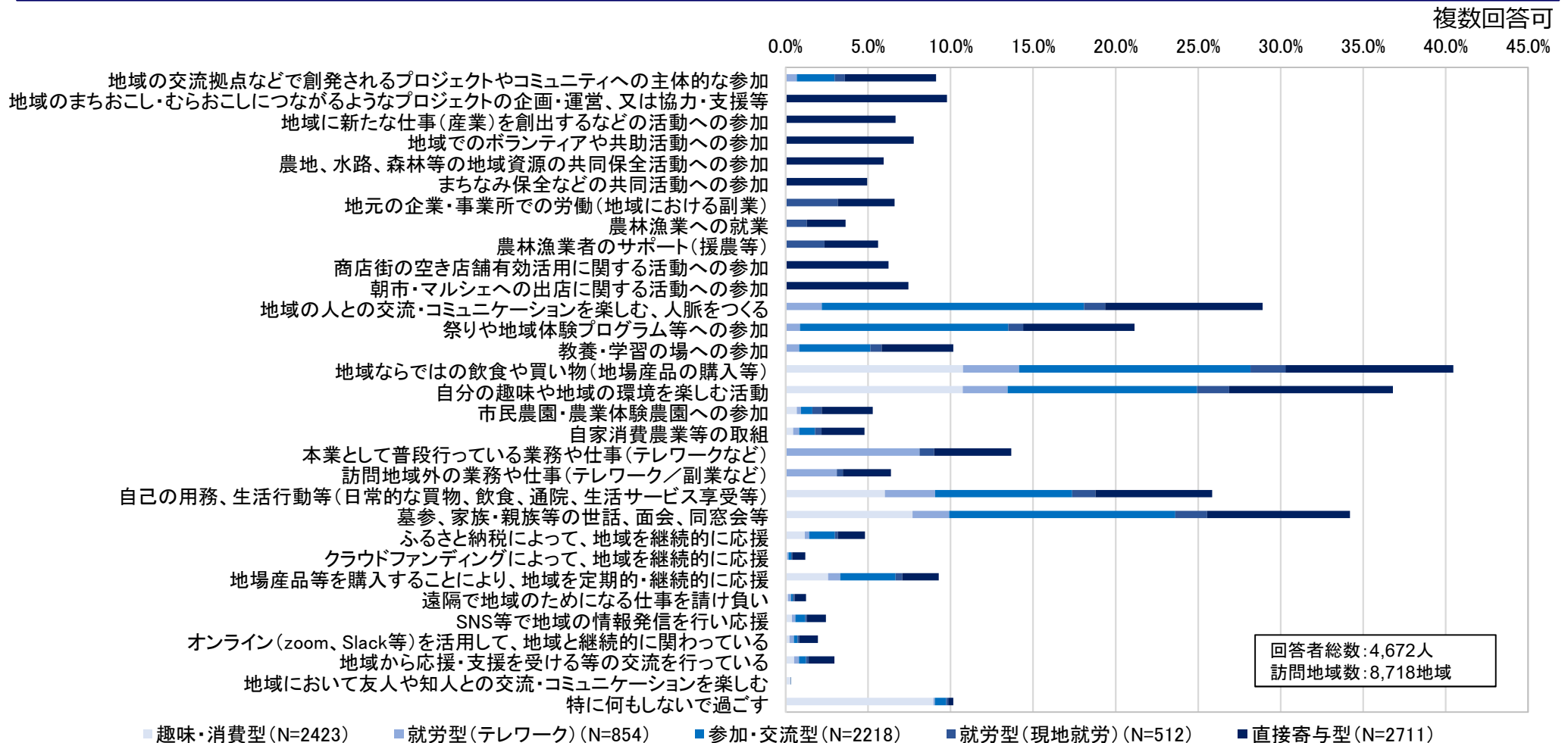
- 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口(訪問系)と比較して、「家族・親族」と共に地域に関わる人が多い。
- 一方で、その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)と比較して、「自分ひとり」で地域に関わる人が多い。



(5)関係人口(訪問系)の過ごし方

— 首都圏都市部からその他地域への関わり —

- 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口（訪問系）の過ごし方は、「地域ならではの飲食や買い物（地場産品の購入等）」等の趣味・消費活動と回答する人が最も多いものの、「地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる」と回答する人も多い。
- また、「地域の交流拠点などで創発されるプロジェクトやコミュニティへの主体的な参加」等の地域との結びつき度の強い過ごし方を回答する人も一定数存在する。

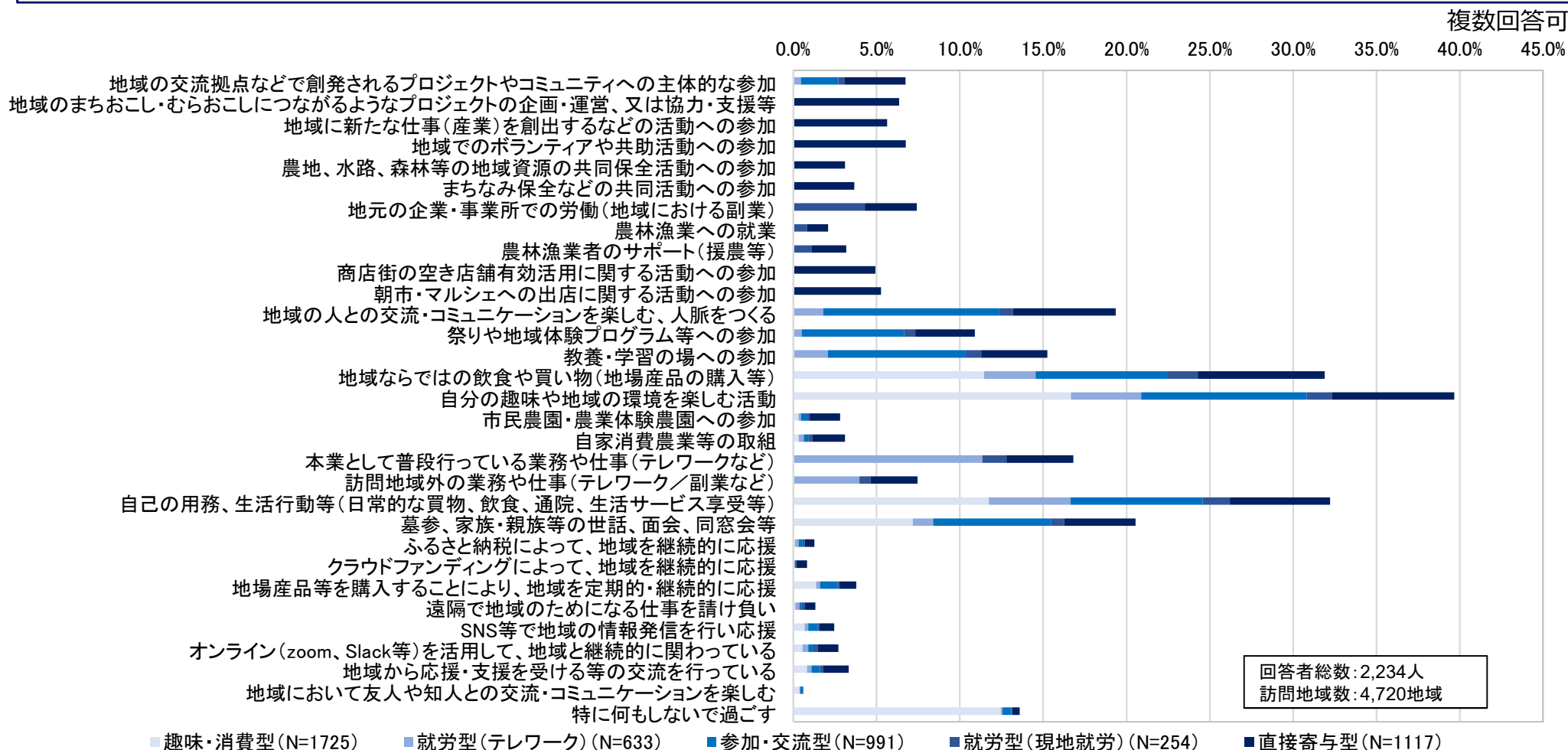


(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

(5)関係人口(訪問系)の過ごし方

— その他地域から首都圏都市部への関わり —

- その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口(訪問系)の過ごし方は、「自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動」等の趣味・消費活動と回答する人が最も多いものの、「地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる」と回答する人も多い。
- また、「地域の交流拠点などで創発されるプロジェクトやコミュニティへの主体的な参加」等の地域との結びつき度の強い過ごし方を回答する人も一定数存在する。

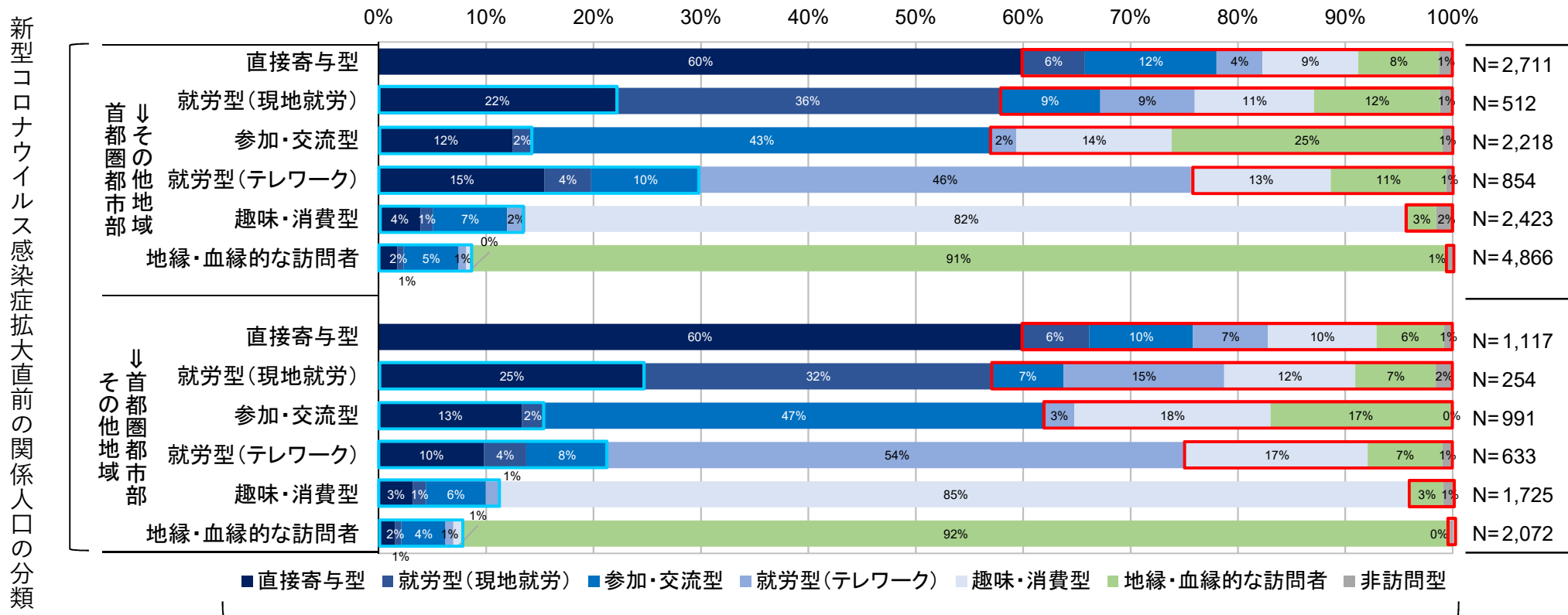


(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

(6)関係人口の動態性(当初→現在の過ごし方)

— 首都圏都市部⇄その他地域 —

- 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口（訪問系）の関わり方のステップアップをみると、「関わりが深化」している人がある一方で、「関わりが低下」している人も存在する。
- その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口（訪問系）においても同様の傾向がみられる。



 関わりが深化
 関わりが低下

関わり当初の関係人口の分類

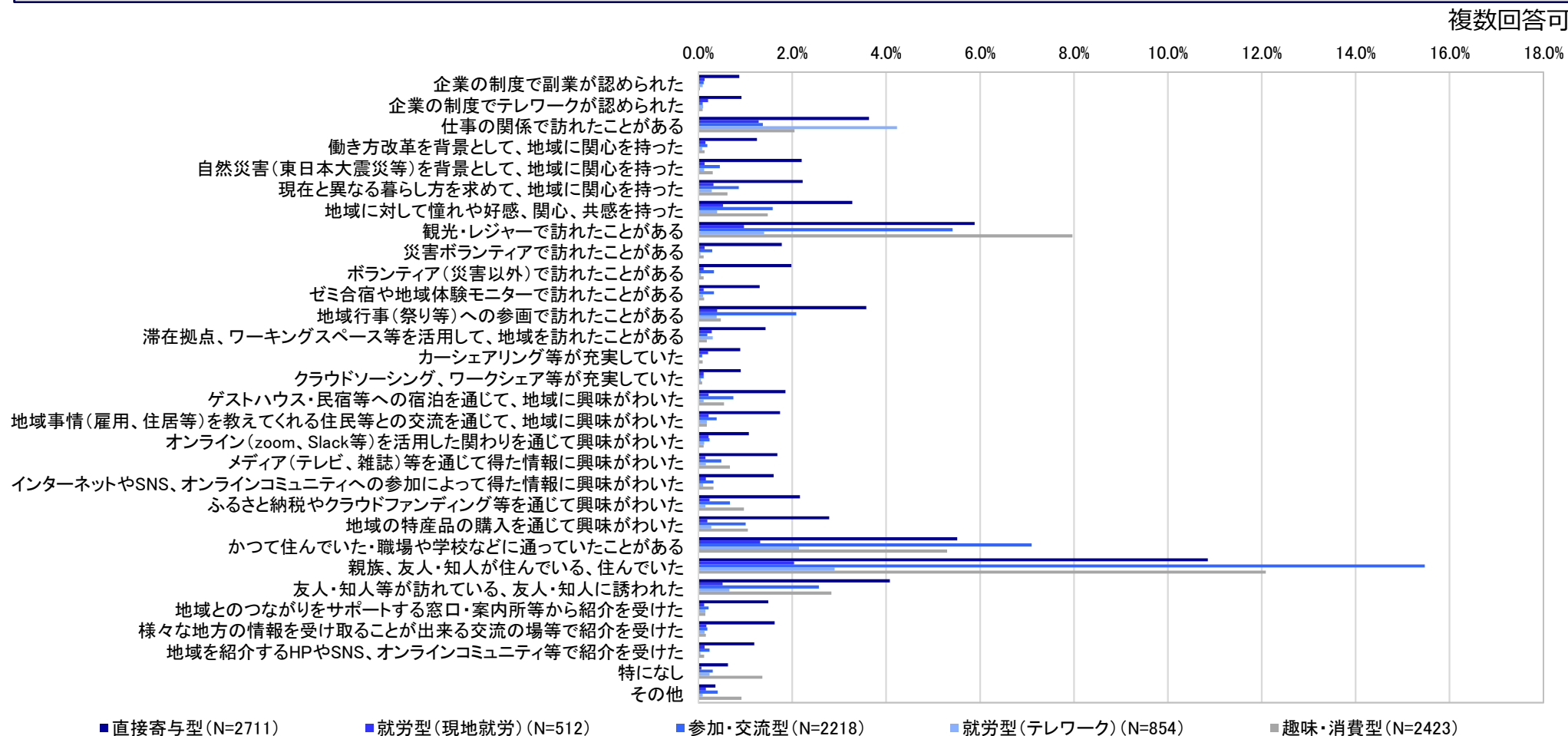
首都圏都市部⇄その他地域 回答者総数: 6,729人
 訪問地域数: 13,584地域
 その他地域⇄首都圏都市部 回答者総数: 2,909人
 訪問地域数: 6,792地域

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)
 ※新型コロナウイルス感染症拡大直前の関係人口の分類方法を参考に、関わり当初の関係人口の分類化を実施

(7)関係人口(訪問系)になったきっかけ

— 首都圏都市部からその他地域への関わり —

○ 首都圏都市部からその他地域に関わり始めたきっかけとして、「親族、友人・知人が住んでいる、住んでいた」と回答する人が関係人口（訪問系）就労型（現地就労）及び関係人口（訪問系）就労型（テレワーク）を除いて最も多く、就労型では所縁、地縁・血縁が関わりのかきかけではないことがわかる。



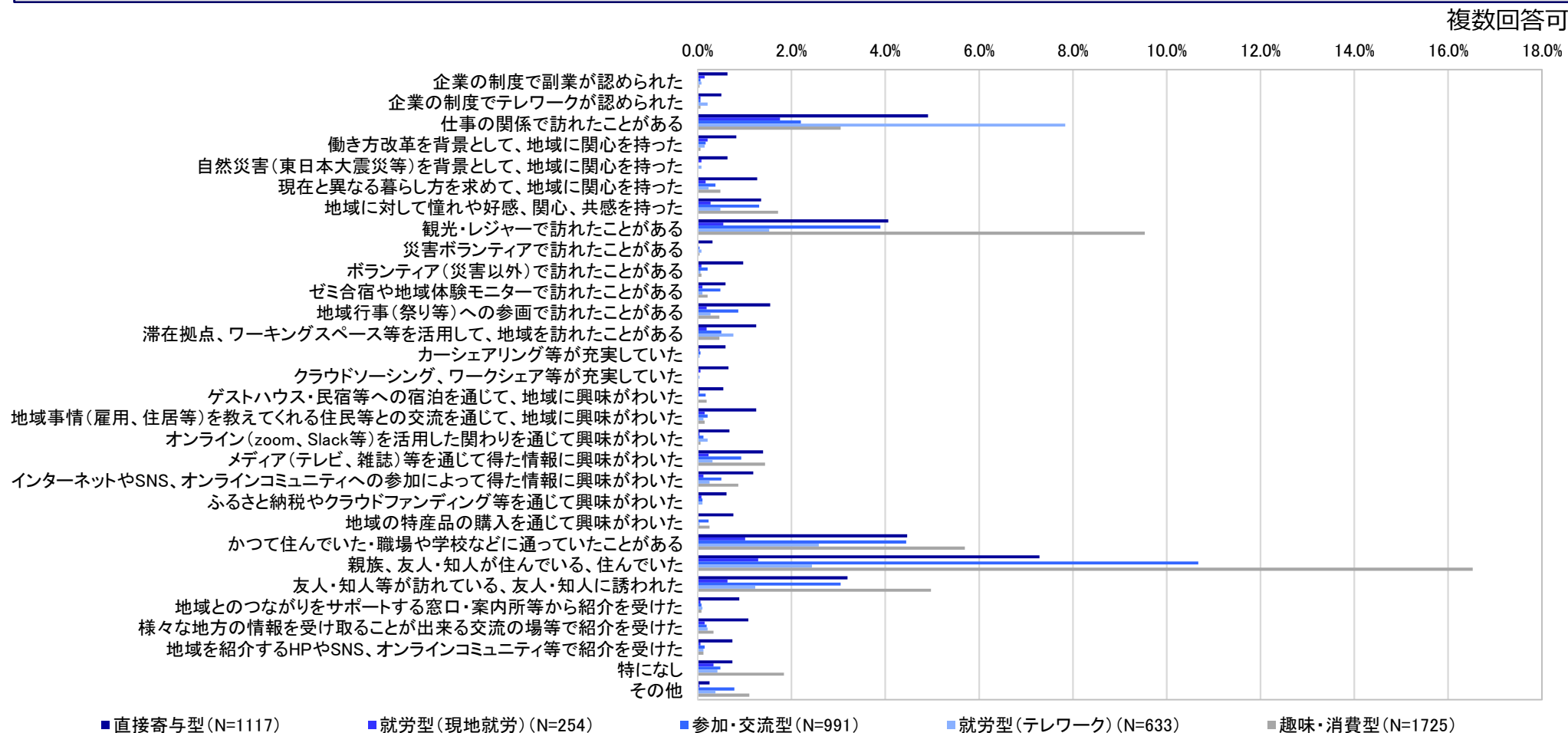
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

回答者総数:4,672人
訪問地域数:8,718地域

(7)関係人口(訪問系)になったきっかけ

— その他地域から首都圏都市部への関わり —

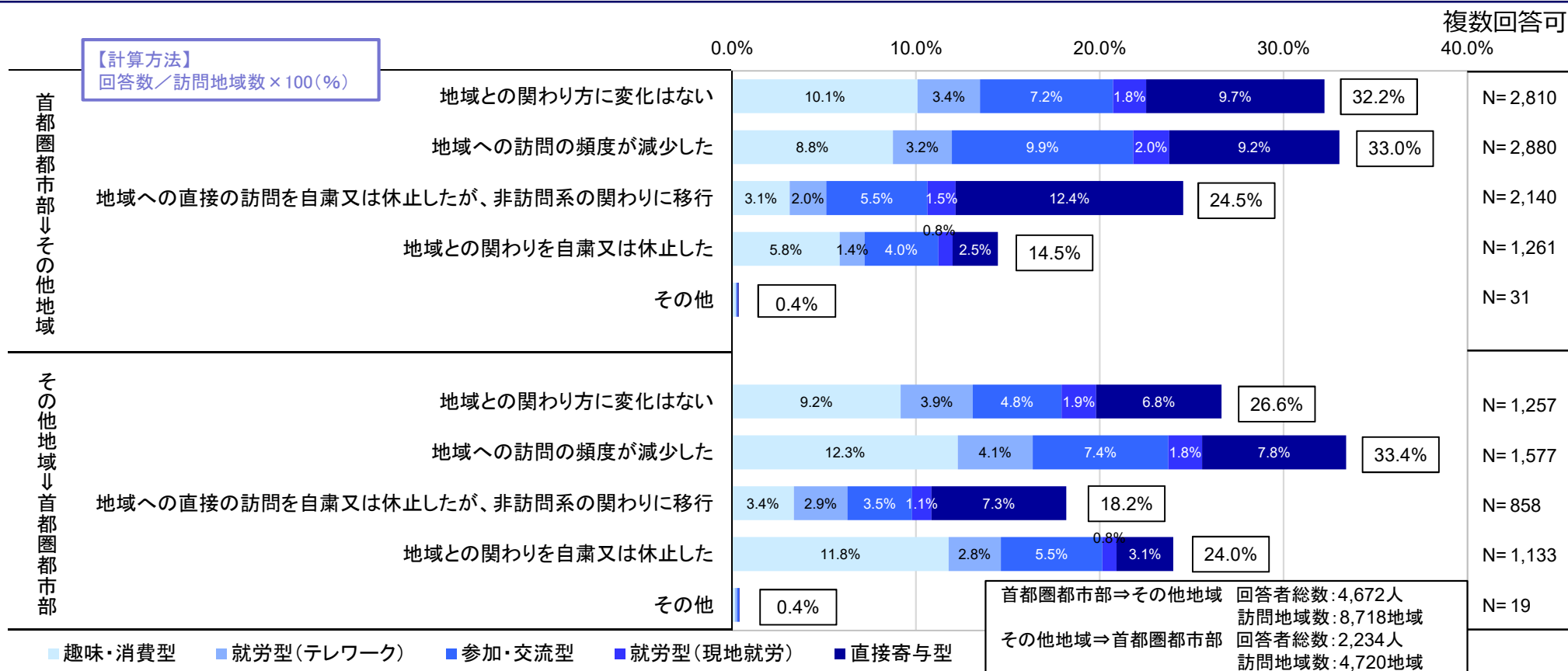
○ その他地域から首都圏都市部に関わり始めたきっかけとして、「親族、友人・知人が住んでいる、住んでいた」と回答する人が関係人口(訪問系)就労型(現地就労)及び関係人口(訪問系)就労型(テレワーク)を除いて最も多く、就労型では所縁、地縁・血縁が関わりのきっかけではないことがわかる。



(8)新型コロナウイルスが関係人口(訪問系)に及ぼした影響

— 首都圏都市部⇄その他地域 —

- 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)は、「地域との関わり方に変化はない」又は「地域への訪問の頻度が減少した」と回答する人の割合が大きい。「訪問を自粛又は休止したが、非訪問系の関わりに移行」した人の割合がその他地域から首都圏都市部への関わりと比べて大きく、地域との関わりを継続しようとする傾向がみられる。
- その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口(訪問系)は「地域への訪問の頻度が減少した」と回答する人の割合が最も大きい。首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口(訪問系)と比較すると、「地域との関わりを自粛又は休止した」と回答する人の割合が大きく、東京等における感染者の増加等が要因として考えられる。



(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

(9)関係人口(訪問系)が地域との関わりを深めるために必要な要素

国土交通省

— 首都圏都市部⇄その他地域 —

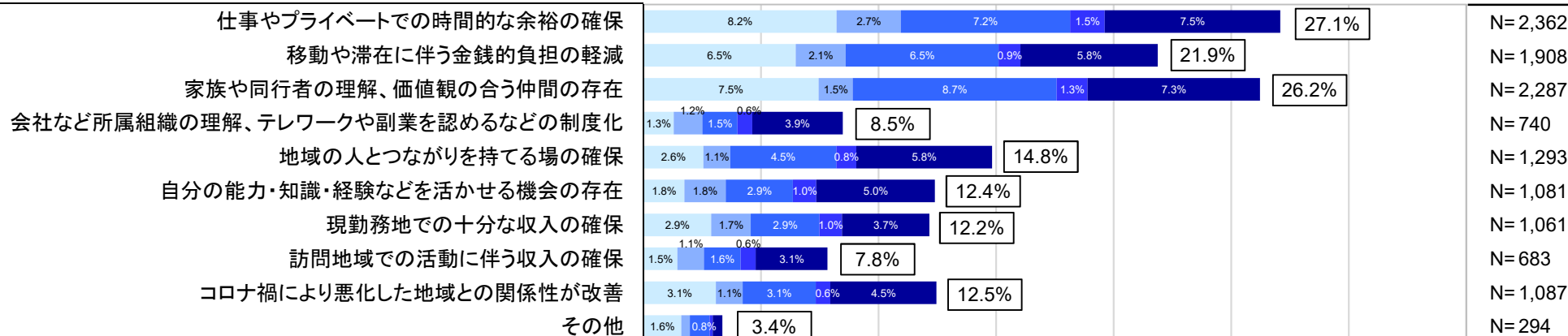
○ 首都圏都市部からその他地域に関わりを持つ関係人口（訪問系）は、その他地域から首都圏都市部に関わりを持つ関係人口（訪問系）と比較して、地域との関係性を深める上で、「家族や同行者の理解、価値観の合う仲間の存在」・「地域の人とつながりを持てる場の確保」が必要と回答する人の割合が大きい。

【計算方法】
回答数／訪問地域数×100(%)

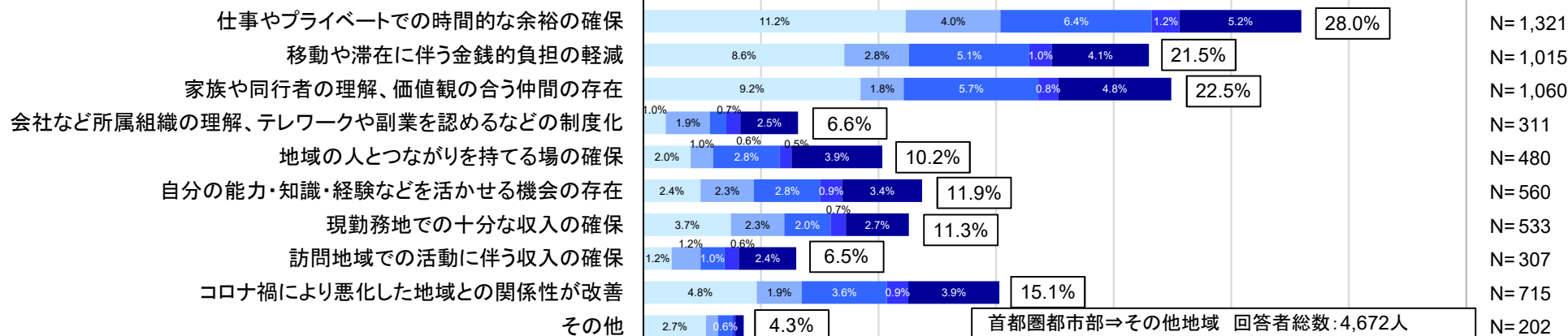
複数回答可

0.0% 5.0% 10.0% 15.0% 20.0% 25.0% 30.0% 35.0%

首都圏都市部⇄その他地域



その他地域⇄首都圏都市部



首都圏都市部⇒その他地域 回答者総数:4,672人
訪問地域数:8,718地域
その他地域⇒首都圏都市部 回答者総数:2,234人
訪問地域数:4,720地域

■ 趣味・消費型 ■ 就労型(テレワーク) ■ 参加・交流型 ■ 就労型(現地就労) ■ 直接寄与型

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

4. 地域内関係人口

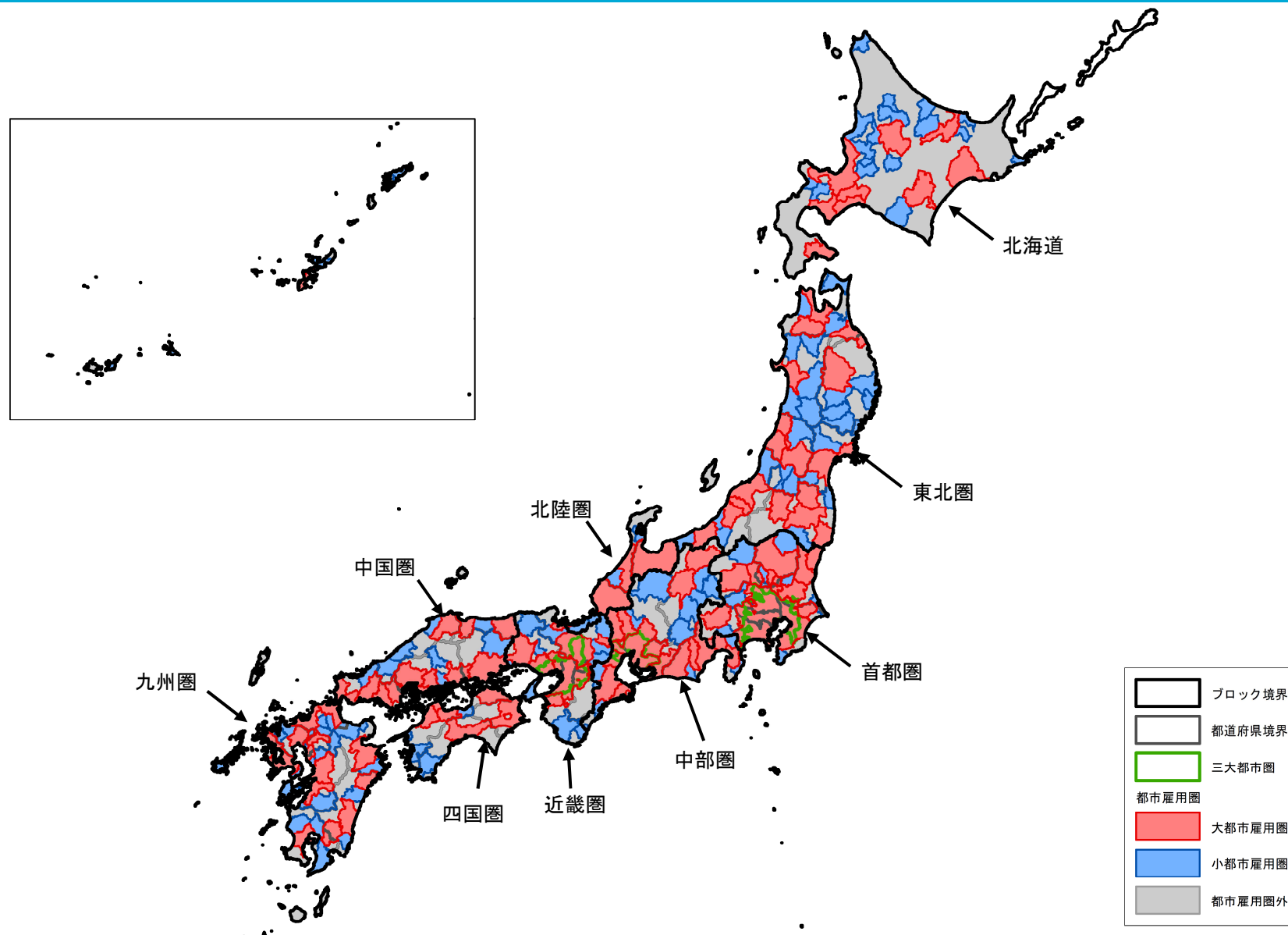
(1)本分析における地域内関係人口の定義

- 都市雇用圏とは、国勢調査の結果を用いて、DID人口が大きな市町村を中心都市、中心都市への通勤率が一定以上の市町村を郊外都市と定め、中心都市とその郊外都市により形成される圏域。
- 都市雇用圏は、中心都市のDID人口規模により、大都市雇用圏、小都市雇用圏に分類される。
- ここでは、「地域内」=「都市雇用圏内」と定義し、地域内関係人口の実態を把握する。

地域区分	設定方法
大都市雇用圏	<ul style="list-style-type: none"> ○中心都市 <ul style="list-style-type: none"> ・DID人口が5万人以上の市町村として定義 ○郊外都市 <ul style="list-style-type: none"> ・中心都市への通勤率が10%以上の市町村として定義 ※同一都市圏内に複数の中心都市が存在することを許容
小都市雇用圏	<ul style="list-style-type: none"> ○中心都市 <ul style="list-style-type: none"> ・DID人口が1万人から5万人の市町村として定義 ○郊外都市 <ul style="list-style-type: none"> ・中心都市への通勤率が10%以上の市町村として定義 ※同一都市圏内に複数の中心都市が存在することを許容
都市雇用圏外	<ul style="list-style-type: none"> ・大都市雇用圏及び小都市雇用圏外として定義 ・ここでは、都市雇用圏外を都道府県毎に設定

注：都市雇用圏は「日本の都市圏設定基準」（金本良嗣・徳岡一幸 『応用地域学研究』 No.7, 1-15, (2002)）に基づく

(2) 地方区分及び都市雇用圏の区分

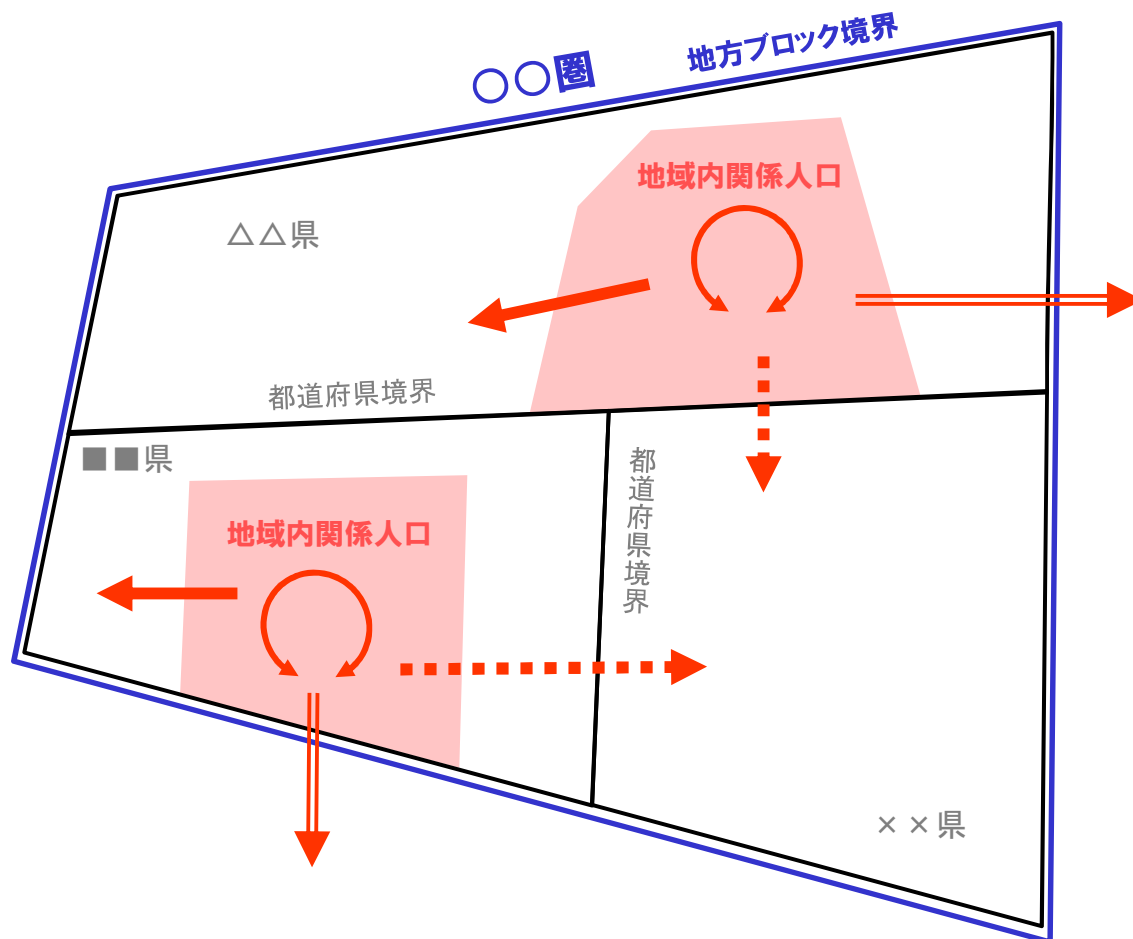


注：UEA 都市雇用圏コード表（2015年基準），http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/UEA/uea_code.htm（最終閲覧2020.12）

(3)分析フレーム

- 関係人口の関わり先エリアの拡がりを「自都市雇用圏内移動」 < 「自都道府県内移動」 < 「自都道府県外移動（自地方区分内外）」と定義し、関係人口の類型別にこの実態を分析・整理。
- 今回の分析では、関わり先エリアのうち、「自都市雇用圏内」を「地域内」と定義した。

■分析フレームの概念



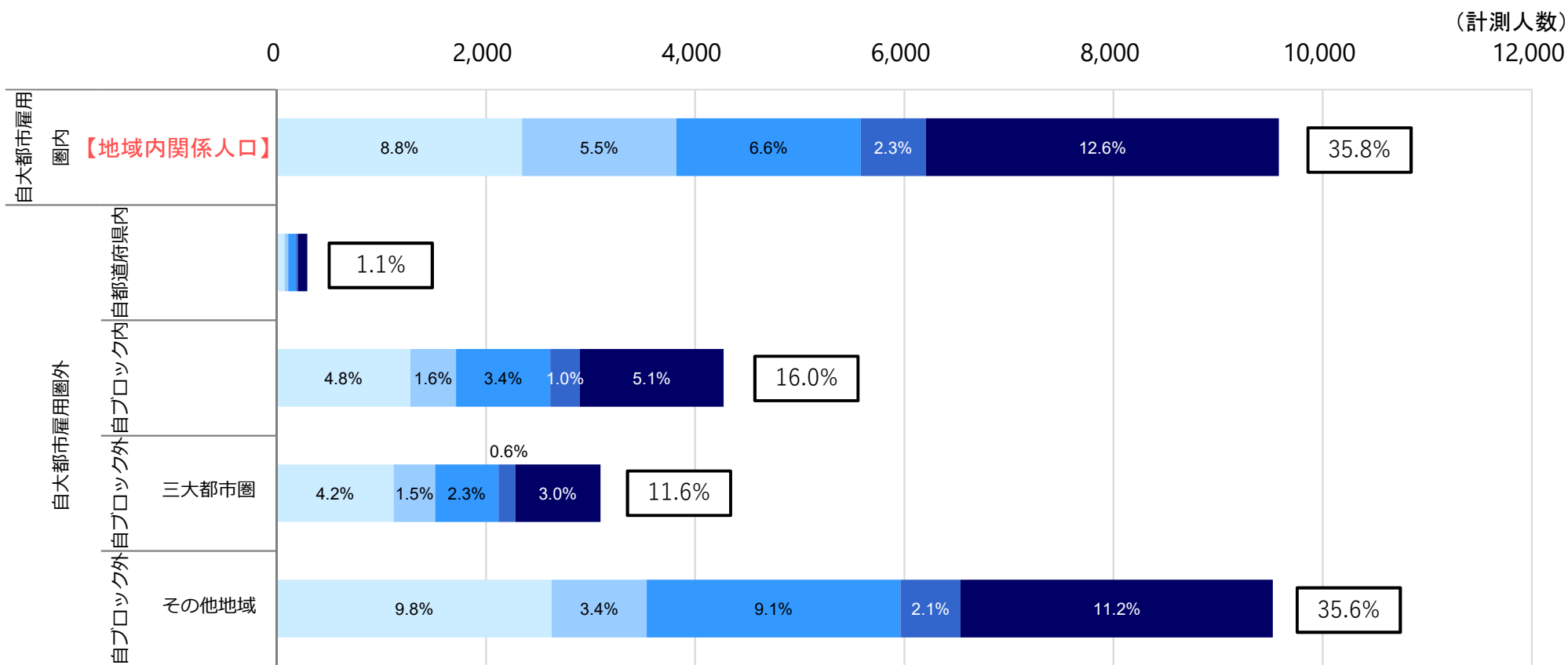
凡例(関係人口の関わり先)

関わり先エリアの規模 (小) ↓ (大)		自都市雇用圏内移動
		自都道府県内移動
		他の都道府県への移動
		他の地域ブロックへの移動

(4)三大都市圏の大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態

○ 三大都市圏に存在する大都市雇用圏では、約36%が自らの大都市雇用圏内を訪問している一方、約64%が自大都市雇用圏外を訪問しており、約47%が他の地方ブロックを訪問している。

大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態【三大都市圏に存在するもの】



■ 趣味・消費型(N=7,452) ■ 就労型(テレワーク)(N=3,248) ■ 参加・交流型(N=5,771) ■ 就労型(現地就労)(N=1,654) ■ 直接寄与型(N=8,643)

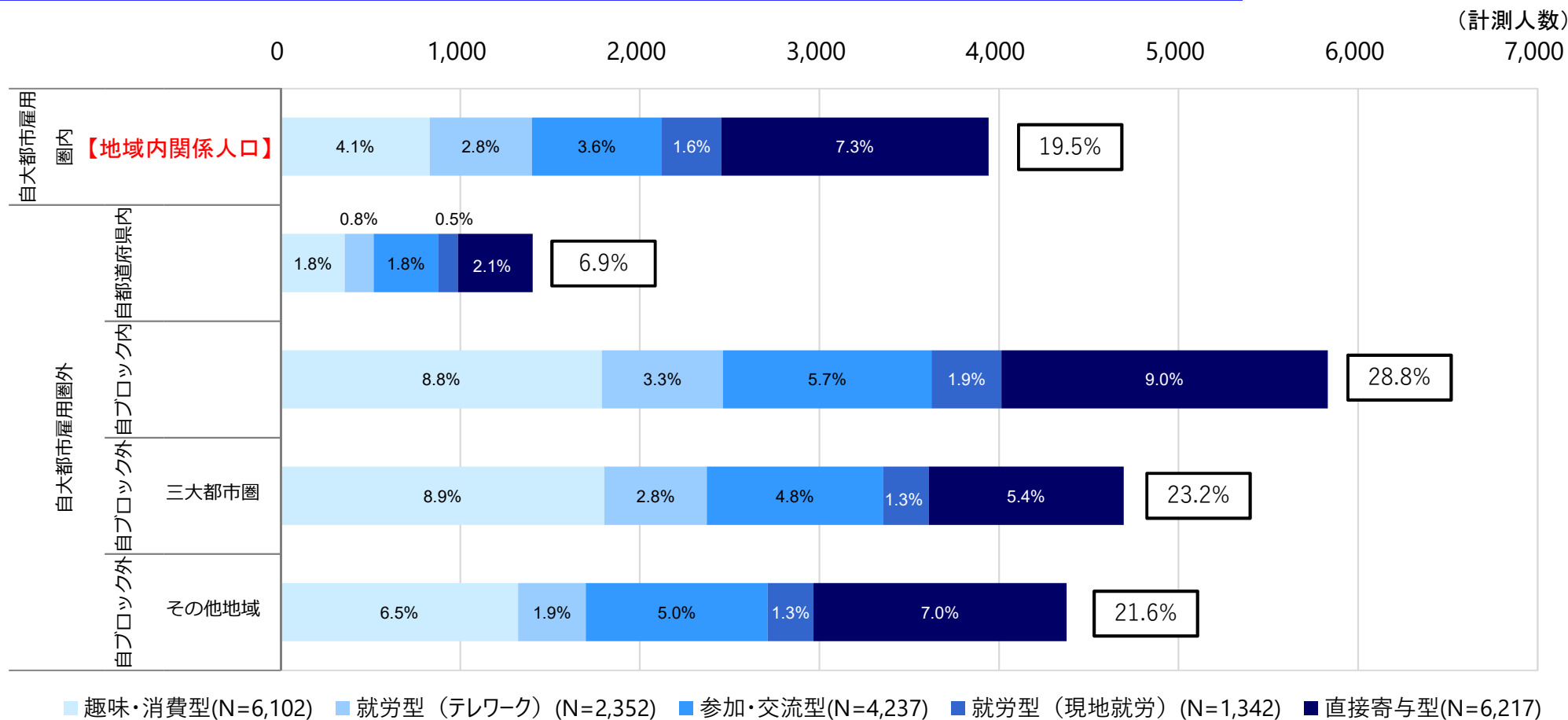
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

回答者総数:13,626人
訪問地域数:26,768地域

(5)三大都市圏以外の大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態 国土交通省

○ 三大都市圏以外に存在する大都市雇用圏では、自らの大都市雇用圏内への訪問が約20%にとどまっており、大半が大都市雇用圏外への訪問となっている。特に、自らの都道府県内への訪問の割合が小さいほか、自らの地方ブロック(自都道府県外)を訪問している人の割合が大きくなっている。

大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態【三大都市圏に存在するもの以外】



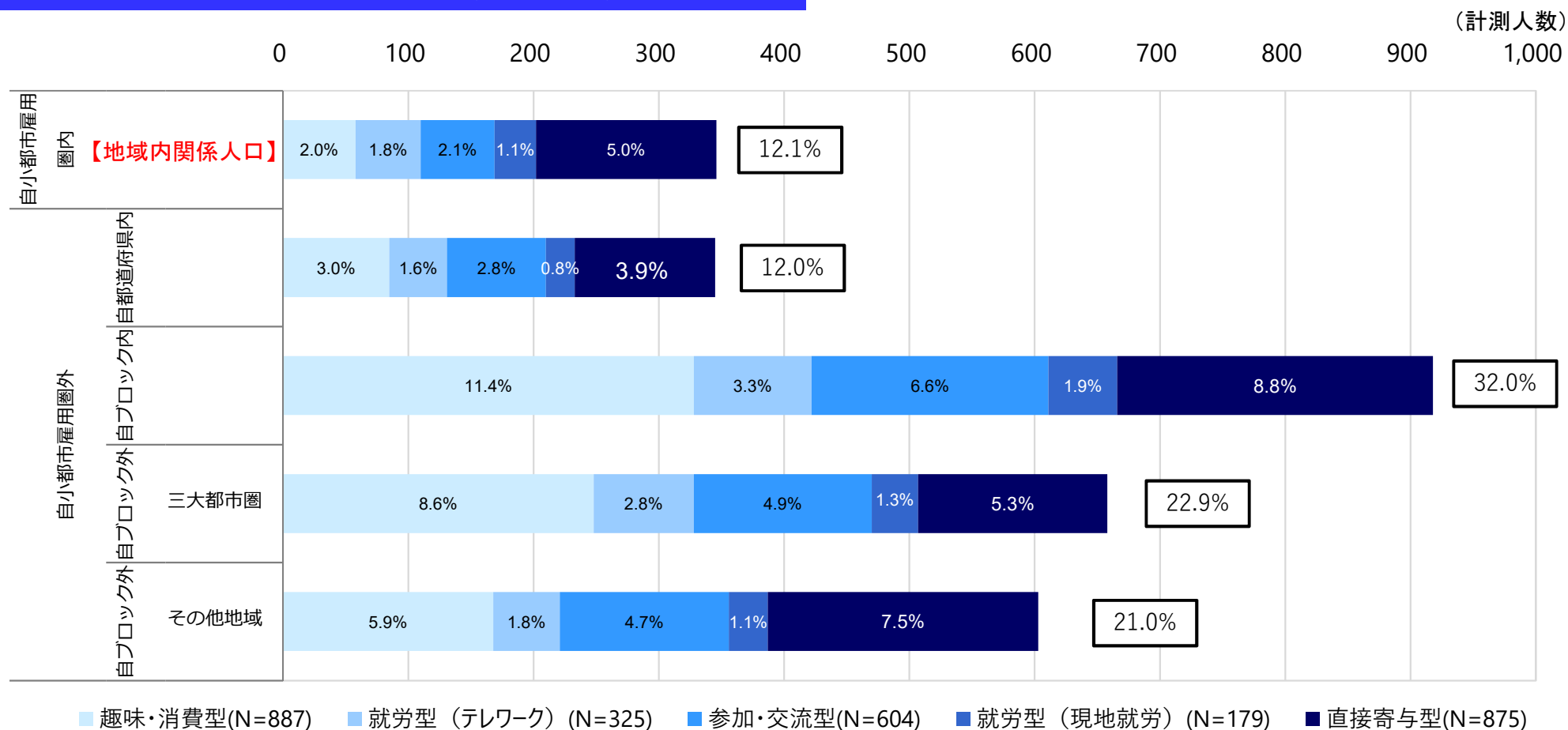
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

回答者総数: 10,283人
訪問地域数: 20,250地域

(6)小都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態

- 小都市雇用圏では、自らの小都市雇用圏内への訪問が約12%にとどまっております、大半が自小都市雇用圏外への訪問となっている。特に、自らの地方ブロック（自都道府県外）を訪問している人の割合が大きくなっている。

小都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態

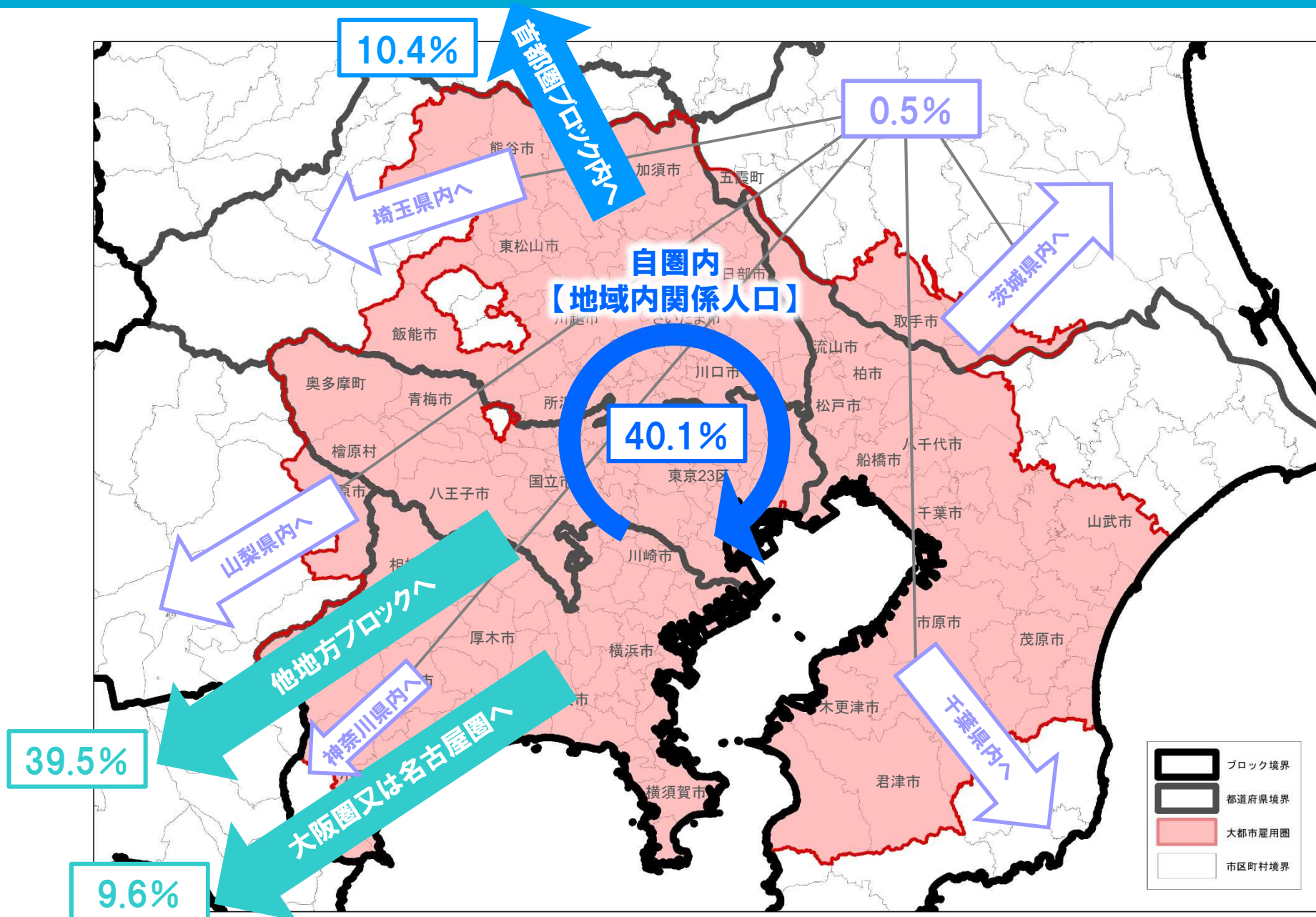


回答者総数:1,451人
訪問地域数:2,870地域

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

(7)東京大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)

— 対象エリアと訪問先 —

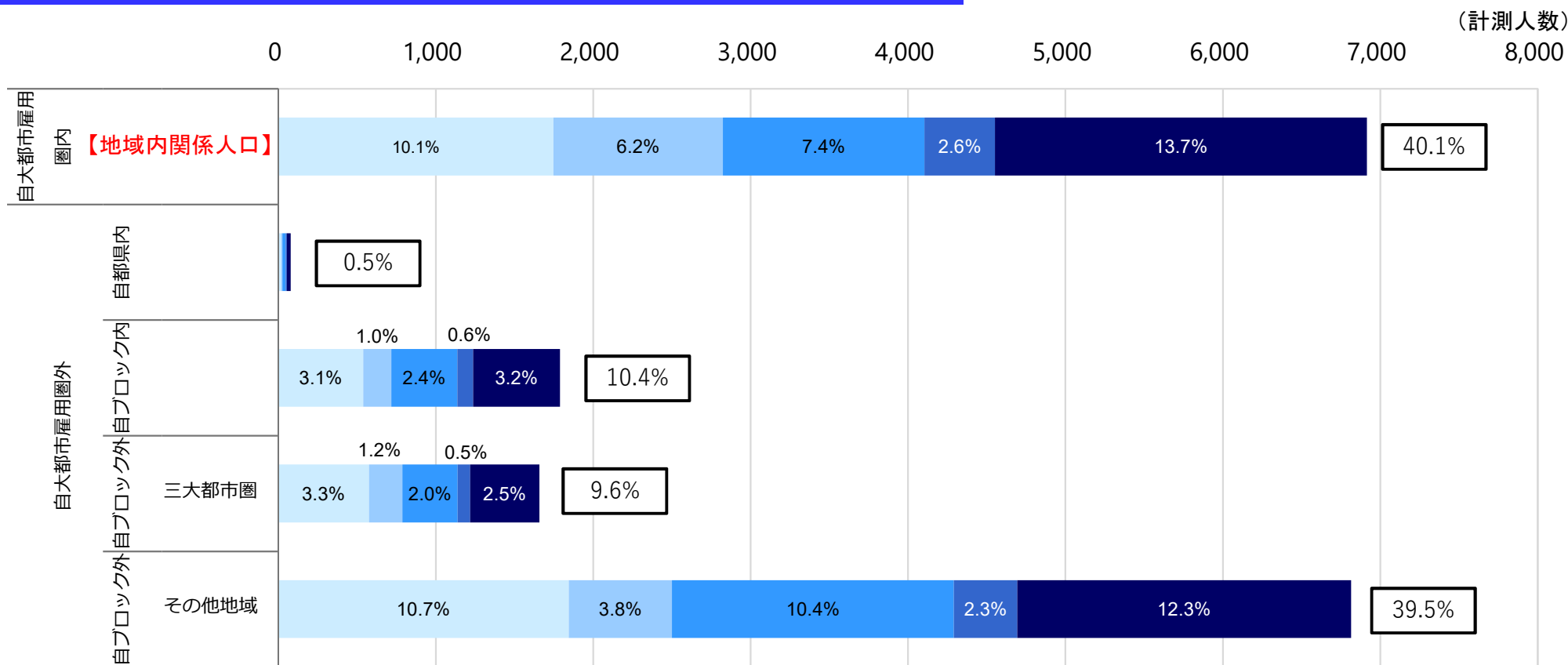


(7)東京大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)

— 関係人口(訪問系)の動態 —

- 東京大都市雇用圏の関係人口（訪問系）の動態については、基本的に三大都市圏の大都市雇用圏の関係人口（訪問系）と類似の傾向を示しているが、圏内以外の自都県内を訪問している割合が極端に小さくなっている。
- 圏内への訪問と他の地方ブロックへの訪問に大別できる。

東京大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態



■ 趣味・消費型(N=4,727) ■ 就労型(テレワーク)(N=2,133) ■ 参加・交流型(N=3,860) ■ 就労型(現地就労)(N=1,040) ■ 直接寄与型(N=5,497)

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

回答者総数: 8,811人
訪問地域数: 17,257地域

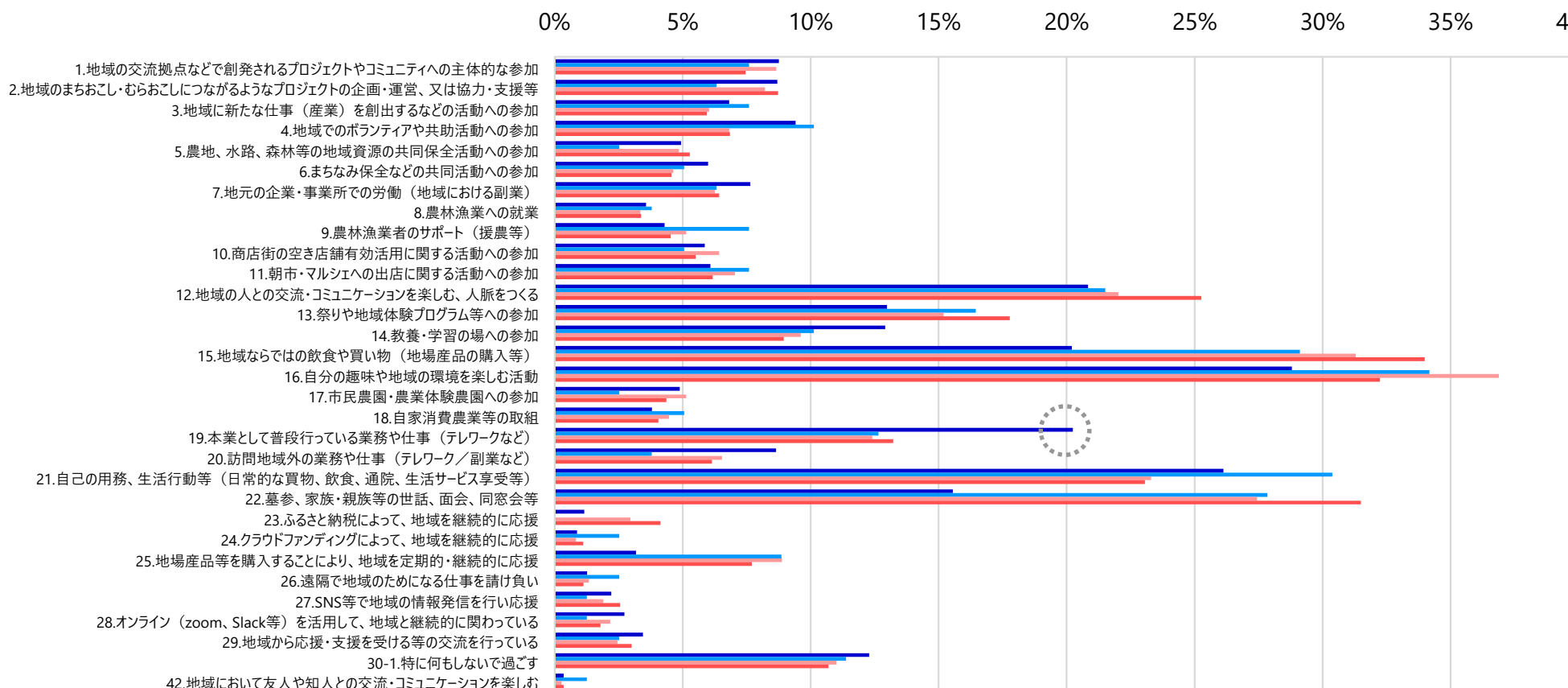
(7)東京大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)

— 関係人口(訪問系)の過ごし方 —

○ 自らの都市雇用圏内を訪問している地域内関係人口（訪問系）については、テレワークを行っている人の割合が約2割と比較的大きくなっている。

東京大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の過ごし方

複数回答可



■ 自区内(または自市区町村内) (N=6915)

■ 自都道府県内 (N=79)

■ 自ブロック内 (N=1789)

■ 自ブロック外計 (N=8474)

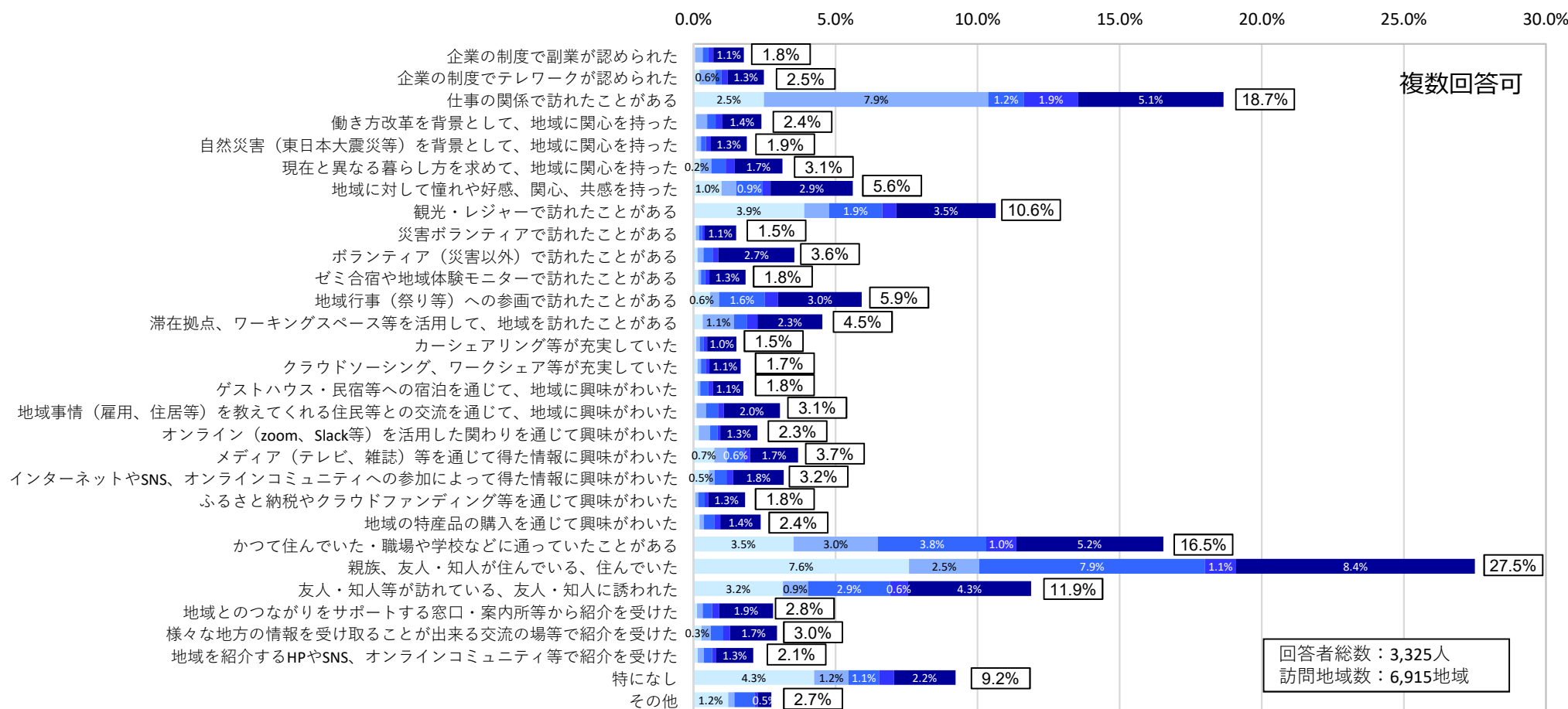
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

回答者総数: 8,811人
訪問地域数: 17,257地域

(8)東京大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 訪問のきっかけ —

○ 東京大都市雇用圏に居住している地域内関係人口（訪問系）の自都市雇用圏への訪問のきっかけとして、「親族、友人・知人が住んでいる、住んでいた」と回答する人が最も多いものの、次いで「仕事の関係で訪れたことがある」と回答する人が多く、地域内関係人口（訪問系）は仕事をきっかけに関わり先を訪問している割合が大きいことがわかる。



回答者総数：3,325人
訪問地域数：6,915地域

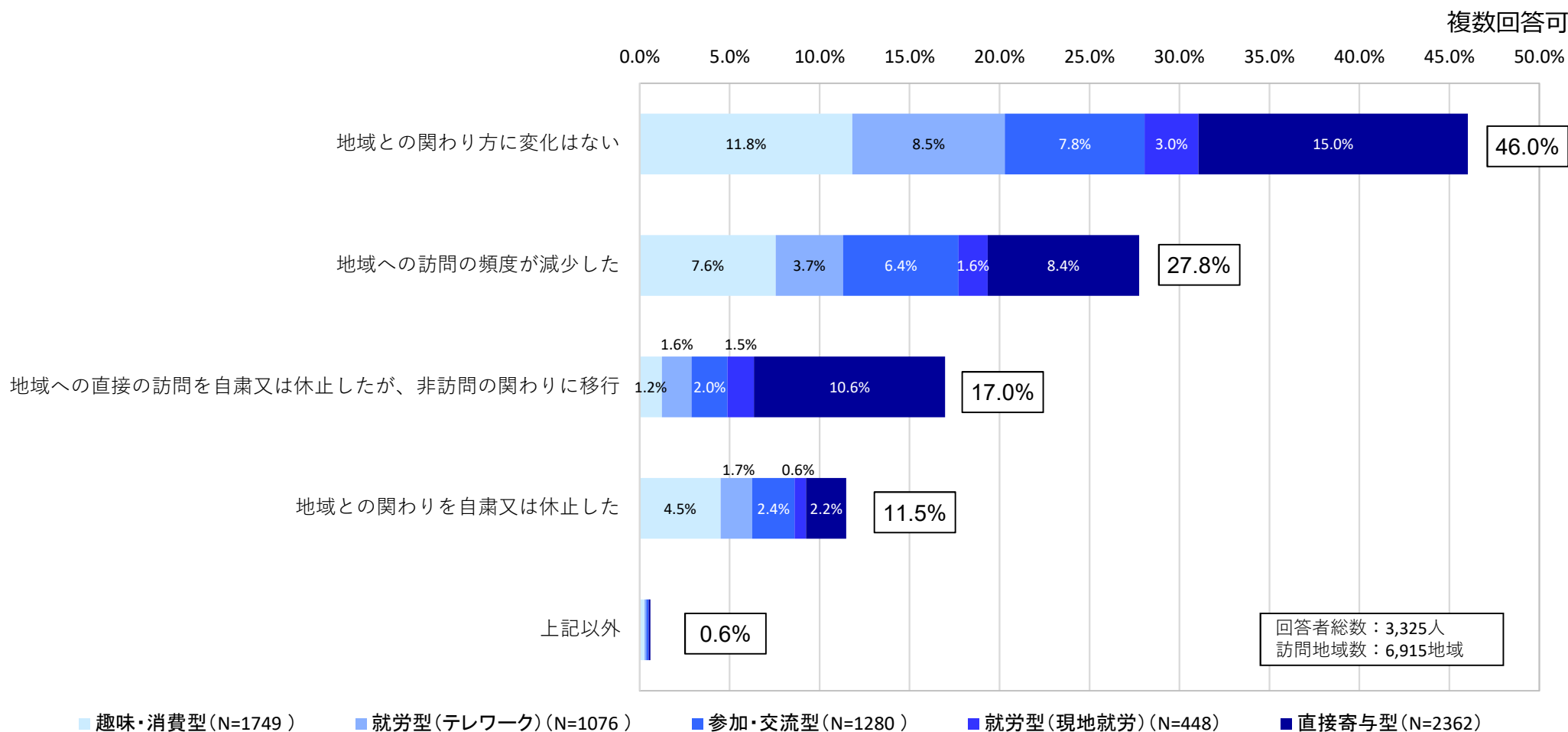
■ 興味・消費型 (N=1749) ■ 就労型(テレワーク) (N=1076) ■ 参加・交流型 (N=1280) ■ 就労型(現地就労) (N=448) ■ 直接寄与型 (N=2362)

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (地域内関係人口、訪問地域数ベース)

(8) 東京大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 新型コロナウイルスが及ぼした影響 —

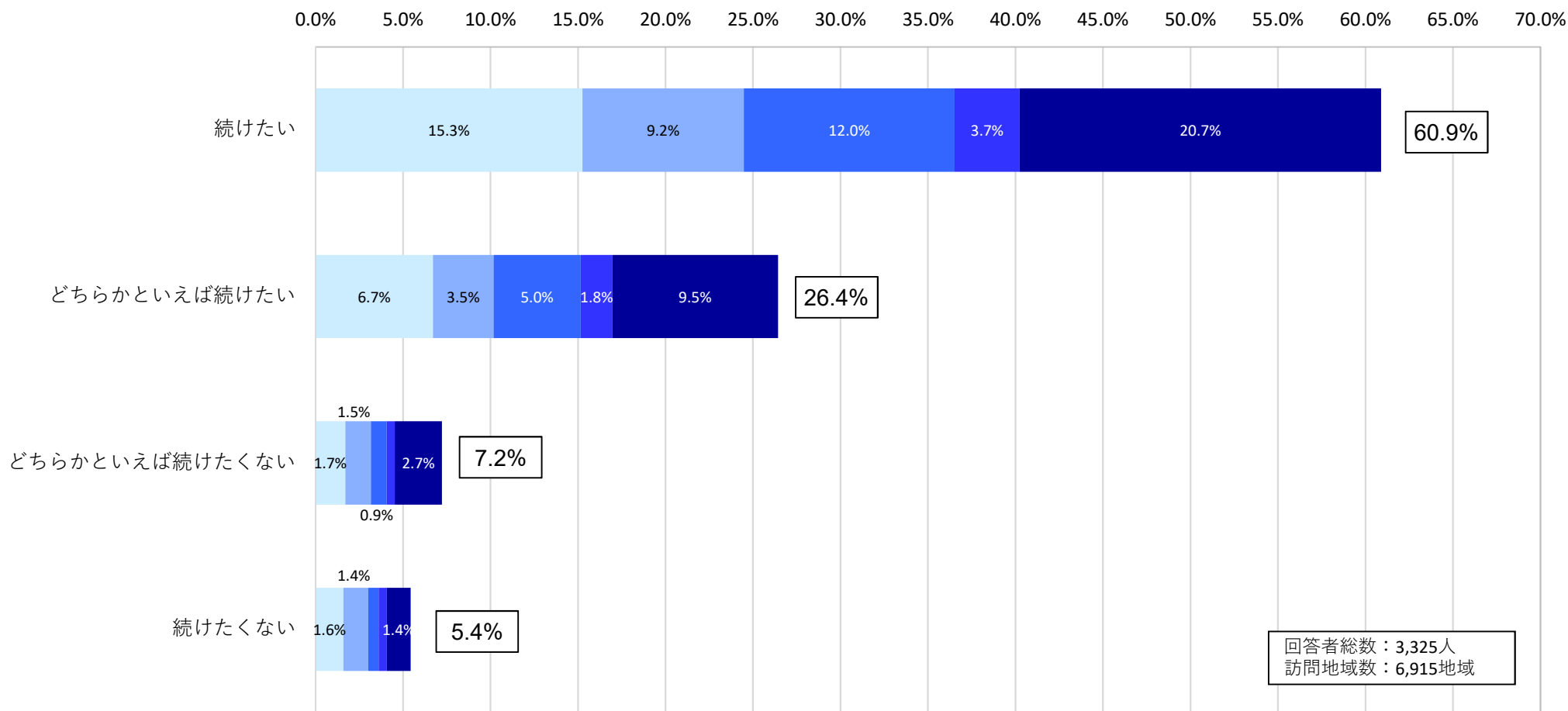
○ 東京大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、約半数が新型コロナウイルスの影響による「地域との関わり方に変化はない」と回答しており、地域内関係人口（訪問系）直接寄与型の占める割合が大きい。



(8)東京大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との関わりの継続の意向 —

○ 東京大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、約9割が新型コロナウイルス感染拡大収束後も地域との関わりを「続けたい」又は「どちらかといえば続けたい」と回答している。



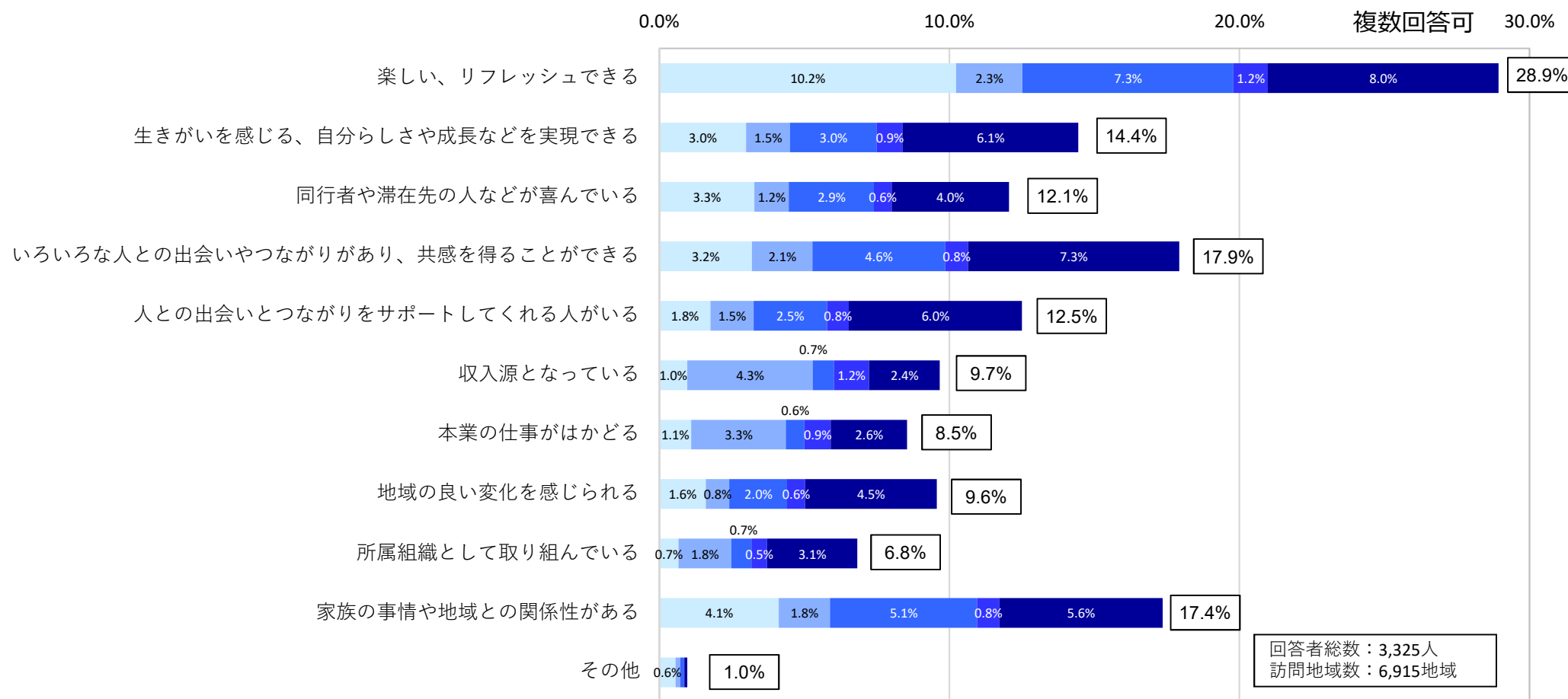
■ 趣味・消費型(N=1749) ■ 就労型(テレワーク)(N=1076) ■ 参加・交流型(N=1280) ■ 就労型(現地就労)(N=448) ■ 直接寄与型(N=2362)

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

(8) 東京大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との関わりを継続したい理由 —

○ 東京大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、新型コロナウイルス感染拡大収束後も地域との関わりを継続したい理由として、「楽しい、リフレッシュできる」と回答する人が最も多く、次いで「いろいろな人との出会いやつながりがあり、共感を得ることができる」及び「家族の事情や地域との関係性がある」と回答する人が同程度に多い。



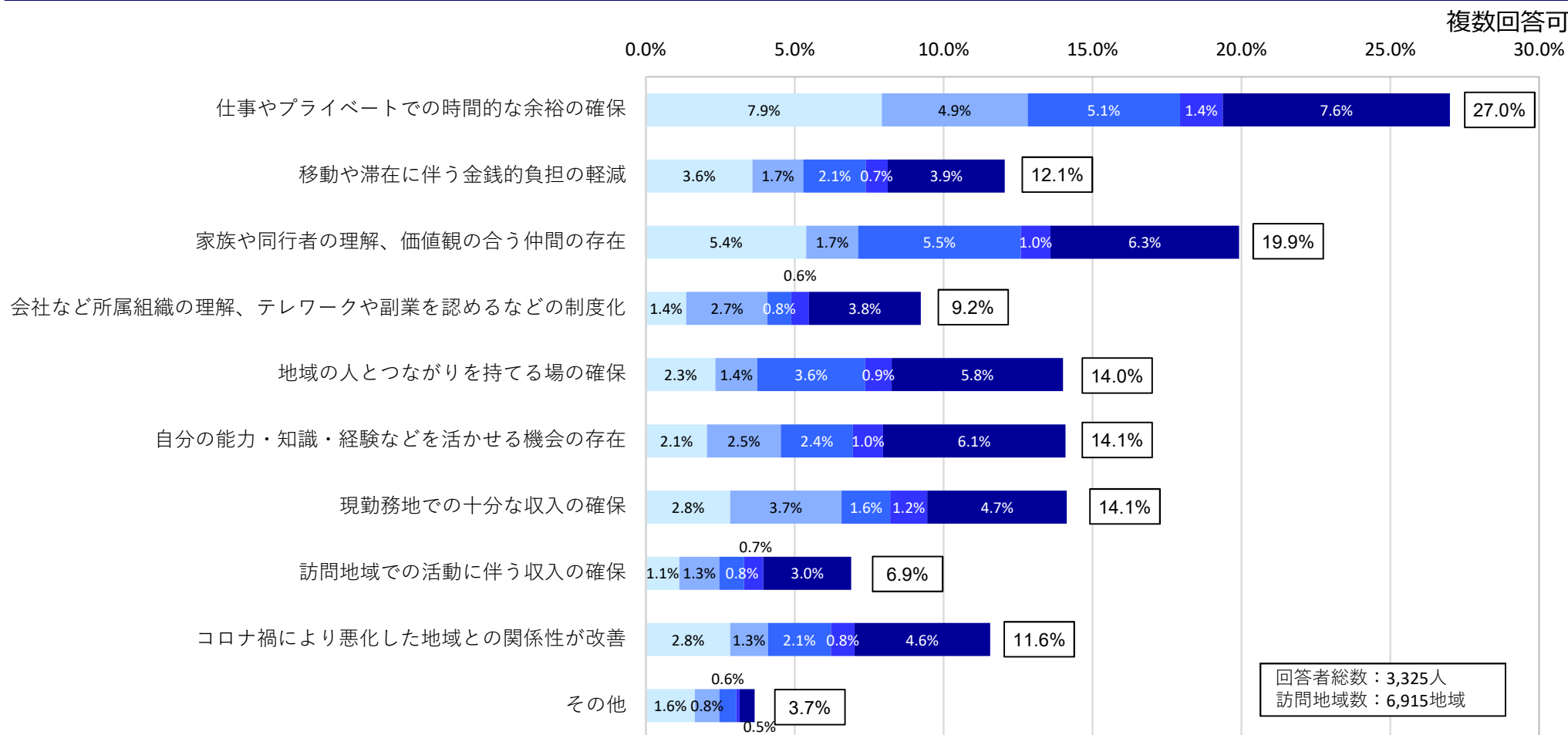
■ 趣味・消費型 (N=1749) ■ 就労型(テレワーク) (N=1076) ■ 参加・交流型 (N=1280) ■ 就労型(現地就労) (N=448) ■ 直接寄与型 (N=2362)

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

(8) 東京大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との関係性を深めるために必要なもの —

- 東京大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、地域との関係性を深めるために「仕事やプライベートでの時間的な余裕の確保」が必要と回答する人が最も多く、次いで「家族や同行者の理解、価値観の合う仲間の存在」が必要と回答する人が多い。

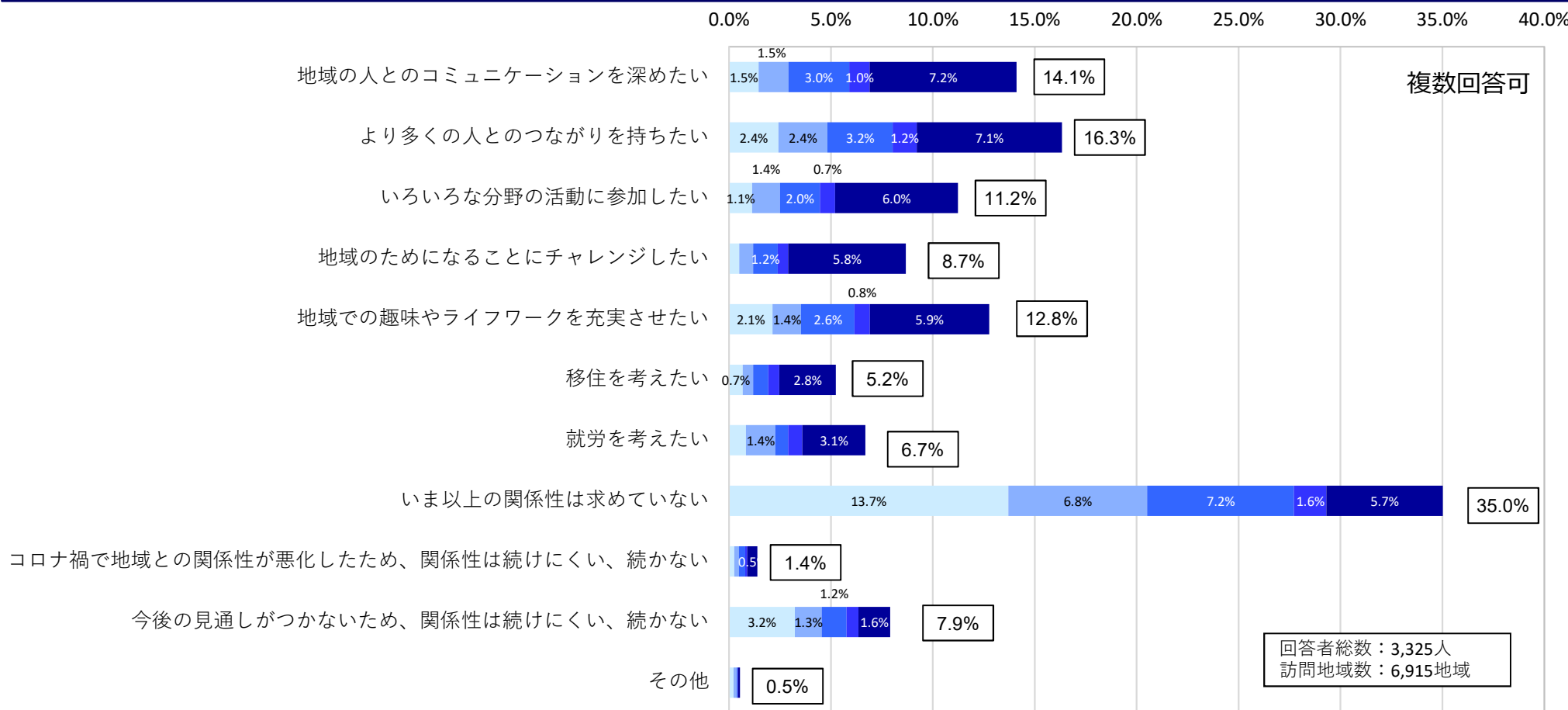


■ 趣味・消費型 (N=1749) ■ 就労型(テレワーク) (N=1076) ■ 参加・交流型 (N=1280) ■ 就労型(現地就労) (N=448) ■ 直接寄与型 (N=2362)

(8)東京大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との多様な関わり —

- 東京大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、「いま以上の関係性は求めていない」と回答する人を除けば、「より多くの人とのつながりを持ちたい」と回答する人が最も多く、地域内関係人口（訪問系）直接寄与型の占める割合が大きい。
- 地域内関係人口（訪問系）直接寄与型は、地域との多様な関わりを望む傾向にある。

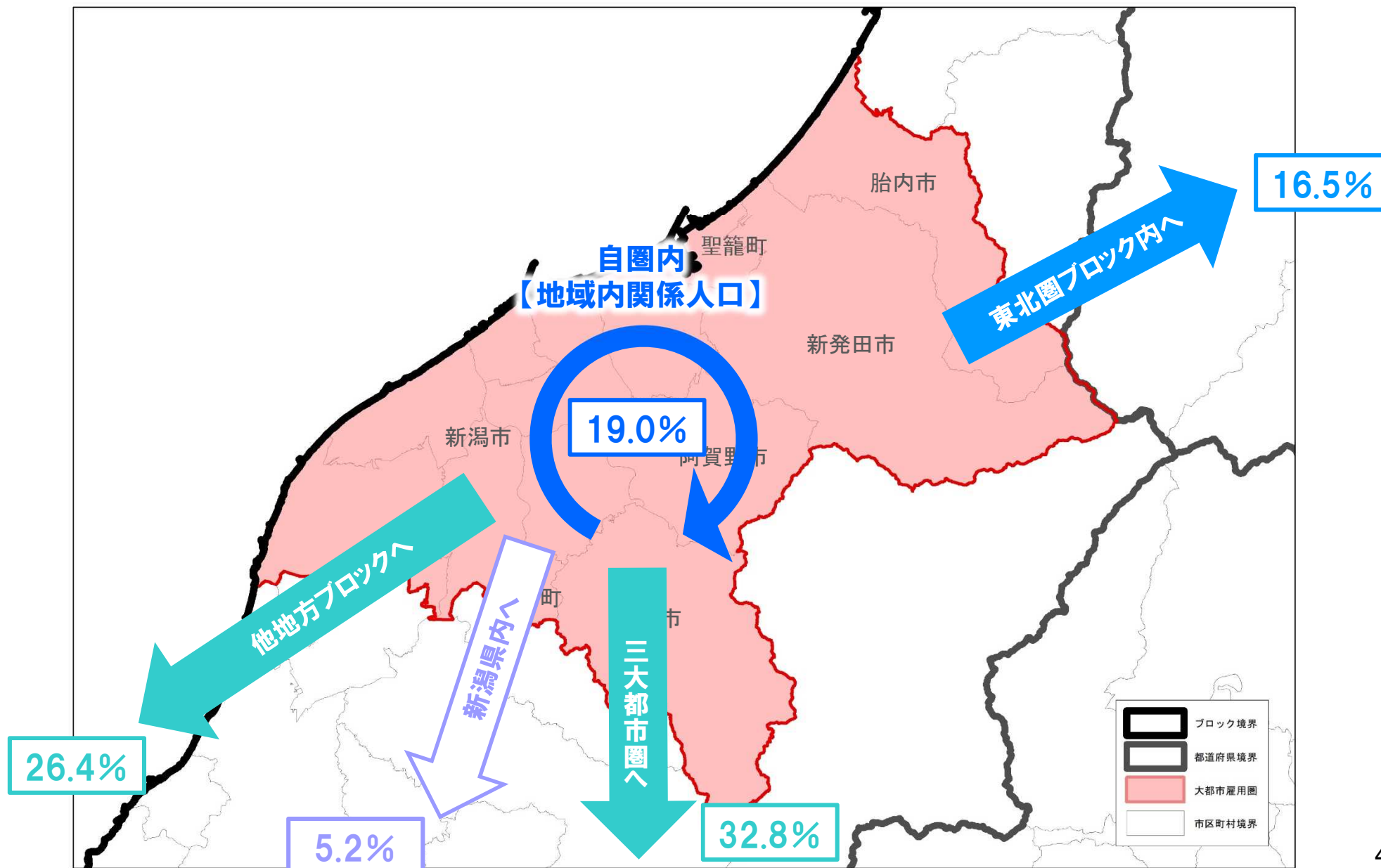


■ 興味・消費型 (N=1749) ■ 就労型(テレワーク) (N=1076) ■ 参加・交流型 (N=1280) ■ 就労型(現地就労) (N=448) ■ 直接寄与型 (N=2362)

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施) (関係人口(訪問系)、訪問地域数ベース)

(9)新潟大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)

— 対象エリアと訪問先 —

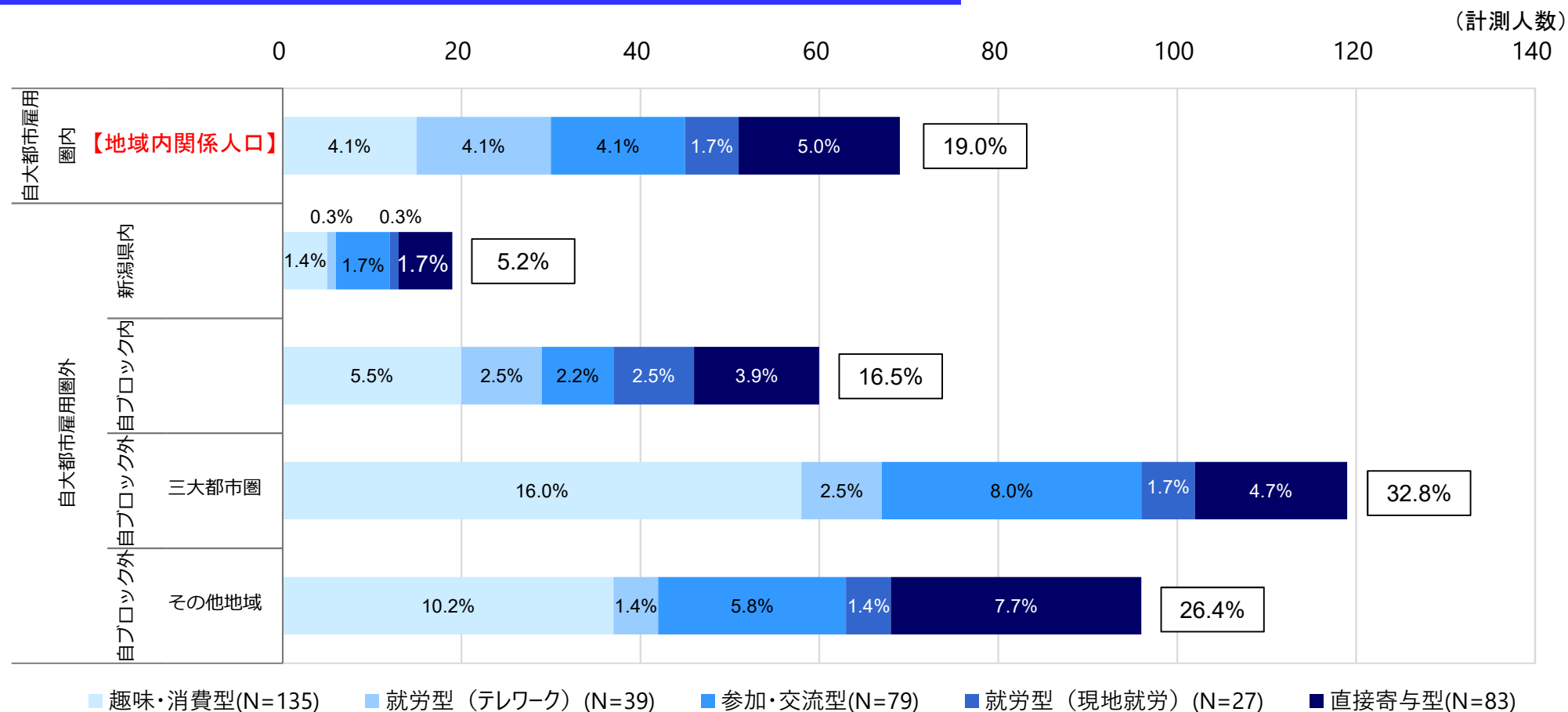


(9)新潟大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)

— 関係人口(訪問系)の動態 —

○ 新潟大都市雇用圏の関係人口（訪問系）については、三大都市圏への訪問が約33%を占めるとともに、約27%が他の地方圏を訪問しており、遠方を訪問している人の割合が大きい。

新潟大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態



(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」(国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

回答者総数:189人
訪問地域数:363地域

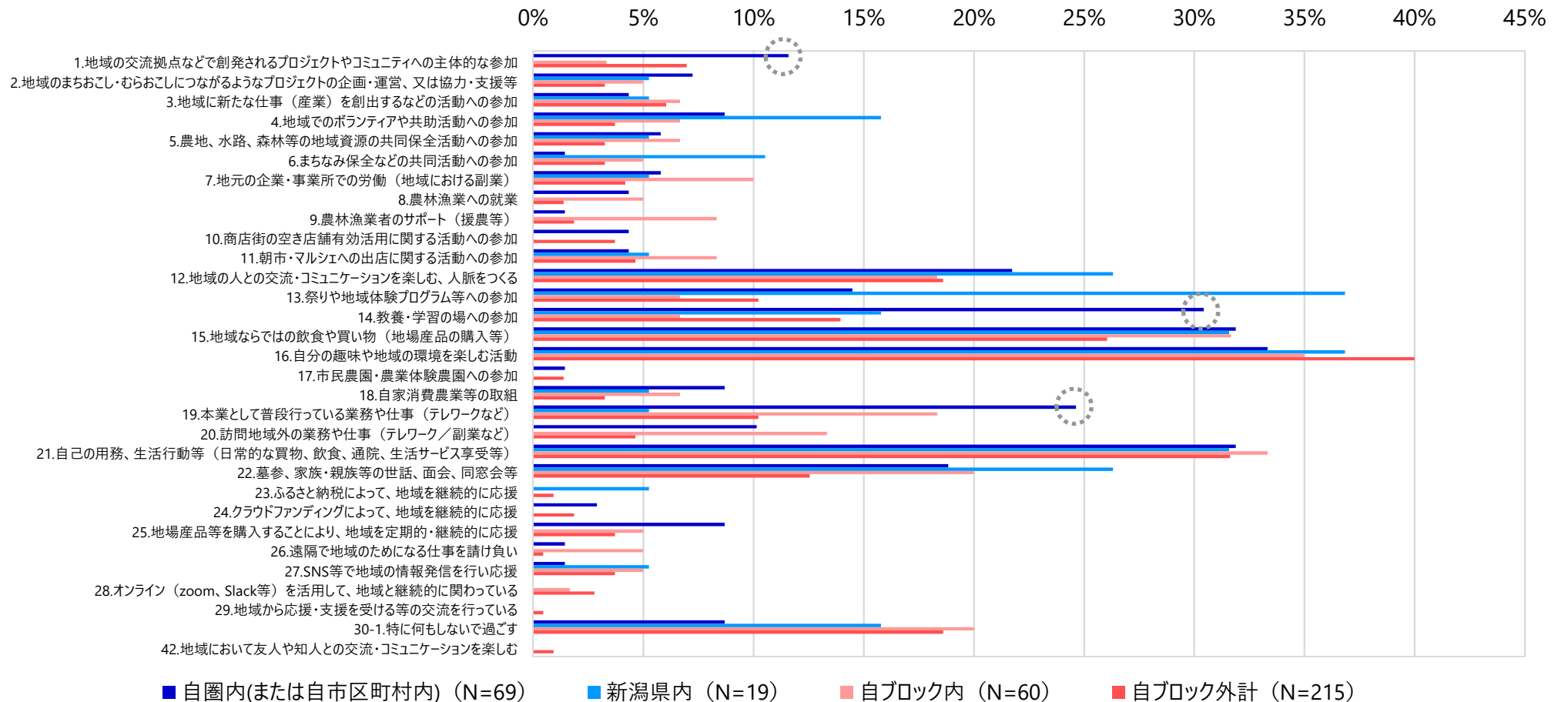
(9)新潟大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)

— 関係人口(訪問系)の過ごし方 —

○ 自らの都市雇用圏内を訪問している地域内関係人口（訪問系）については、「地域の交流拠点などで創発されるプロジェクトやコミュニティへの主体的な参加」といった地域内関係人口（訪問系）直接寄与型の関わり及び「教養・学習の場への参加」といった地域内関係人口（訪問系）参加・交流型の関わりの割合が大きくなっている。

新潟大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の過ごし方

複数回答可



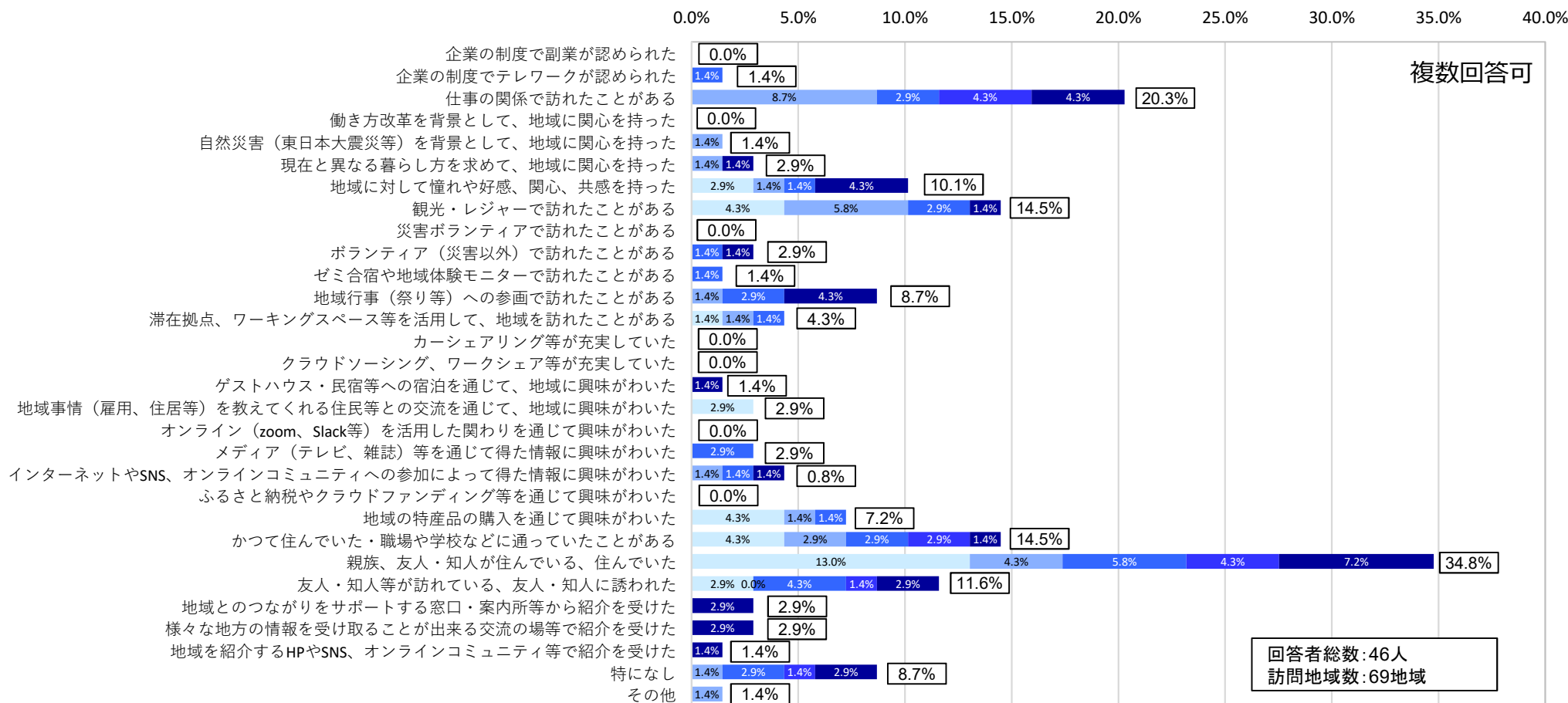
(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

回答者総数:189人
訪問地域数:363地域

(10)新潟大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 訪問のきっかけ —

○ 新潟大都市雇用圏に居住している地域内関係人口（訪問系）の自都市雇用圏への訪問のきっかけとして、「親族、友人・知人が住んでいる、住んでいた」と回答する人が最も多いものの、次いで「仕事の関係で訪れたことがある」と回答する人が多く、地域内関係人口（訪問系）は仕事をきっかけに関わり先を訪問している割合が大きいことがわかる。

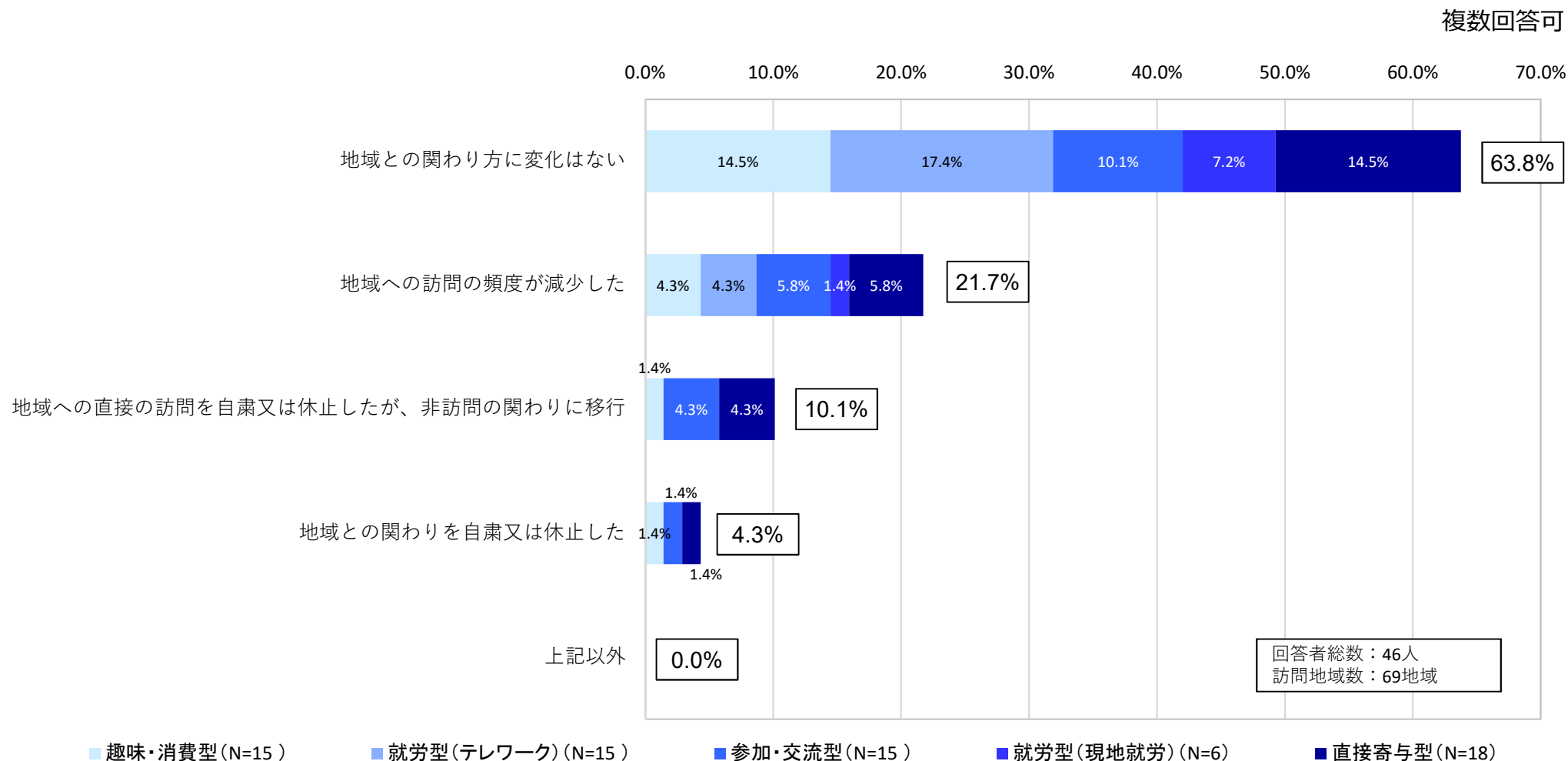


回答者総数: 46人
訪問地域数: 69地域

(10)新潟大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 新型コロナウイルスが及ぼした影響 —

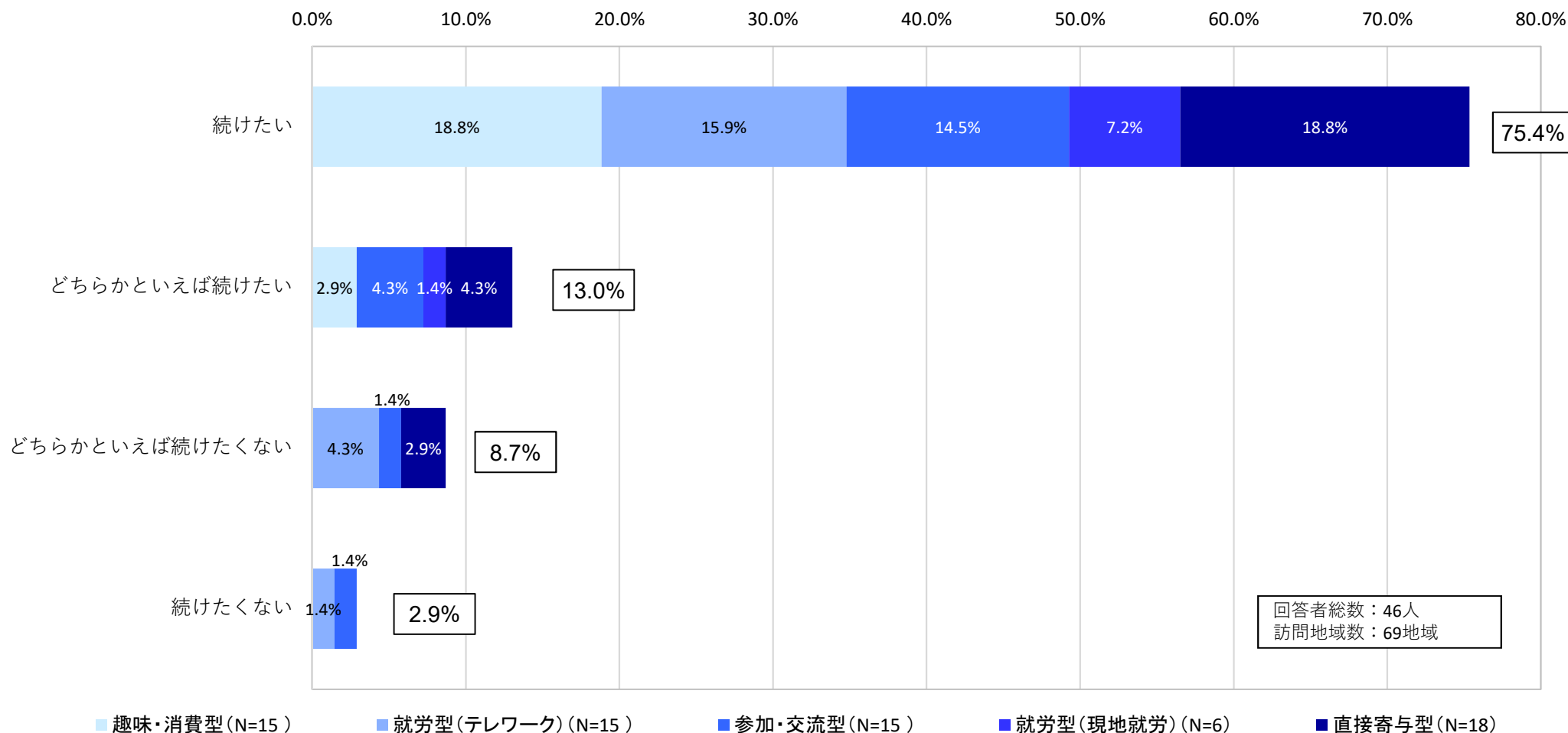
○ 新潟大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、約6割が新型コロナウイルスの影響による「地域との関わり方に変化はない」と回答しており、地域内関係人口（訪問系）就労型（テレワーク）の占める割合が大きい。



(10)新潟大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との関わりの継続の意向 —

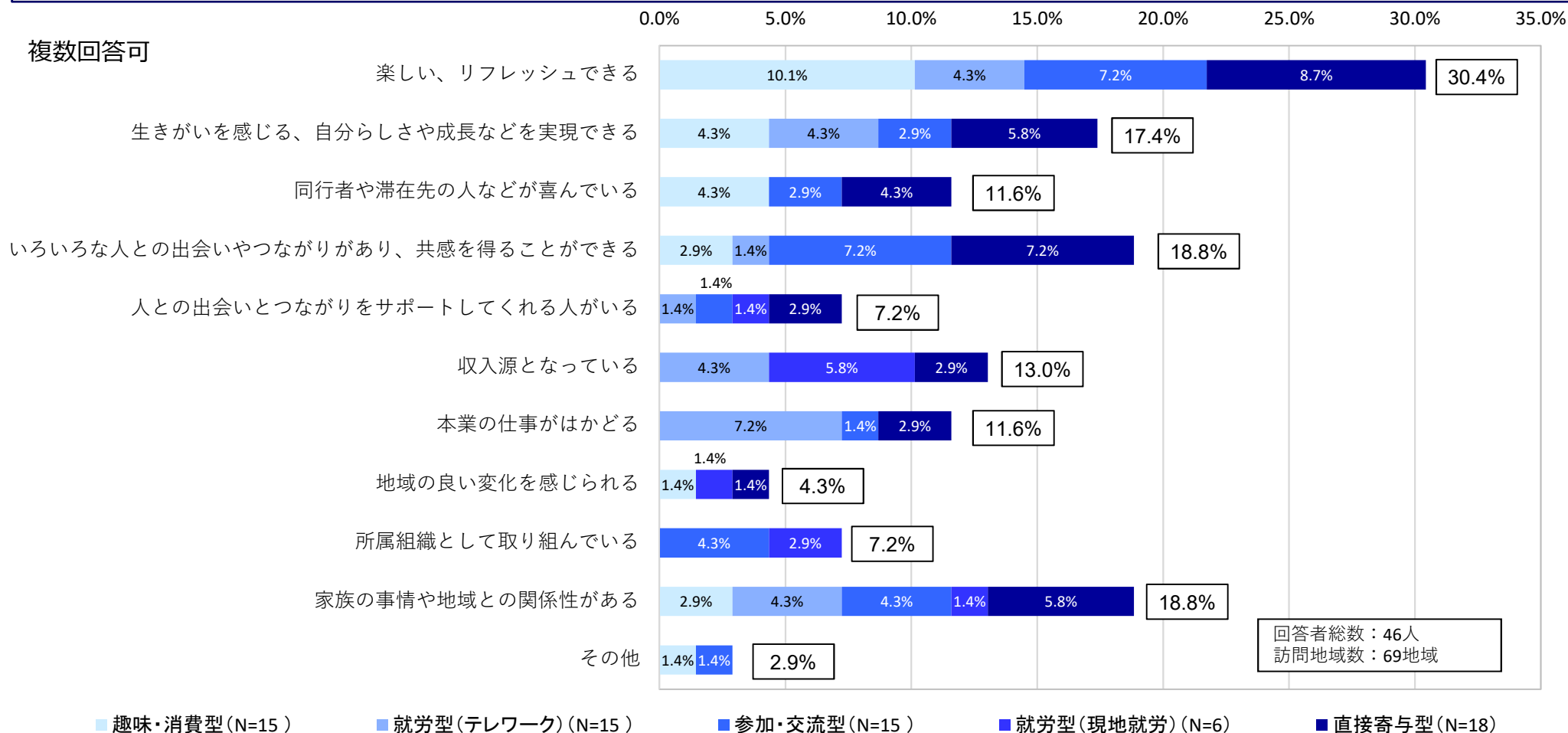
○ 新潟大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、約9割が新型コロナウイルス感染拡大収束後も地域との関わりを「続けたい」又は「どちらかといえば続けたい」と回答しており、東京大都市雇用圏と比べ、「続けたい」と回答した割合が大きい。



(10)新潟大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との関わりを継続したい理由 —

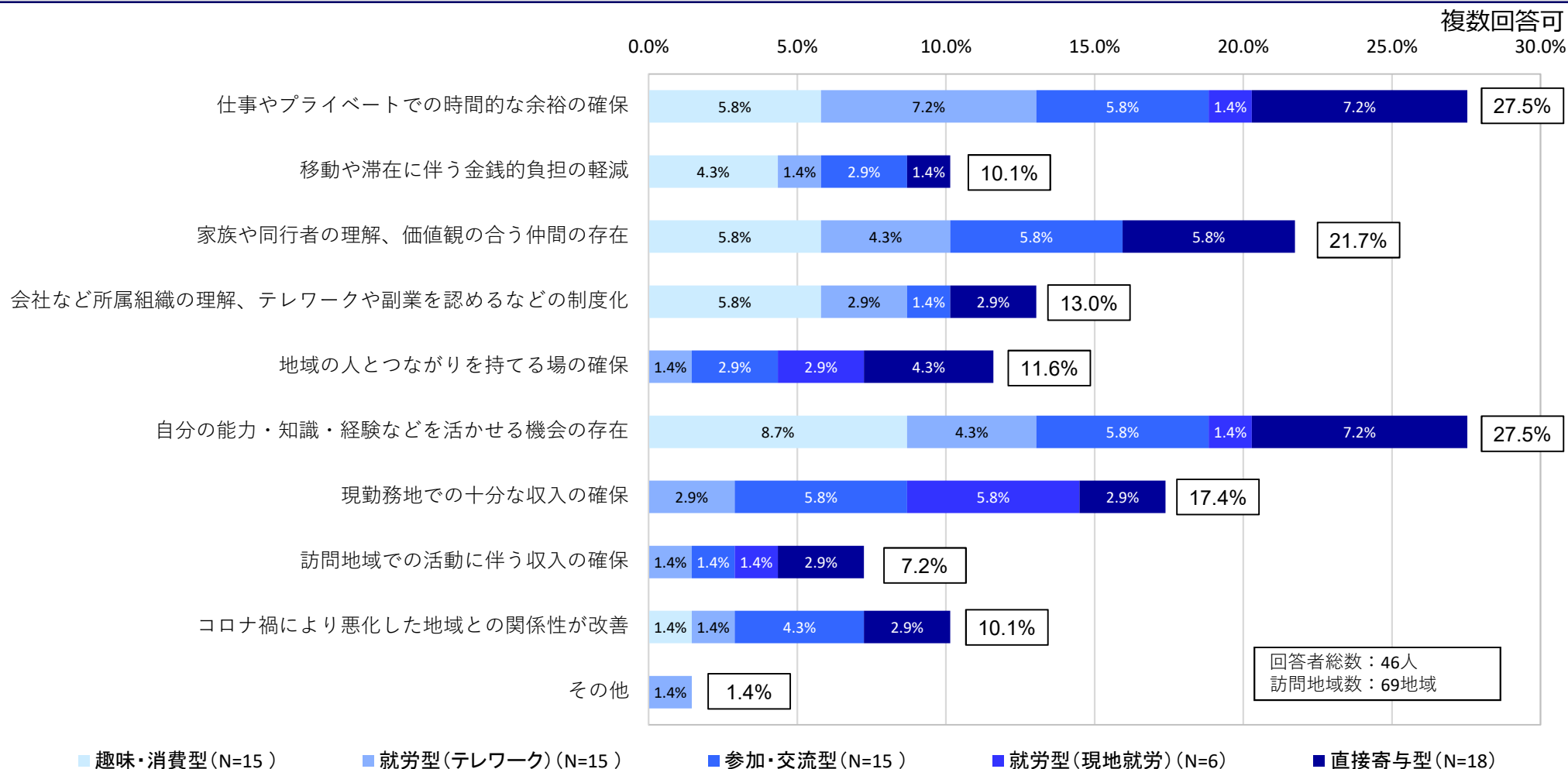
○ 新潟大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、新型コロナウイルス感染拡大収束後も地域との関わりを継続したい理由として、「楽しい、リフレッシュできる」と回答する人が最も多く、次いで「いろいろな人との出会いやつながりがあり、共感を得ることができる」及び「家族の事情や地域との関係性がある」と回答する人が同程度に多い。



(10)新潟大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との関係性を深めるために必要なもの —

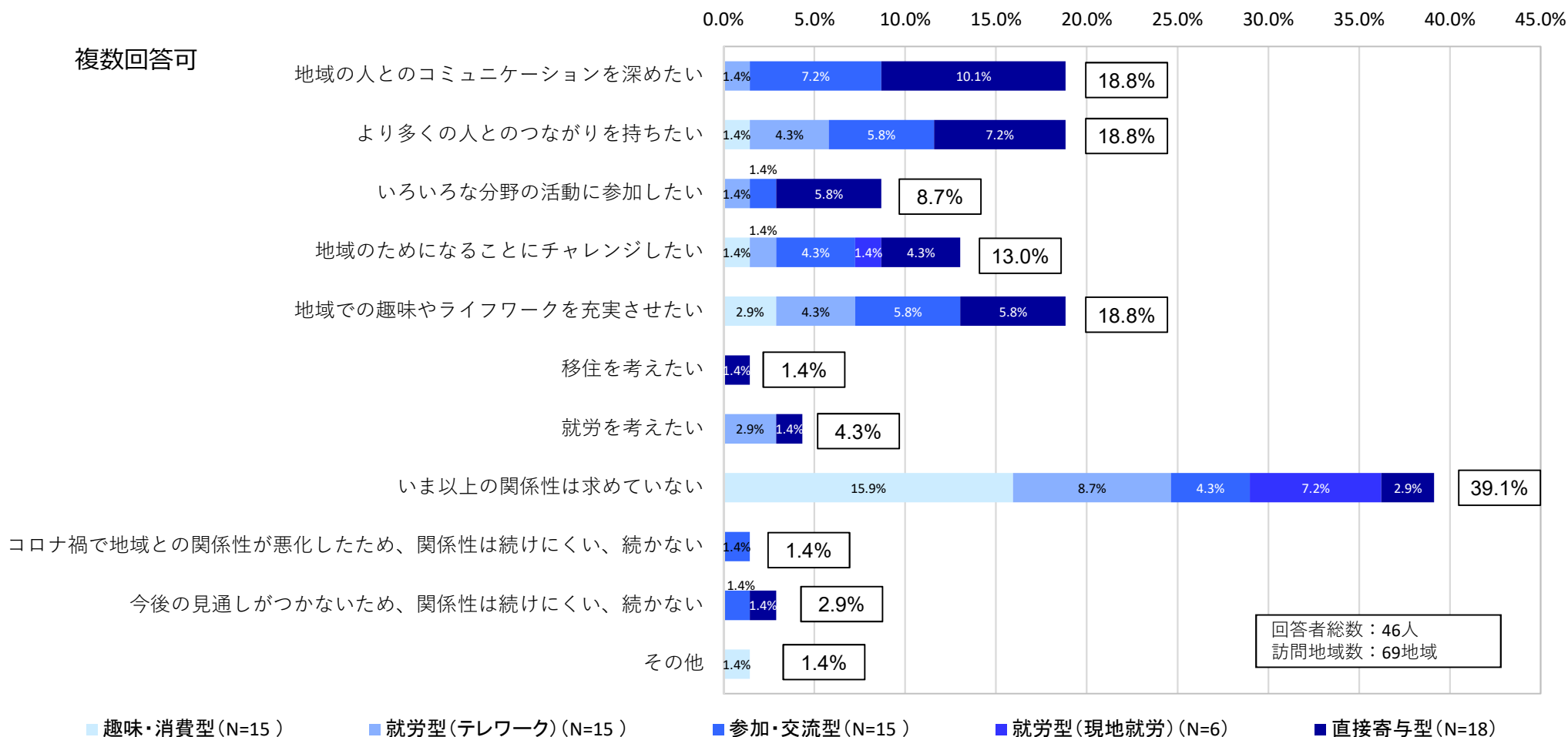
○ 新潟大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、地域との関係性を深めるために「仕事やプライベートでの時間的な余裕の確保」及び「自分の能力・知識・経験などを活かせる機会の存在」が必要と回答する人が同程度に多い。



(10)新潟大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

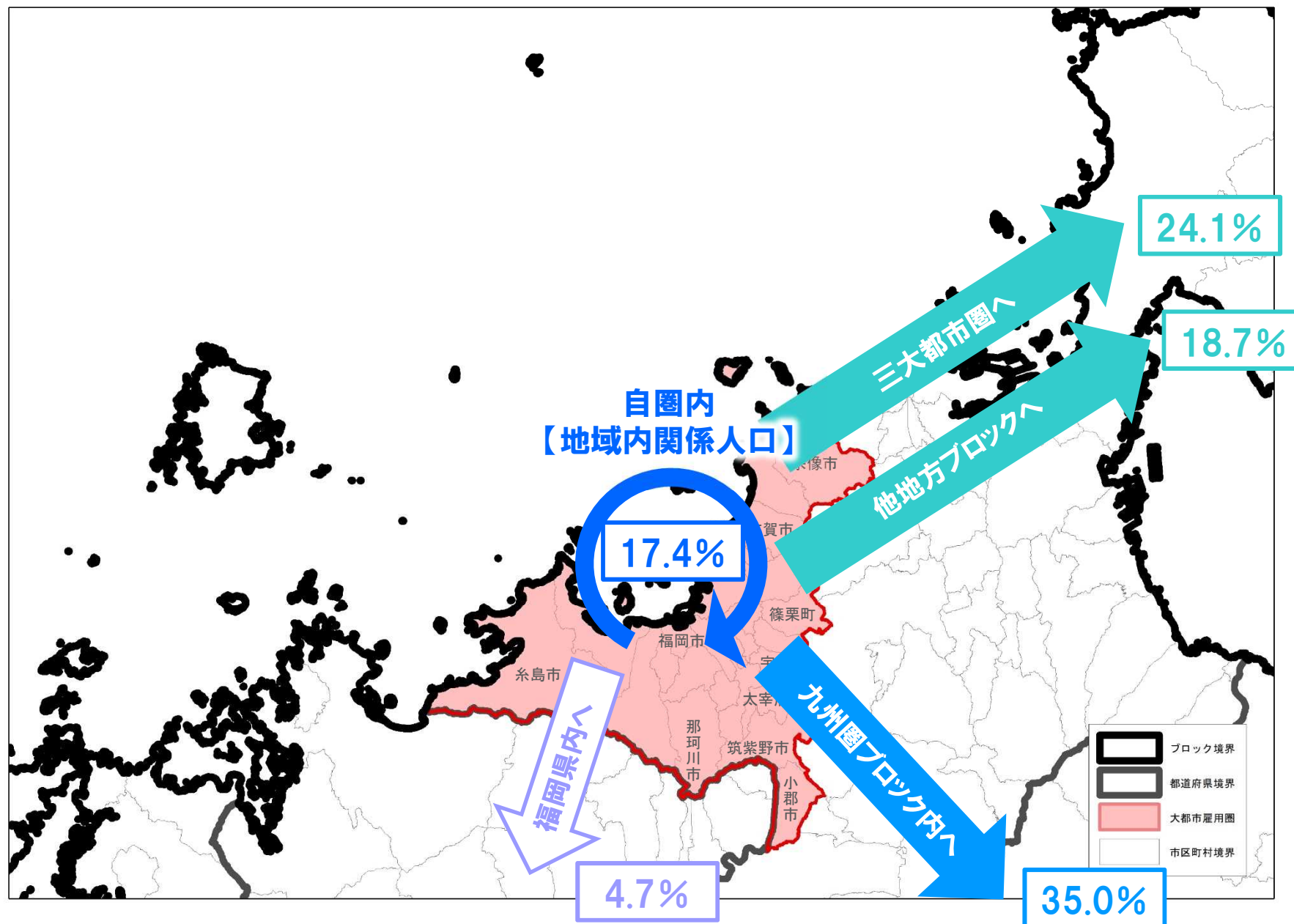
— 地域との多様な関わり —

- 新潟大都市雇用圏に居住する地域内関係人口（訪問系）のうち、「いま以上の関係性は求めていない」と回答する人を除けば、「地域の人とのコミュニケーションを深めたい」、「より多くの人とのつながりを持ちたい」及び「地域での趣味やライフワークを充実させたい」と回答する人が同程度に多い。
- 地域内関係人口（訪問系）直接寄与型は、地域との多様な関わりを望む傾向にある。



(11)福岡大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)

— 対象エリアと訪問先 —

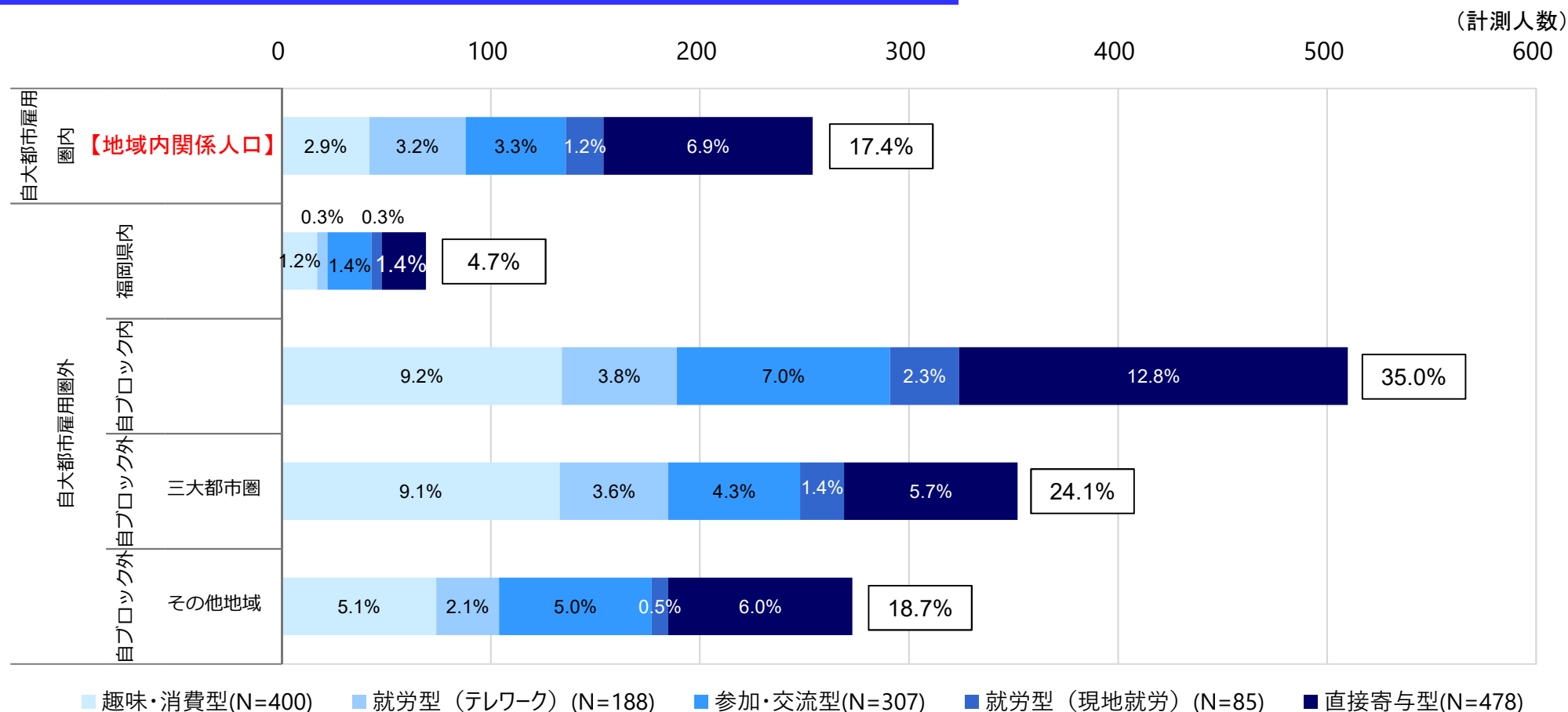


(11)福岡大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)

— 関係人口(訪問系)の動態 —

- 福岡大都市雇用圏の関係人口（訪問系）の動態については、基本的にその他地域の大都市雇用圏の関係人口（訪問系）と類似の傾向を示している。
- 自らの地方ブロックである九州内への訪問の割合が約35%と比較的大きくなっている。

福岡大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の動態



(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

回答者総数: 735人
訪問地域数: 1,458地域

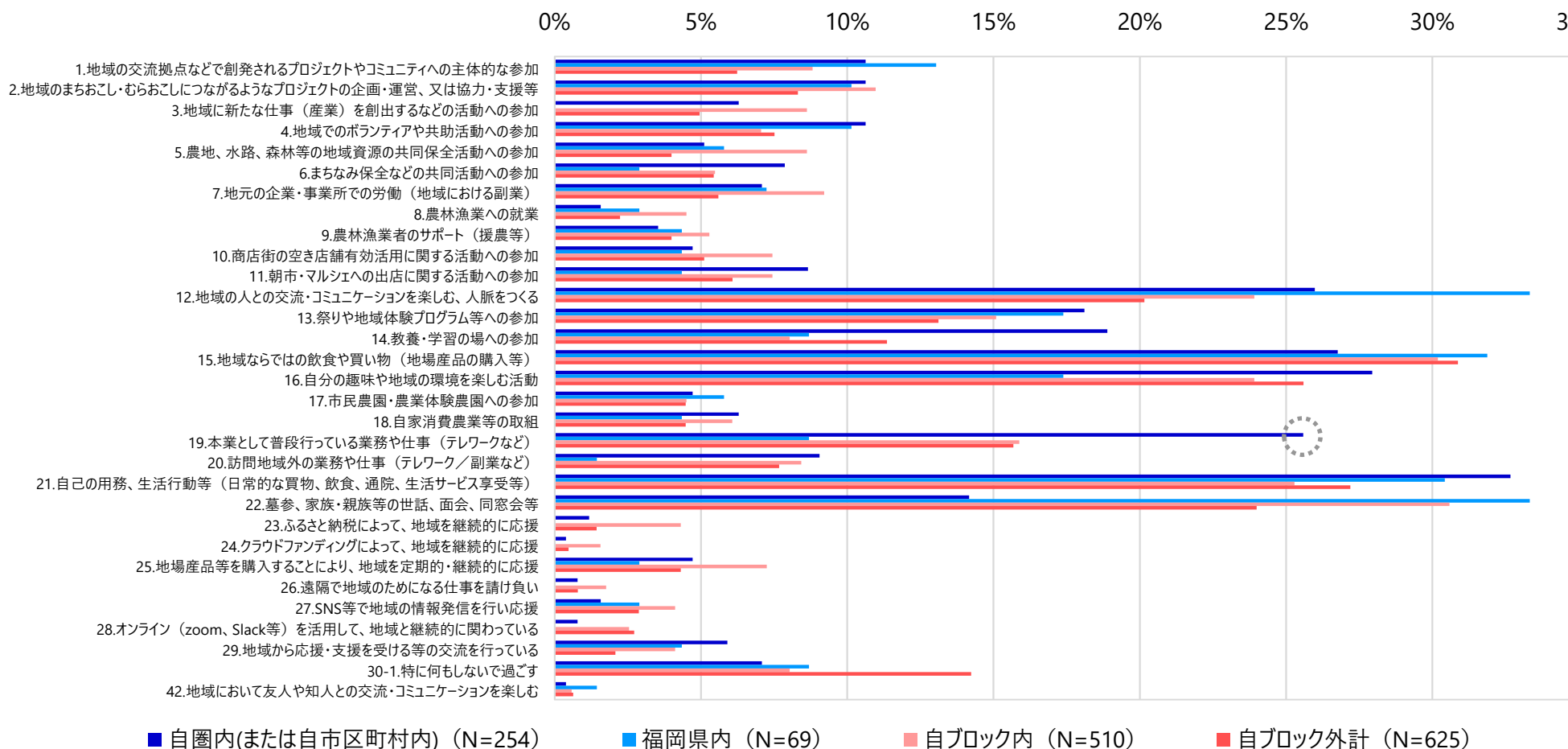
(11)福岡大都市雇用圏に居住している関係人口(訪問系)

— 関係人口(訪問系)の過ごし方 —

○ 自らの都市雇用圏内を訪問している地域内関係人口（訪問系）については、テレワークを行っている人の割合が約25%と比較的大きくなっている。

福岡大都市雇用圏の関係人口(訪問系)の過ごし方

複数回答可



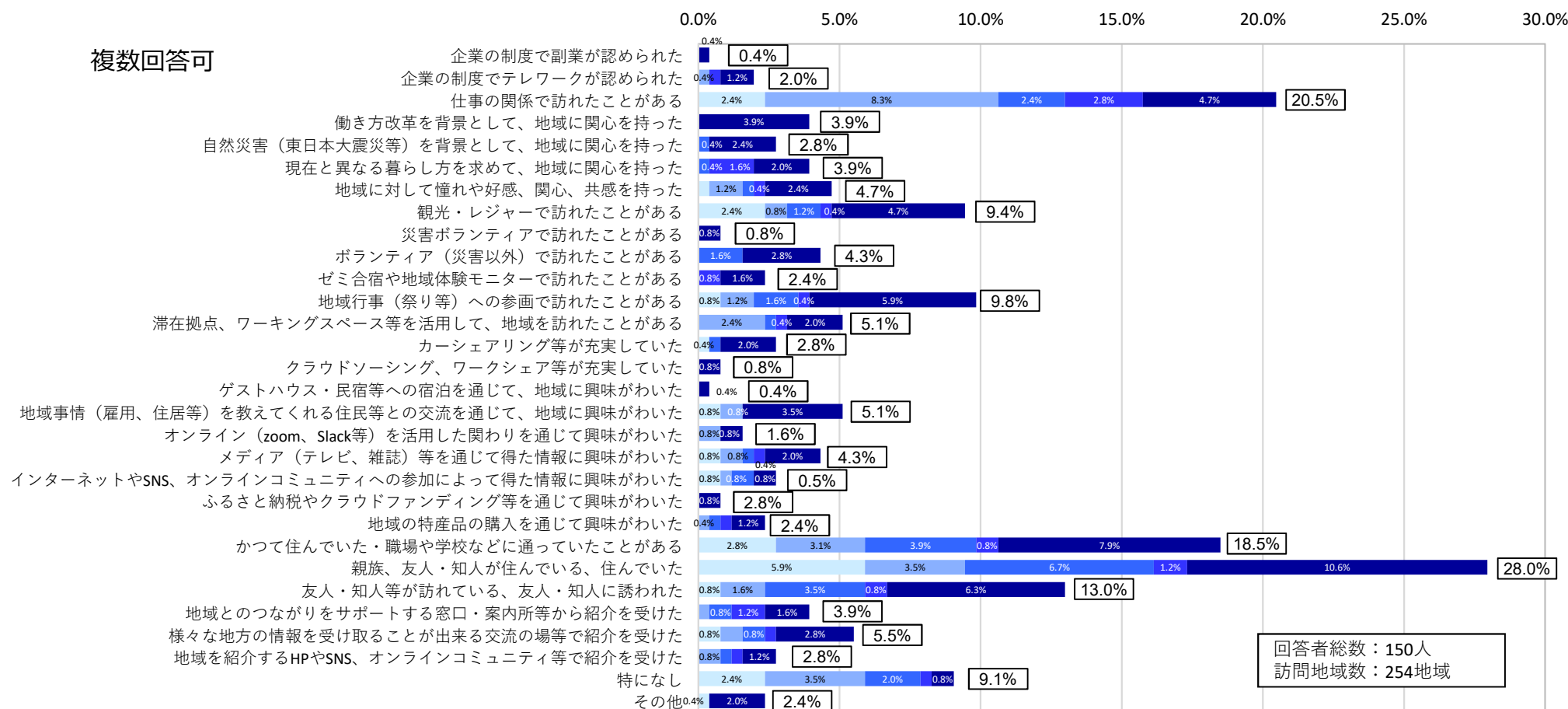
回答者総数:735人
訪問地域数:1,458地域

(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、訪問地域数ベース

(12)福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 訪問のきっかけ —

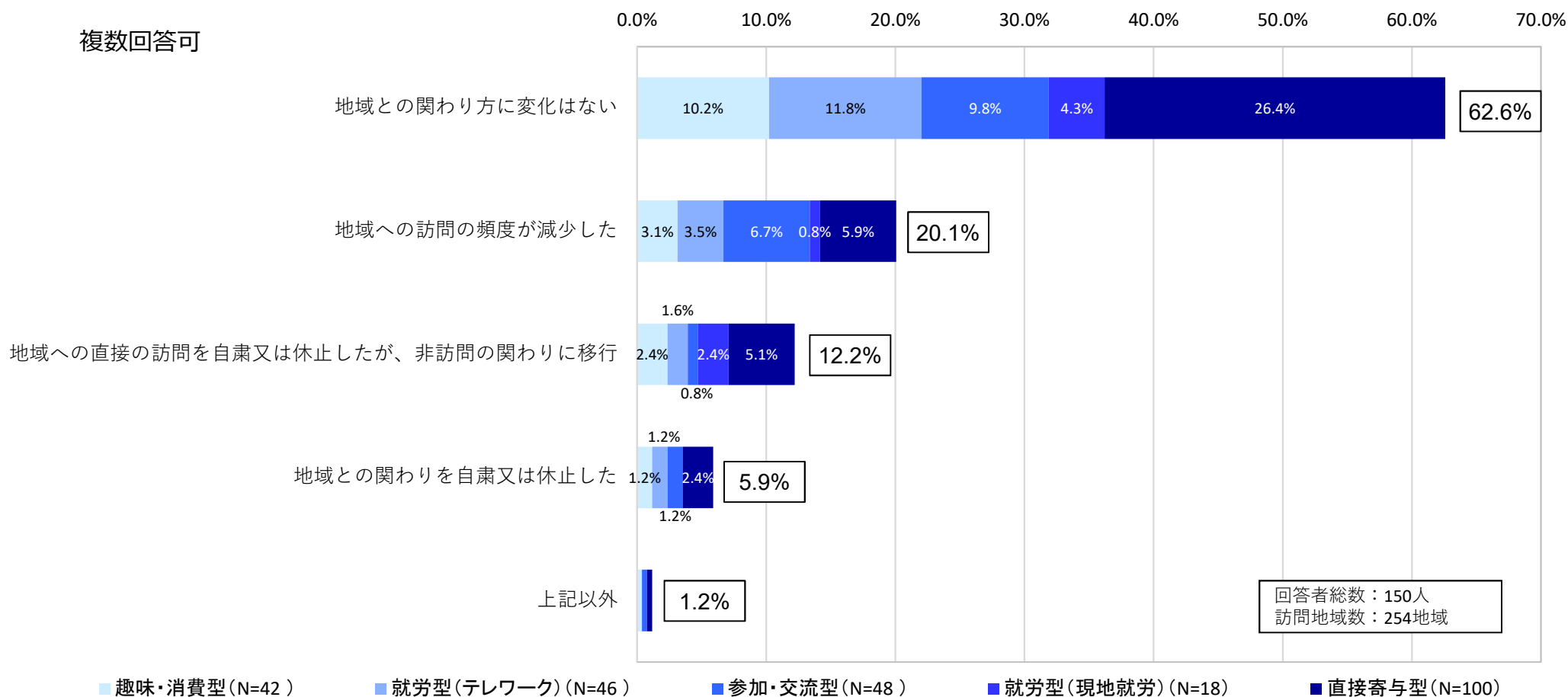
○ 福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口（訪問系）の自都市雇用圏への訪問のきっかけとして、「親族、友人・知人が住んでいる、住んでいた」と回答する人が最も多いものの、次いで「仕事の関係で訪れたことがある」と回答する人が多く、地域内関係人口（訪問系）は仕事をきっかけに関わり先を訪問している割合が大きいことがわかる。



(12)福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 新型コロナウイルスが及ぼした影響 —

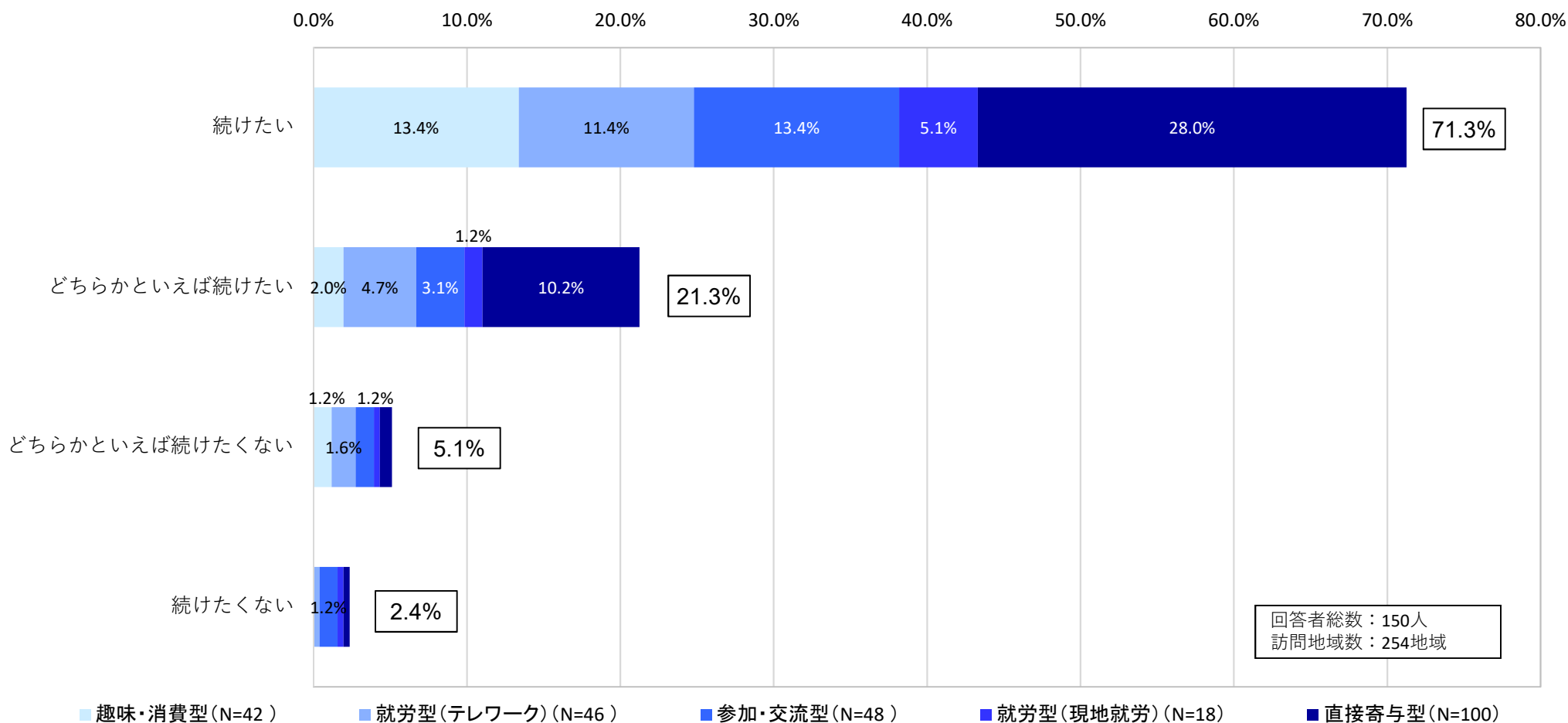
- 福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口（訪問系）のうち、約6割が新型コロナウイルスの影響による「地域との関わり方に変化はない」と回答しており、地域内関係人口（訪問系）直接寄与型の占める割合が大きい。



(12)福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との関わりの継続の意向 —

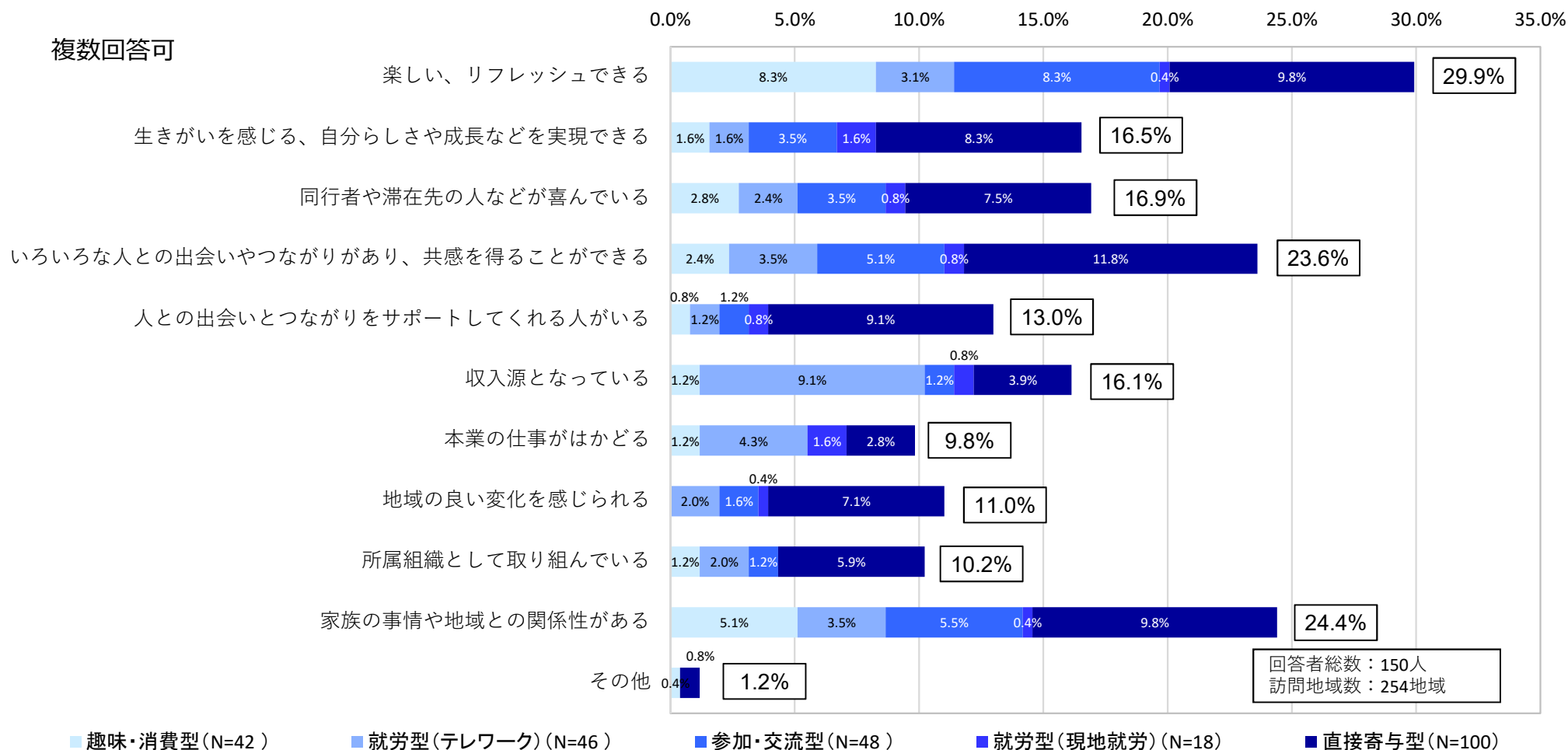
○ 福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口（訪問系）のうち、約9割が新型コロナウイルス感染拡大収束後も地域との関わりを「続けたい」又は「どちらかといえば続けたい」と回答しており、東京大都市雇用圏と比べ、「続けたい」と回答した割合が大きい。



(12)福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との関わりを継続したい理由 —

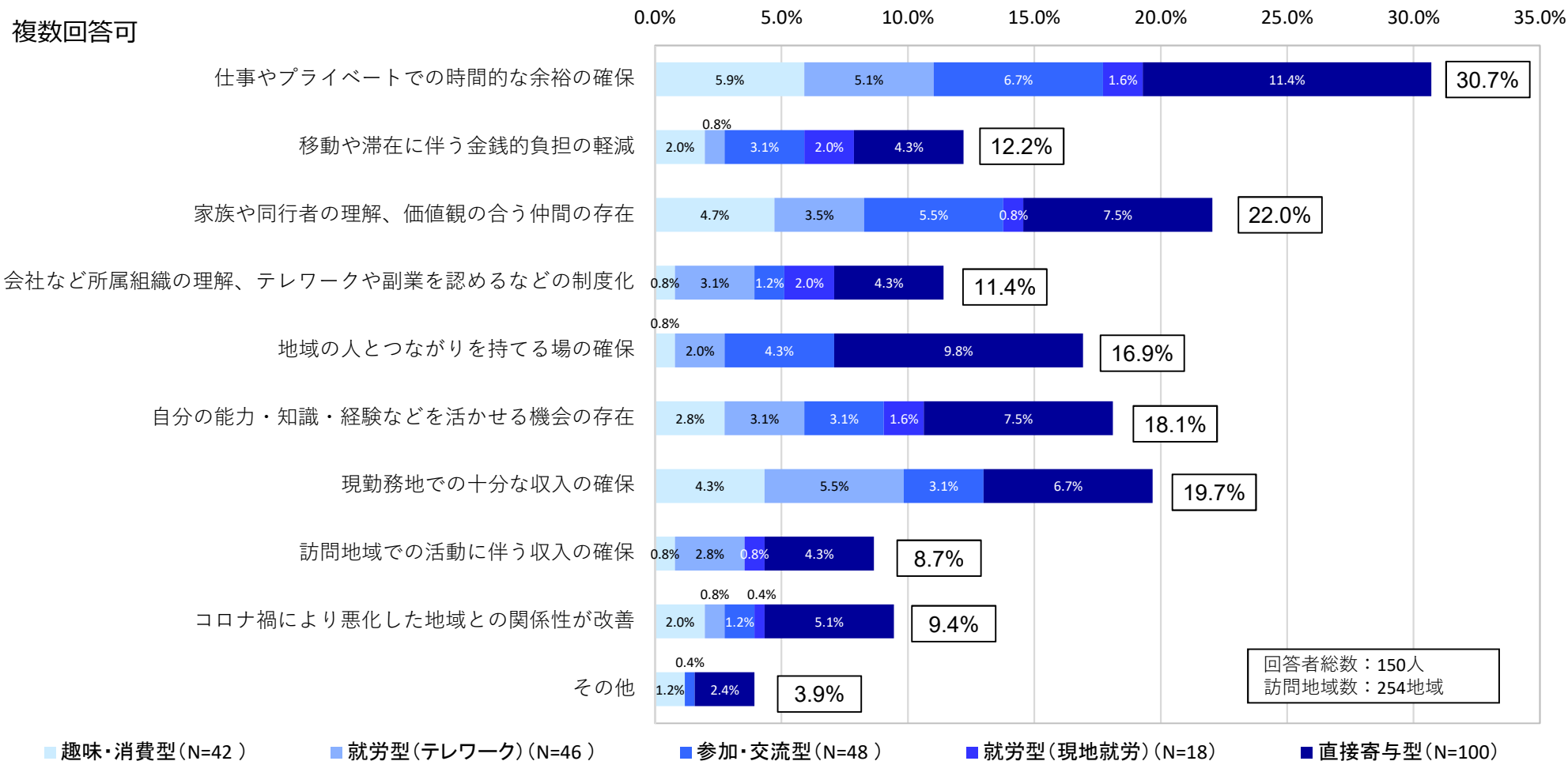
○ 福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口（訪問系）のうち、新型コロナウイルス感染拡大収束後も地域との関わりを継続したい理由として、「楽しい、リフレッシュができる」と回答する人が最も多く、次いで「いろいろな人との出会いやつながりがあり、共感を得ることができる」及び「家族の事情や地域との関係性がある」と回答する人が同程度に多い。



(12)福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との関係性を深めるために必要なもの —

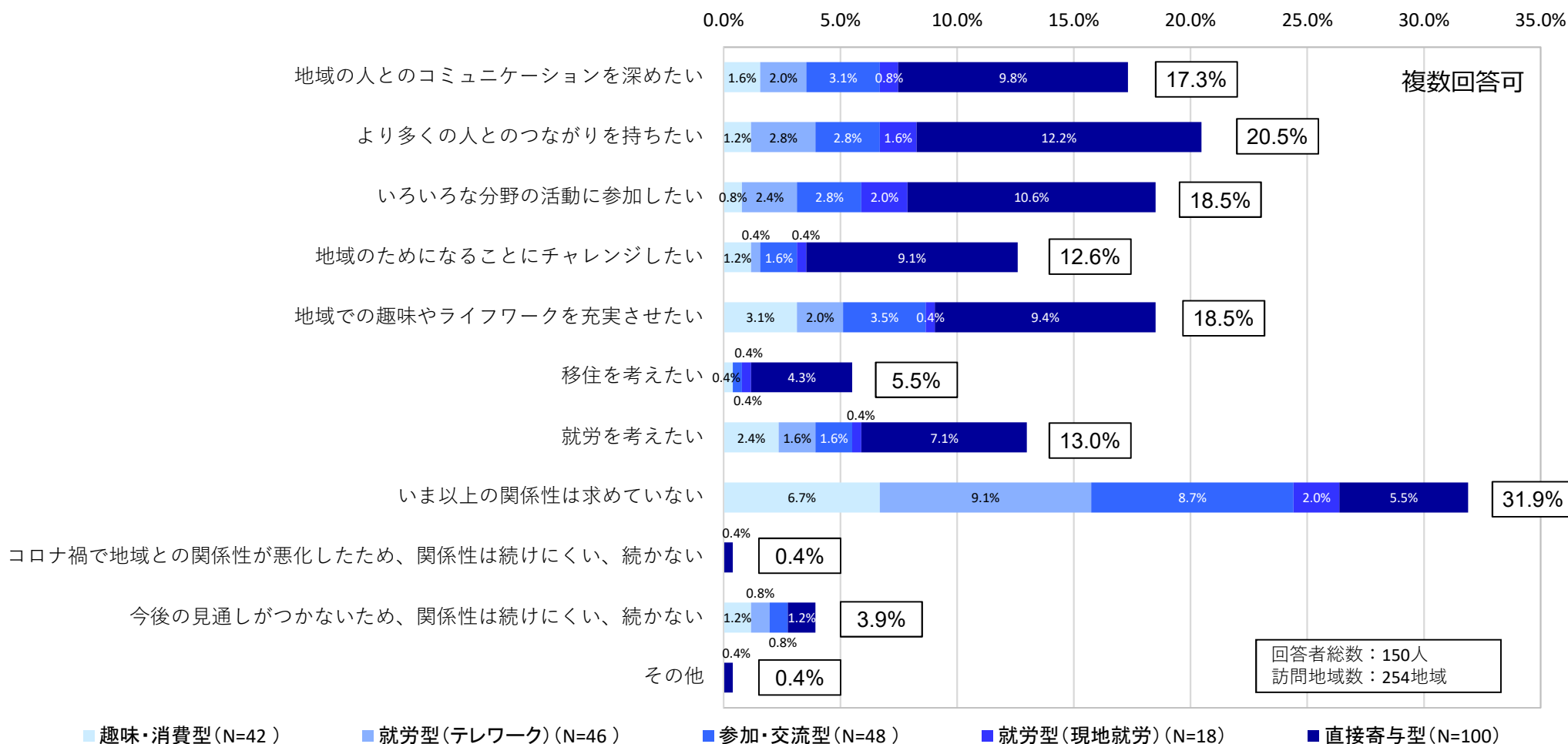
○ 福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口（訪問系）のうち、地域との関係性を深めるために「仕事やプライベートでの時間的な余裕の確保」が必要と回答する人が最も多く、次いで「家族や同行者の理解、価値観の合う仲間の存在」が必要と回答する人が多い。



(12)福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口

— 地域との多様な関わり —

- 福岡大都市雇用圏に居住している地域内関係人口（訪問系）のうち、「いま以上の関係性は求めていない」と回答する人を除けば、「より多くの人とのつながりを持ちたい」と回答する人が最も多く、地域内関係人口（訪問系）直接寄与型の占める割合が大きい。
- 地域内関係人口（訪問系）直接寄与型は、地域との多様な関わりを望む傾向にある。



5. 関係人口（非訪問系）の分析

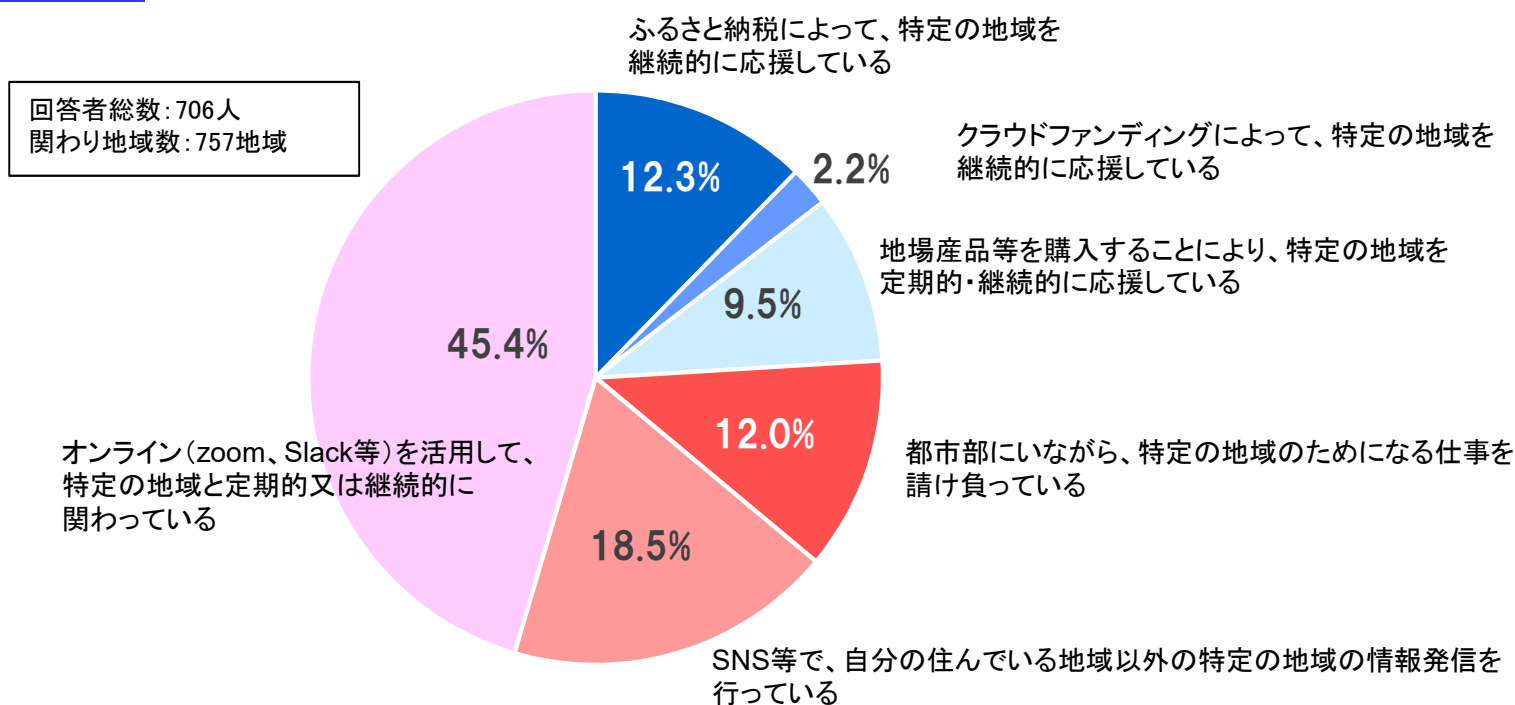
(1)関係人口(非訪問系)の取組内容

— 三大都市圏 → 三大都市圏 —

- 三大都市圏から三大都市圏に関わっている関係人口(非訪問系)については、約45%が「オンラインを活用して、特定の地域と定期的又は継続的に関わっている」となっている。
- また、「都市部にいながら、特定の地域のためになる仕事を請け負っている」、「SNS等で自分の住んでいる地域以外の特定の地域の情報発信を行っている」についての関わり割合が大きくなっている。

■ 三大都市圏に居住し、三大都市圏に関わる関係人口(非訪問系)

取組内容



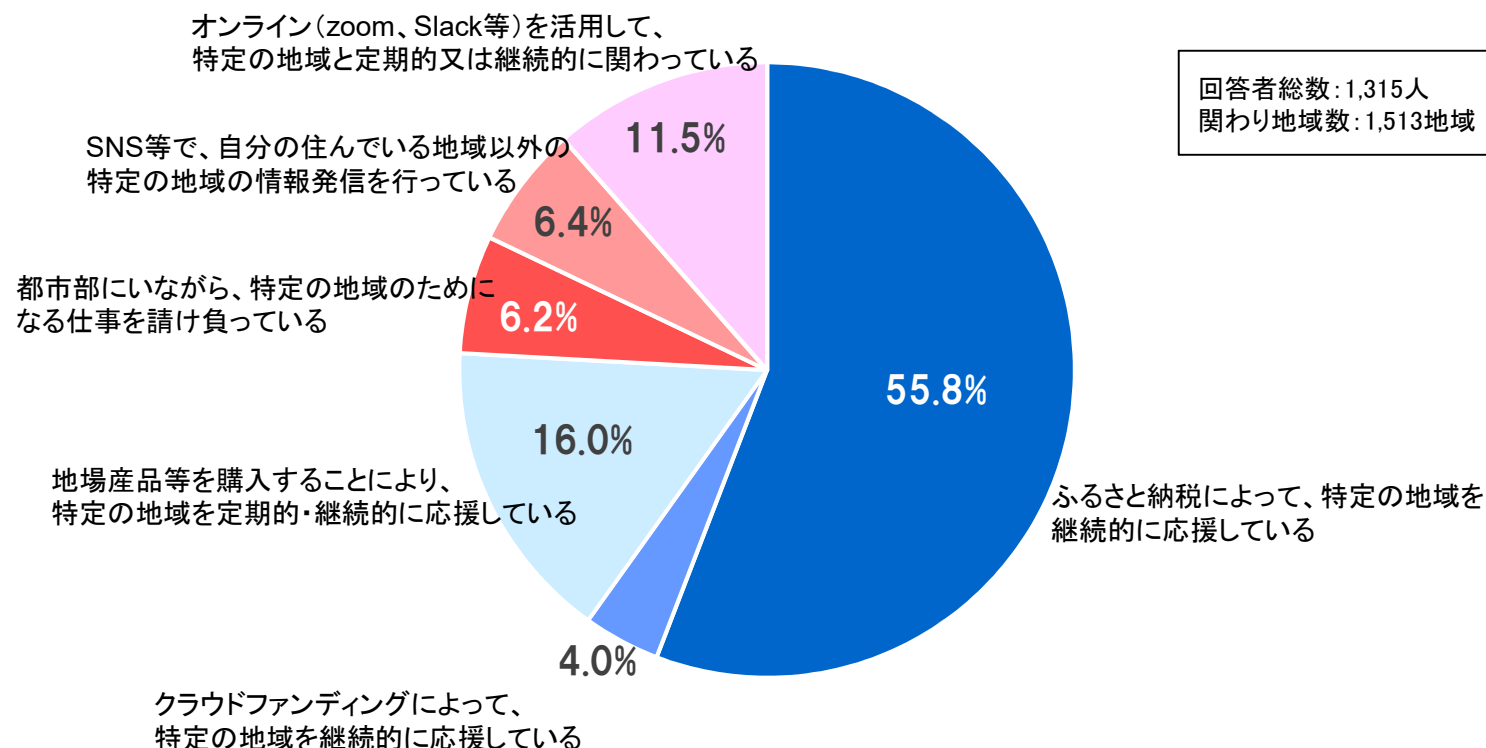
(1)関係人口(非訪問系)の取組内容

— 三大都市圏→その他地域 —

- 三大都市圏からその他地域に関わっている関係人口(非訪問系)については、約56%が「ふるさと納税によって、特定の地域を継続的に応援している」となっている。
- 「都市部にいながら、特定の地域のためになる仕事を請け負っている」、「SNS等で自分の住んでいる地域以外の特定の地域の情報発信を行っている」といった関わりが一定程度確認できる。

■ 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(非訪問系)

取組内容



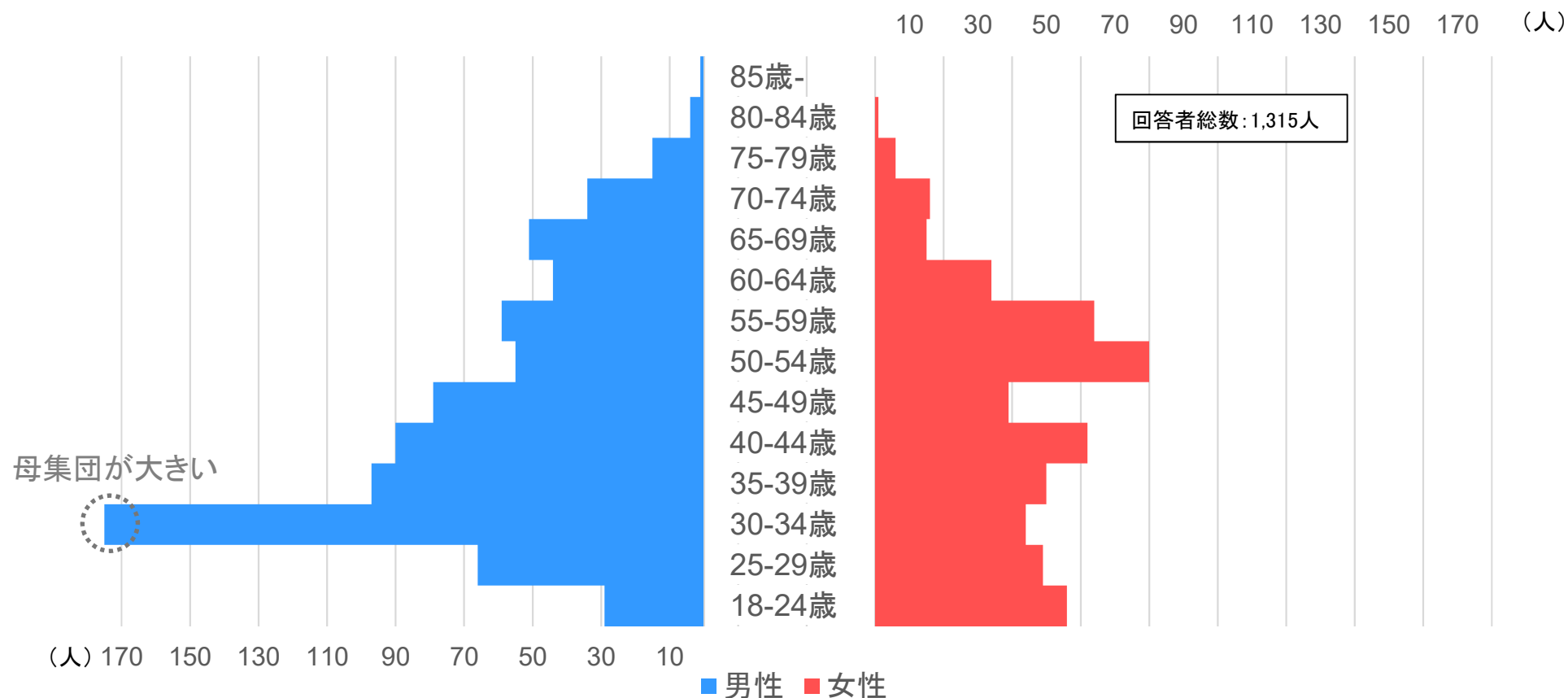
(2)関係人口(非訪問系)の年齢構成

— 三大都市圏→その他地域 —

- 三大都市圏からその他地域に関わっている関係人口(非訪問系)については、男性の比率が高くなっている。
- 男性については30代の比率が高く、それ以降は年齢を重ねるにつれて比率が漸減していく傾向にある。
- 女性については、50代以下でほぼ同様の比率を占めているものの、50代前半の比率が若干高くなっている。

■ 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(非訪問系)

年齢構成等



(3)関係人口(非訪問系)の世帯構成

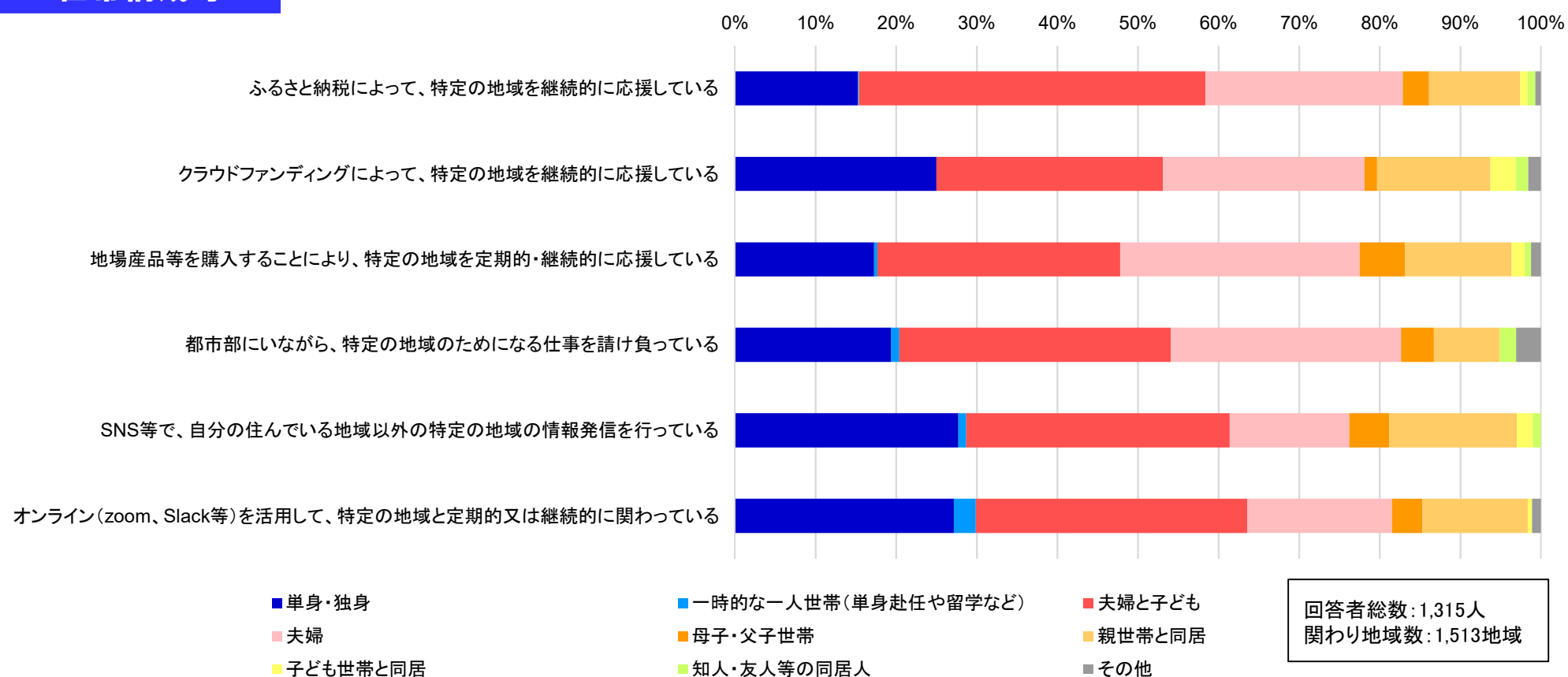
— 三大都市圏→その他地域 —

- ふるさと納税、地場産品の継続的購入及び地域の仕事の請負については、同居人がいる人の割合が大きくなっている。
- 一方で、クラウドファンディング、SNS等を通じた地域の情報発信及びオンラインを通じた地域との交流については、単身・独身等の一人世帯の割合が大きくなっている。

■ 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(非訪問系)

世帯構成等

※複数回答可



(出典) 「地域との関わりについてのアンケート」 (国土交通省、令和2年9月実施)、関わり地域数ベース

(4) 地方部における居住経験の有無

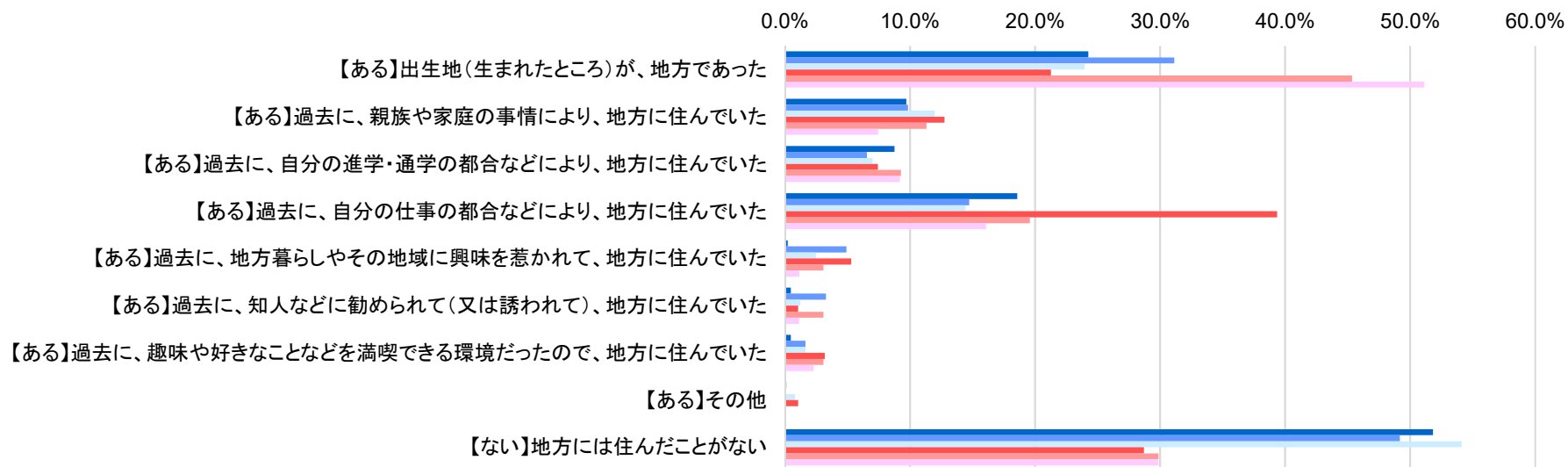
— 三大都市圏→その他地域 —

- ふるさと納税、クラウドファンディング及び地場産品の購入を行っている人は、地方部での居住経験のない人の割合が約5割である。
- SNS等を通じた地域の情報発信及びオンラインを通じた地域との交流を行っている人は、出生地が地方である人の割合が約5割である。
- 地域の仕事を請け負っている人は、自身の仕事の都合等で地方に住んでいた人の割合が大きい。

複数回答可

■ 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(非訪問系)

地方部における居住経験の有無



- ふるさと納税によって、特定の地域を継続的に応援している (N=845)
- クラウドファンディングによって、特定の地域を継続的に応援している (N=61)
- 地場産品等を購入することにより、特定の地域を定期的・継続的に応援している (N=242)
- 都市部に在りながら、特定の地域のためになる仕事を請け負っている (N=94)
- SNS等で、自分の住んでいる地域以外の特定の地域の情報発信を行っている (N=97)
- オンライン(zoom、Slack等)を活用して、特定の地域と定期的又は継続的に関わっている (N=174)

回答者総数: 1,315人
関わり地域数: 1,513地域

(5) 地域に関わることとなったきっかけ

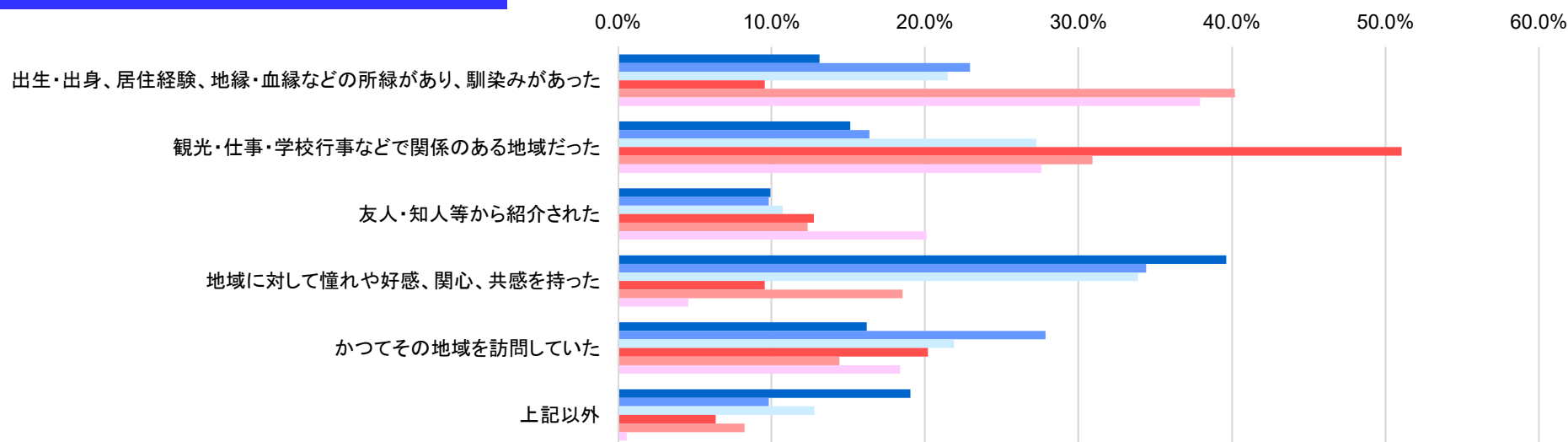
— 三大都市圏→その他地域 —

- ふるさと納税、クラウドファンディング及び地場製品の購入を行っている人は、地域に対して憧れや好感、関心、共感を持ったと回答した割合が大きい。
- SNS等を通じた地域の情報発信及びオンラインを通じた地域との交流を行っている人は、所縁があり、馴染みがあったと回答した割合が大きい。
- 地域の仕事を請け負っている人は、観光・仕事・学校行事などで関係のある地域であったと回答した人の割合が5割を超えている。

■ 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(非訪問系)

複数回答可

地域に関わることとなったきっかけ



- ふるさと納税によって、特定の地域を継続的に応援している (N=845)
- クラウドファンディングによって、特定の地域を継続的に応援している (N=61)
- 地場製品等を購入することにより、特定の地域を定期的・継続的に応援している (N=242)
- 都市部にいながら、特定の地域のためになる仕事を請け負っている (N=94)
- SNS等で、自分の住んでいる地域以外の特定の地域の情報発信を行っている (N=97)
- オンライン (zoom、Slack等) を活用して、特定の地域と定期的又は継続的に関わっている (N=174)

回答者総数: 1,315人
関わり地域数: 1,513地域

(6) 新型コロナウイルスの影響

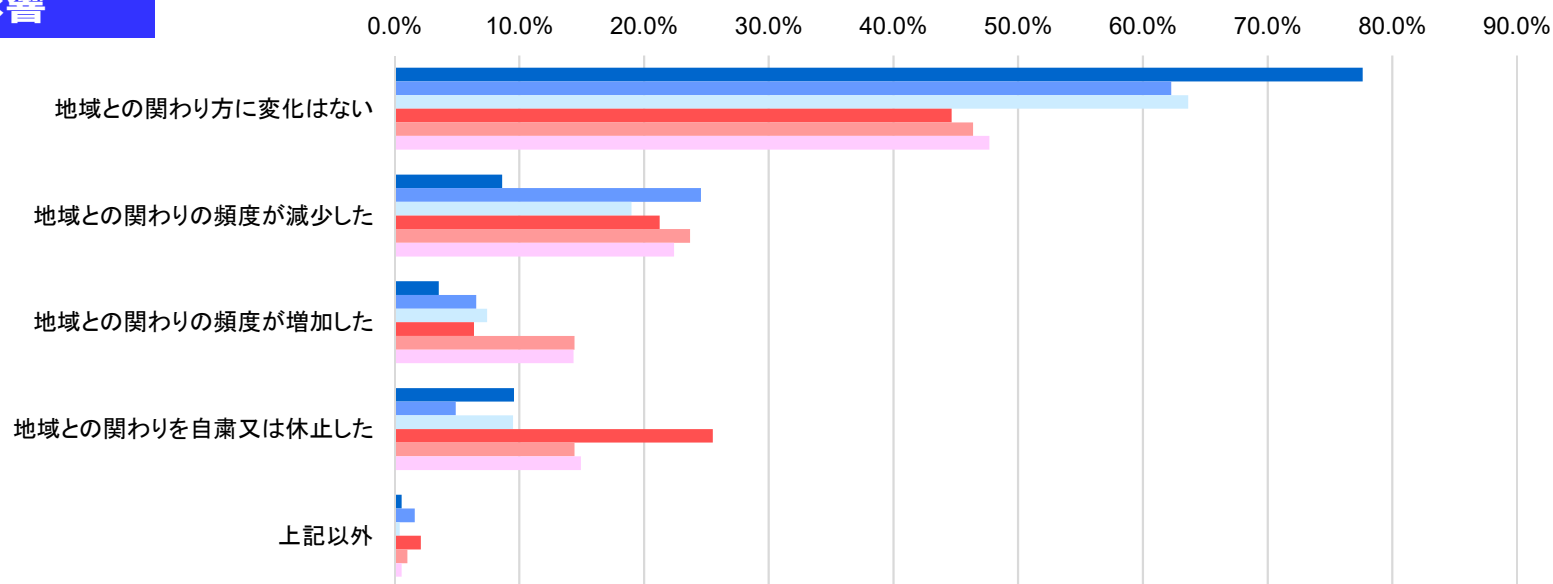
— 三大都市圏→その他地域 —

- ふるさと納税、クラウドファンディング及び地場製品の購入を行っている人は、地域との関わり方に変化はないと回答した割合が大きい一方、SNS等を通じた地域の情報発信及びオンラインを通じた地域との交流を行っている人は、関わり方に変化が生じていると回答した割合が大きい。
- 地域の仕事を請け負っている人は、地域との関わりを自粛又は休止した割合が、他の関わりと比較して、若干大きくなっている。

■ 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(非訪問系)

複数回答可

新型コロナ禍の影響



- ふるさと納税によって、特定の地域を継続的に応援している(N=845)
- クラウドファンディングによって、特定の地域を継続的に応援している(N=61)
- 地場製品等を購入することにより、特定の地域を定期的・継続的に応援している(N=242)
- 都市部にいながら、特定の地域のためになる仕事を請け負っている(N=94)
- SNS等で、自分の住んでいる地域以外の特定の地域の情報発信を行っている(N=97)
- オンライン(zoom、Slack等)を活用して、特定の地域と定期的又は継続的に関わっている(N=174)

回答者総数: 1,315人
関わり地域数: 1,513地域

(7) 関わりのある地域への訪問の希望

— 三大都市圏 → その他地域 —

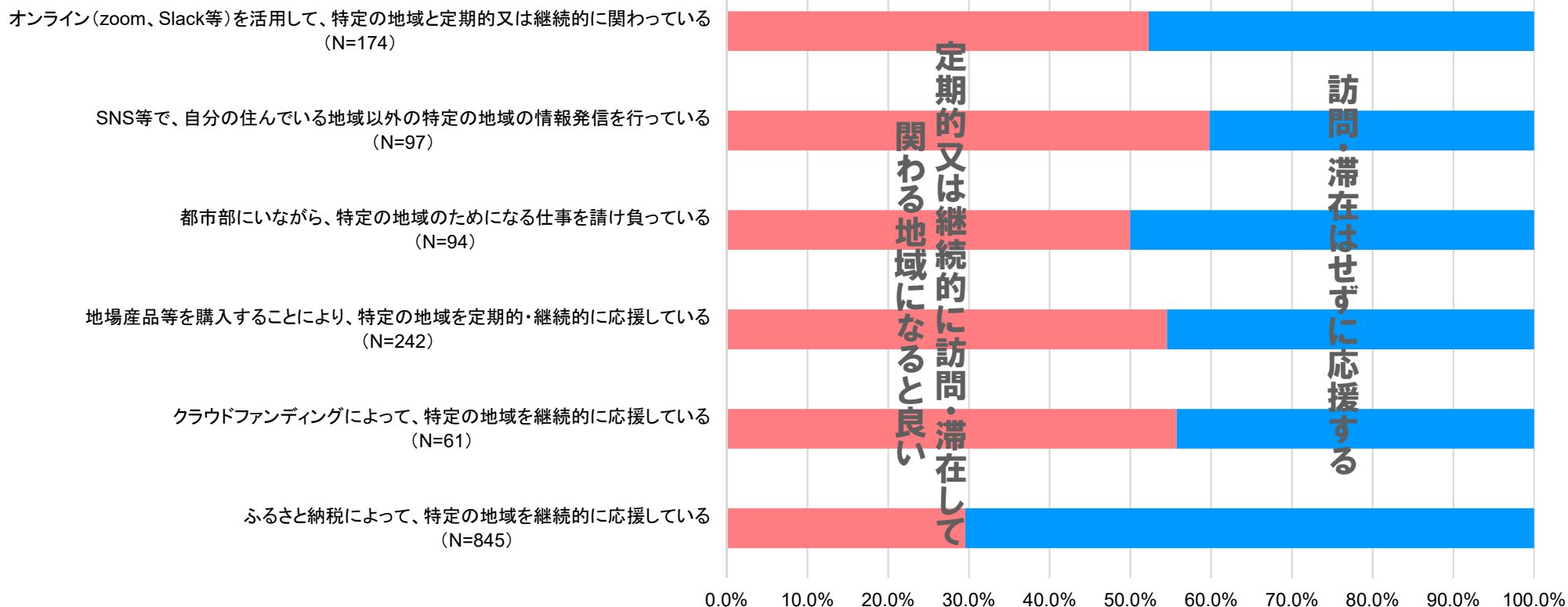
- 関わりのある地域への訪問については、ふるさと納税以外は、約半数程度が訪問を希望している。
- ふるさと納税をしている人については、地域への訪問の希望は約3割に止まる。

複数回答可

■ 三大都市圏に居住し、その他地域に関わる関係人口(非訪問系)

関わりのある地域への訪問の希望

回答者総数: 1,315人
関わり地域数: 1,513地域



6. アンケート調査の内容

(1)WEBアンケート調査概要

項目	前回調査	今回調査
調査期間	・2019年9月13日(金)-18日(水)	・2020年9月29日(火)-10月6日(火)
調査名称	・「地域との関わりについてのアンケート」	・「地域との関わりについてのアンケート」
調査方法	・インターネットWEBアンケート調査	・インターネットWEBアンケート調査 ※但し、WEBリサーチ会社変更
対象地域	・18歳以上の三大都市圏の都市部居住者	・18歳以上の三大都市圏の都市部居住者 +その他地域の居住者
目標 サンプル数	①三大都市圏の都市部 ・一次調査:30,000サンプル ・二次調査:15,000サンプル	①三大都市圏の都市部 ・一次調査:75,000サンプル ・二次調査:20,000サンプル ②その他地域 ・一次調査:75,000サンプル ・二次調査:20,000サンプル ※一次調査は居住地で割付、二次調査は コロナ禍前(2月より前)の居住地で割付
回収結果	①三大都市圏の都市部 ・一次調査:29,254サンプル ・二次調査:10,482サンプル	全体:149,522サンプル →うち、二次調査は38,623サンプル

(2)WEBアンケート調査の枠組み

【1次調査】 回答者全員

基本属性、共通設問（テレワーク・副業、居住地での地域活動等）

【1次調査】
回答者全員

新型コロナウイルス影響前

新型コロナウイルス影響後

現在

将来

関係人口である

- 【2次調査】(訪問系)
- ・ 訪問先の地域名(3箇所まで)
 - ・ 訪問頻度、滞在時間、訪問手段
 - ・ 訪問したきっかけ
 - ・ 訪問先での過ごし方 など

- 【2次調査】(非訪問系)
- ・ 関わりの内容
 - ・ 関わりのきっかけ など

- 【2次調査】
- ・ 現時点における関係先との関わり方 など

- 【1次調査】
- ・ 非訪問型の関わりの内容 など

- 【2次調査】
- ・ 今後の意向(活動の方向性、将来的な希望等) など

- 【1次調査】
- ・ 地域との関わりの発展性 など

関係人口でない

- 【1次調査】
- ・ 関わり先を持つことの意向
 - ・ 関わりを持つことの課題 など

関係人口的な関わりを持っている地域があるか
(新型コロナウイルスの影響が現れる前)

関係人口的な関わりの有無

【1次調査】

関わり“あり”

関わり“なし”

(3)WEBアンケート調査フロー — 1次調査 —

【基本属性】・性別・年齢・居住地・世帯構成・職業/世帯年収

■凡例(文字色)

赤字:過去(新型コロナ感染拡大前:2月頃より前)

黒字:現在(新型コロナ感染拡大後)

青字:将来(新型コロナ感染収束後)

日常生活圏、通勤圏以外に定期的・継続的に関わりを持っている地域の有無

YES

③のみ回答者

NO

【共通項目】

- ・副業/テレワーク・趣味/関心の高い分野
- ・地方への居住経験/理由
- ・関係人口の認知度
- ・地域活動の内容・頻度・参加/不参加理由

【関わりがあった地域(過去)】

- ①短期的な滞在場所がある又は知人・友人がいることから、観光及び業務目的以外で定期的又は継続的に特定の地域を訪問していた
- ②コワーキングスペース・サテライトオフィス等の活動拠点があり、特定の地域を訪問していた
- ③会社の支社・営業所等があり、特定の地域を訪問していた
- ④副業や兼業等を目的として、特定の地域を訪問していた
- ⑤イベント参加、地域の人とのコミュニケーションを図る目的などで、特定の地域を定期的又は継続的に訪問していた
- ⑥地域づくり、地域貢献活動又はボランティアなどで、特定の地域を訪問していた
- ⑦住民票を登録している市区町村以外に居住する(又は長期的に滞在する)ための地域が2つ以上あり、定期的又は継続的に訪問していた
- ⑧住民票を登録している市区町村以外に居住する(又は長期的に滞在する)ための地域が1つあり、定期的又は継続的に訪問していた
- ⑨地縁がある又は血縁者のいる地域に訪問していた(お盆や正月の帰省を除く)
- ⑩お盆や正月に帰省を行っていた
- ⑪ふるさと納税によって、特定の地域を継続的に応援していた
- ⑫クラウドファンディングによって特定の地域を継続的に応援していた
- ⑬地場産品等を購入することにより、特定の地域を定期的・継続的に応援していた
- ⑭都市部にいながら、特定地域のためになる仕事を請け負っていた
- ⑮SNS等で、自分の住んでいる地域以外の特定の地域の情報発信を行っていた
- ⑯オンライン(zoom、Slack等)を活用して、特定地域と定期的又は継続的に関わっていた
- ⑰上記の他、(観光及び販促等の営業活動以外で)特定の地域を定期的又は継続的に訪問していた(ある場合は自由記述)

【関わりのある地域(現在)】

※選択肢は訪問(選択肢集約)・非訪問・関わりなし

あり

コロナ禍時代における
関係人口(非訪問系)の実態把握

なし

定期的・継続的な関係先を持つことの意向
(所属会社の支社・営業所を訪れる出張、帰省を除く)

※関わり先を持つ地域でどのような過ごし方をしたいかで把握

あり

なし

(意向ありの場合)
・関わり先を持つことの課題

(意向なしの場合)
・関わりを持ちたくない理由

関係人口(訪問系)へ移行(2次調査) 関係人口(非訪問系)へ移行(2次調査)

・①・②・④・⑤・⑥・⑦・⑧・⑨・⑩・⑰
のいずれかを回答した方が対象

・⑪～⑯のうち、いずれかを回答した方が対象(①～⑩・⑰の回答者は除外)

- ・関わりのある地域(現在)が「あり」の場合
→コロナ禍時代における関係人口(非訪問系)の発展性を把握
- ・関わりのある地域(現在)が「なし」の場合
→関心層・無関心層の関わり先を持つ上での課題を把握

(3)WEBアンケート調査フロー – 2次調査 –

定期的・継続的な訪問先が「ある」人
関係人口(訪問系)

訪問型関係人口以外の回答者
関係人口(非訪問系)

・新型コロナ感染拡大前の居住地(都道府県 市区町村)

・関わりのあった地域(3地域)

・関わりの種類 ・関わりのあった地域(1地域)

↓ 以降、3地域毎に回答

↓ 以降、関わりの種類毎に回答

- 過去:新型コロナ感染拡大前(2月頃より前)
 - ・関わり先の地域区分(市街地部/農山漁村部等)
 - ・地域を訪問するきっかけ
 - ・地域と関わり始めてからの年数
 - ・地域を訪問する際の同行者
 - ・訪問頻度、訪問時滞在時間
 - ・訪問先への移動手段、移動時間
 - ・訪問先で利用する滞在場所
 - ・訪問先での過ごし方(主要な活動・サブ活動)
- 現在:新型コロナ感染拡大後
 - ・新型コロナ感染拡大による行動の変化
- 将来:新型コロナ感染収束後
 - ・今後の関わりに関する意向調査
 - ・訪問先での活動の継続・深化の意向
 - ・訪問先への将来的な移住意向

- 過去:新型コロナ感染拡大前(2月頃より前)
 - ・地域と関わり始めてからの年数
 - ・地域と関わり始めたきっかけ
 - ・地域との関わりの期間・頻度
- 現在:新型コロナ感染拡大後
 - ・新型コロナ感染拡大による行動の変化
- 将来:新型コロナ感染収束後
 - ・今後の関わりに関する意向調査
 - ・地域を訪問しない理由

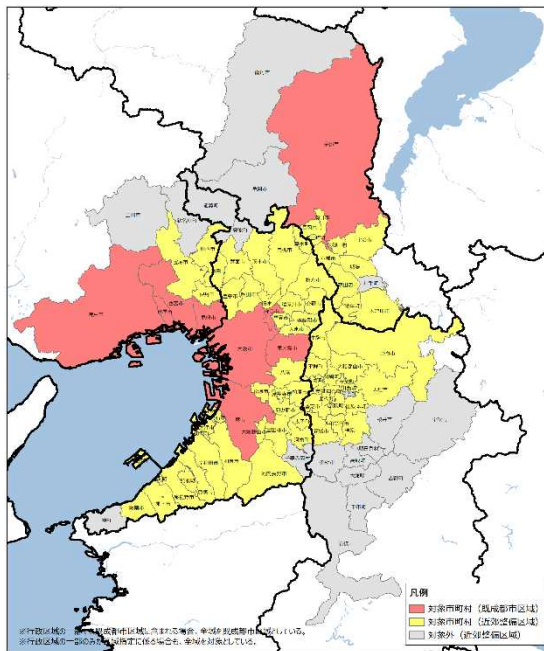
■凡例(文字色)
 赤字:過去(新型コロナ感染拡大前:2月頃より前)
 黒字:現在(新型コロナ感染拡大後)
 青字:将来(新型コロナ感染収束後)

(4)WEBアンケート調査の地域区分 — 三大都市圏 —

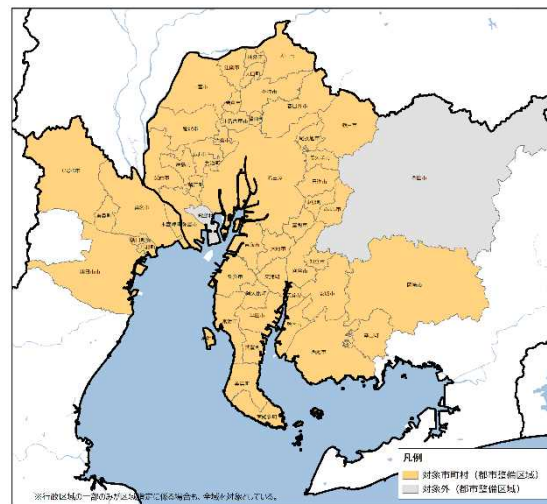
【対象地域】 下図の着色した地域(灰色部分を除く)

首都圏の既成市街地または近郊整備地帯、中部圏の都市整備区域、近畿圏の既成都市区域または近郊整備区域に含まれる市区町村(人口密度が当該大都市圏平均よりも低い、かつ、1次産業就業者割合が当該大都市圏平均よりも高い市区町村を除く)

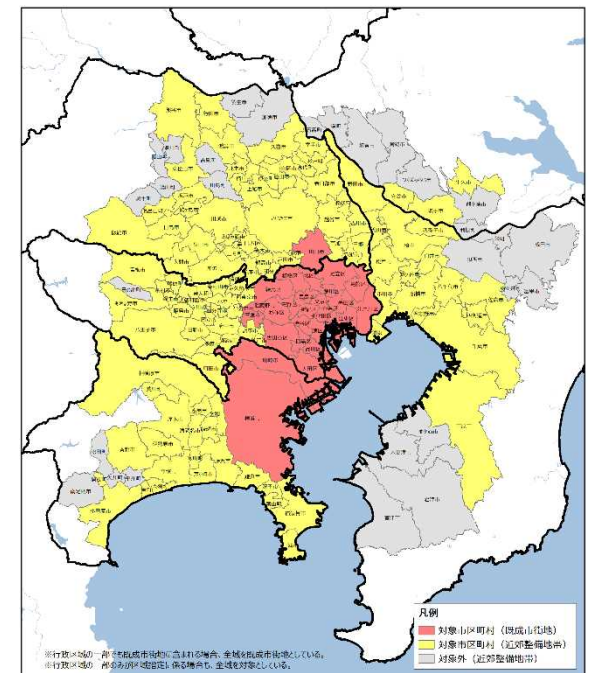
大阪圏都市部



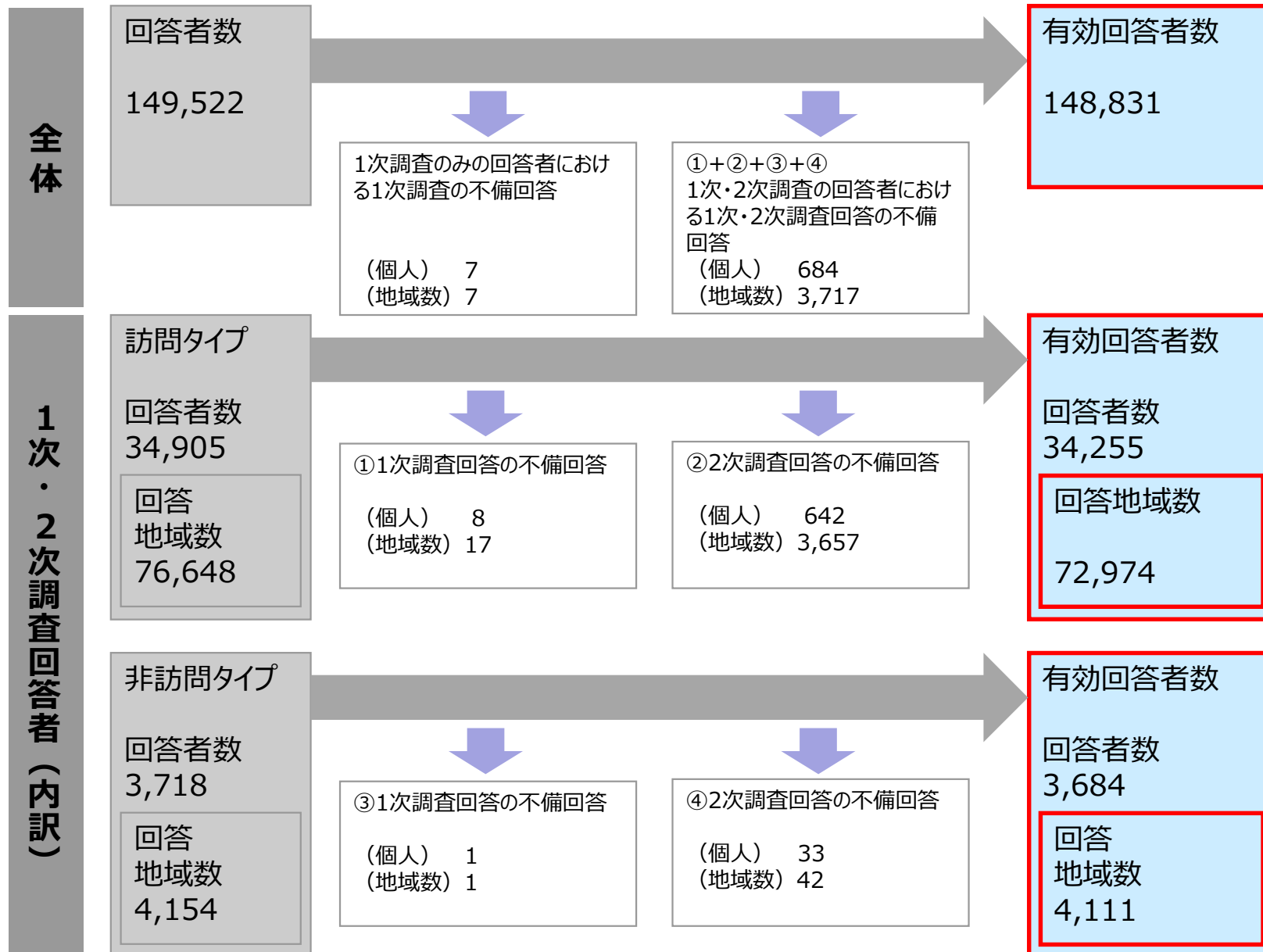
名古屋圏都市部



首都圏都市部

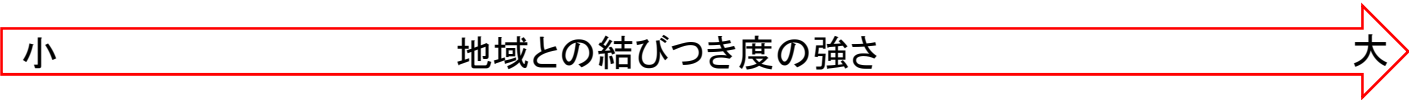


(5)WEBアンケート調査結果の異常値棄却



(6)関係人口の類型化(2次調査(訪問系))

○ 訪問先での過ごし方及び滞在場所より、関係人口（訪問系）を以下のとおり類型化。



	地縁・血縁先を訪問している人		特定の生活行動や用務を行っている人	趣味・消費型	参加・交流型	就労型			直接寄与型
	地縁・血縁先の訪問のみ	地縁・血縁先およびそれ以外の施設等を利用	特定の生活行動や自己用務のみ	地縁血縁先以外で趣味・消費活動		地域外の産業に与(テレワーク等)①	地域内の産業に直接関与②	①+②(直接関与+テレワーク等)	
	【滞在場所の条件】 ・滞在場所が「自分、家族が所有等する物件」・「親族が所有等する物件」のいずれかまたは両方のみ	【滞在場所の条件】 ・滞在場所「自分、家族が所有等する物件」・「親族が所有等する物件」のいずれかまたは両方を含むもの	【滞在場所の条件】 ・滞在場所が自己用務に関する施設(商業・サービス施設、医療・福祉施設、墓地・宗教施設等)のいずれかのみ	【滞在場所の条件】 ・滞在場所「自分、家族が所有等する物件」・「親族が所有等する物件」を含まないもの		【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし	【滞在場所の条件】 ・なし	
◎：いずれかを必ず含み、かつ滞在施設の条件あり ●：いずれかを必ず含む △：含まれても含まれていなくてもよい ▲：当該過ごし方（又は+非訪問の過ごし方）のみでもよい ×：含まない									
地域ならではの飲食や買い物(地場産品の購入等)	◎	◎	×	●	△	△	△	△	△
自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動	◎	◎	×	●	△	△	△	△	△
市民農園・農業体験農園への参加	×	×	×	●	△	△	△	△	△
自家消費農業等の取組	◎	◎	×	●	△	△	△	△	△
本業として普段行っている業務や仕事(テレワークなど)	×	×	×	×	×	●	×	●	△
訪問地域外の業務や仕事(テレワーク/副業など)	×	×	×	×	×	●	×	●	△
地元企業・事業所での労働(地域における副業)	×	×	×	×	×	×	●	●	△
農林漁業への就業	×	×	×	×	×	×	●	●	△
農林漁業者のサポート(援農等)	×	×	×	×	×	×	●	●	△
商店街の空き店舗有効活用に関する活動への参加	×	×	×	×	×	×	×	×	●
朝市・マルシェへの出店に関する活動への参加	×	×	×	×	×	×	×	×	●
地域に新たな仕事(産業)を創出するなどの活動への参加	×	×	×	×	×	×	×	×	●
祭りや地域体験プログラム等への参加	×	×	×	×	●	△	△	△	△
地域でのボランティアや共助活動への参加	×	×	×	×	×	×	×	×	●
農地、水路、森林等の地域資源の共同保全活動への参加	×	×	×	×	×	×	×	×	●
まちなみ保全などの共同活動への参加	×	×	×	×	×	×	×	×	●
教養・学習の場への参加	×	×	×	×	●	△	△	△	△
地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる	×	×	×	×	●	△	△	△	△
地域の交流拠点などで創発されるプロジェクトやコミュニティへの主体的な参加	×	×	×	×	●	△	△	△	△
地域のまちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等	×	×	×	×	×	×	×	×	●
特に何もしないで過ごす	◎	◎	◎	●	△	△	△	△	△
墓参、家族・親族等の世話、面会、同窓会等	◎	◎	◎	●	△	△	△	△	△
自己の用務、生活行動等(日常的な買物、飲食、通院、生活サービス享受等)	◎	◎	◎	●	△	△	△	△	△
ふるさと納税によって、地域を継続的に応援	△	△	△	△	△	△	△	△	△
クラウドファンディングによって、地域を継続的に応援	△	△	△	△	△	△	△	△	△
地場産品等を購入することにより、地域を定期的・継続的に応援	△	△	△	△	△	△	△	△	△
遠隔で地域のためになる仕事を請け負い	△	△	△	△	△	△	△	△	△
SNS等で地域の情報発信を行い応援	△	△	△	△	△	△	△	△	△
オンライン(zoom、Slack等)を活用して、地域と継続的に関わっている	△	△	△	△	△	△	△	△	△
地域から応援・支援を受ける等の交流を行っている	△	△	△	△	△	△	△	△	△
地域において友人や知人との交流・コミュニケーションを楽しむ	△	△	×	△又は▲	△	△	△	△	△

参考. 関係人口（訪問系）のペルソナ分析

(1)分析指標の集約化 — 訪問のきっかけ —

○ 分析結果の解釈をし易いように、「訪問のきっかけ」を以下のように区分。

区分	選択肢
副業/テレワーク	企業の制度で副業が認められた
	企業の制度でテレワークが認められた
仕事の関係で訪問	仕事の関係で訪れたことがある
価値観・関心の変化	働き方改革を背景として、地域に関心を持った
	自然災害(東日本大震災等)を背景として、地域に関心を持った
	現在と異なる暮らし方を求めて、地域に関心を持った
	地域に対して憧れや好感、関心、共感を持った
観光・ボランティア等で訪問	観光・レジャーで訪れたことがある
	災害ボランティアで訪れたことがある
	ボランティア(災害以外)で訪れたことがある
	ゼミ合宿や地域体験モニターで訪れたことがある
	地域行事(祭り等)への参画で訪れたことがある
シェアリング等を活用	滞在拠点、ワーキングスペース等を活用して、地域を訪れたことがある
	カーシェアリング等が充実していた
	クラウドソーシング、ワークシェア等が充実していた
	ゲストハウス・民宿等への宿泊を通じて、地域に興味があった
住民等との交流	地域事情(雇用、住居等)を教えてくれる住民等との交流を通じて、地域に興味があった
非訪問の関わり	オンライン(zoom、Slack等)を活用した関わりを通じて興味があった
	メディア(テレビ、雑誌等)を通じて得た情報に興味があった
	インターネットやSNS、オンラインコミュニティへの参加によって得た情報に興味があった
	ふるさと納税やクラウドファンディング等を通じて興味があった
	地域の特産品の購入を通じて興味があった
親族や友人とのつながり	かつて住んでいた・職場や学校などに通っていたことがある
	親族、友人・知人が住んでいる、住んでいた
	友人・知人等が訪れている、友人・知人に誘われた
コネクションハブ機能	地域とのつながりをサポートする窓口・案内所等から紹介を受けた
	様々な地方の情報を受け取ることが出来る交流の場等で紹介を受けた
	地域を紹介するHPやSNS、オンラインコミュニティ等で紹介を受けた

(1)分析指標の集約化 — 滞在場所・訪問の年数 —

○ 分析結果の解釈をし易いように、「滞在場所」・「訪問の年数」を以下のように区分。

<滞在場所>

区分	選択肢
親族・知人等の所有物件	自分や家族が所有または賃借している物件
	親族の家(親族が所有または賃貸する物件)
	友人・知人の家(友人・知人が所有または賃貸する物件)
シェアリングサービス	シェアリングサービス
	ゲストハウス、キャンプ場等の簡易宿所、民泊等
宿泊施設(旅館・ホテル等)	旅館・ホテル、ペンション等の宿泊施設
滞在拠点(非宿泊)	コワーキングスペース、シェアオフィスなどの共有ワークスペース、レンタルオフィス等
	民間企業等の事業所・オフィス・作業場等
	農林漁業等に関連する施設や現場
	所属団体等の設けているサテライトオフィス
交流拠点	コミュニティスペース等の地域の交流拠点施設(コミュニティカフェ等を含む)
生活関連施設	役場、会館・集会所、図書館、産業支援施設などの公共的な施設
	学校などの公共的な施設
	商業・サービス、レジャー関連施設
	医療・福祉関連施設
	墓地、神社、宗教関連施設
	スポーツ関連施設や公園等
その他施設	民間企業が所有または管理している物件(会社の寮や借上げ社宅、保養所等)
	自然・景勝地等

<訪問の年数>

区分	選択肢
1年未満	1年未満
1年～5年未満	1年～2年未満
	2年～3年未満
	3年～4年未満
	4年～5年未満
5年～10年未満	5年～10年未満
10年～30年未満	10年～15年未満
	15年～20年未満
	20年～25年未満
	25年～30年未満
30年以上	30年以上

(1)分析指標の集約化 — 地域での過ごし方 —

○ 分析結果の解釈をし易いように、「過ごし方」を以下のように区分。

区分	選択肢
地域づくりの企画・活動	地域の交流拠点などで創発されるプロジェクトやコミュニティへの主体的な参加
	地域のまちおこし・むらおこしにつながるようなプロジェクトの企画・運営、又は協力・支援等
	地域に新たな仕事(産業)を創出するなどの活動への参加
地域づくりへの参加	地域でのボランティアや共助活動への参加
	農地、水路、森林等の地域資源の共同保全活動への参加
	まちなみ保全などの共同活動への参加
地域産業の活性化	地元の企業・事業所での労働(地域における副業)
	農林漁業への就業
	農林漁業者のサポート(援農等)
	商店街の空き店舗有効活用に関する活動への参加
	朝市・マルシェへの出店に関する活動への参加
地域住民との交流	地域の人との交流・コミュニケーションを楽しむ、人脈をつくる
	地域において友人や知人との交流・コミュニケーションを楽しむ
イベントへの参加	祭りや地域体験プログラム等への参加
	教養・学習の場への参加
趣味・消費活動	地域ならではの飲食や買い物(地場産品の購入等)
	自分の趣味や地域の環境を楽しむ活動
	市民農園・農業体験農園への参加
	自家消費農業等の取組
テレワーク/副業	本業として普段行っている業務や仕事(テレワークなど)
	訪問地域外の業務や仕事(テレワーク/副業など)
自己の用務	自己の用務、生活行動等(日常的な買物、飲食、通院、生活サービス享受等)
	墓参、家族・親族等の世話、面会、同窓会等
非訪問の過ごし方	ふるさと納税によって、地域を継続的に応援
	クラウドファンディングによって、地域を継続的に応援
	地場産品等を購入することにより、地域を定期的・継続的に応援
	遠隔で地域のためになる仕事を請け負い
	SNS等で地域の情報発信を行い応援
	オンライン(zoom、Slack等)を活用して、地域と継続的に関わっている
地域から応援・支援を受ける等の交流を行っている	

(2)個人のライフスタイルに着目した分析

— 主成分分析:三大都市圏 —

- 主成分分析により主成分軸を13軸抽出し、それぞれ名称を付した。
- これらの結果を活用して、非階層クラスター分析を行い、関係人口を8つに類型化する。

変数(※)		主成分軸												
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
個人属性	性別(1.男性、0.女性)	0.27	0.32	0.40	0.23	0.41	0.13	0.06	0.11	0.23	0.00	0.01	0.04	0.01
	年齢18-34	0.33	0.05	-0.34	0.64	-0.30	0.00	-0.12	0.11	0.15	0.06	0.01	0.12	0.02
	年齢35-49	0.13	0.31	0.01	-0.48	0.08	0.35	0.49	-0.02	-0.39	0.09	0.09	-0.17	-0.04
	年齢50-64	-0.22	-0.03	0.06	-0.39	-0.10	-0.43	-0.53	-0.13	0.33	-0.15	0.02	-0.08	0.05
	年齢65-	-0.33	-0.41	0.36	0.22	0.40	0.07	0.16	0.03	-0.09	-0.01	-0.14	0.16	-0.04
	職種1(1.会社員・専門職、0.その他)	0.49	0.59	-0.06	0.14	0.19	0.05	-0.26	-0.19	-0.22	-0.28	0.12	0.03	-0.05
	職種2(1.公務員・教員・団体職員、0.その他)	0.06	0.02	0.05	-0.01	-0.04	0.07	0.10	0.06	0.52	0.69	0.07	-0.24	-0.04
	職種3(1.自営業・農林漁業、0.その他)	0.03	-0.04	0.09	-0.15	0.17	-0.31	0.31	0.27	0.20	-0.21	-0.43	-0.31	0.24
	職種4(1.派遣社員・パート・アルバイト、0.その他)	-0.16	-0.12	-0.09	-0.40	-0.26	-0.36	0.10	0.26	-0.18	0.28	0.12	0.44	-0.14
	職種5(1.専業主婦・学生・無職、0.その他)	-0.47	-0.56	0.07	0.24	-0.07	0.35	0.01	-0.14	0.00	-0.17	-0.06	-0.09	0.08
一時単身	0.02	0.00	0.00	0.05	-0.06	-0.03	-0.05	-0.01	0.02	-0.08	-0.19	-0.04	0.13	
世帯属性	単身・独身	0.15	0.20	-0.24	0.32	-0.05	-0.34	0.31	-0.52	-0.06	0.21	-0.30	-0.04	-0.02
	夫婦と子供	0.07	0.17	0.13	-0.52	-0.21	0.58	-0.18	-0.02	0.23	-0.06	-0.15	0.22	0.12
	夫婦のみ	-0.27	-0.29	0.19	0.17	0.49	-0.24	-0.19	0.20	-0.25	0.14	0.37	0.02	0.18
	母子・父子世帯(1.非該当、0.該当)	0.02	0.07	0.05	0.04	0.15	0.12	-0.10	-0.06	0.05	0.16	-0.15	0.39	-0.15
	親世帯と同居	0.13	-0.08	-0.12	0.09	-0.21	0.00	0.08	0.43	0.13	-0.29	0.26	-0.31	-0.52
	子供世帯と同居	-0.02	-0.12	0.08	0.00	0.06	-0.02	0.07	0.08	0.04	-0.17	-0.36	0.17	-0.59
	知人・友人等と同居	0.06	0.01	-0.10	0.10	-0.07	-0.05	0.03	0.19	-0.02	-0.04	-0.18	0.39	0.11
就労環境	副業	0.39	0.12	0.10	-0.22	0.06	-0.43	0.15	0.22	-0.02	-0.03	-0.09	0.09	0.07
	テレワーク	0.50	0.45	0.04	-0.10	0.24	-0.20	-0.09	0.00	0.02	-0.05	0.05	0.00	0.01
趣味・関心	旅行、ドライブ・ツーリング等	0.19	-0.15	-0.16	-0.06	0.32	0.08	-0.37	0.16	-0.18	0.25	-0.26	-0.17	-0.14
	アウトドア、スポーツ(室内競技や観戦等も含む)	0.34	0.01	0.01	0.00	0.33	0.21	-0.16	0.22	0.10	0.11	-0.14	0.01	0.01
	芸術、文化、サブカルチャー(鑑賞、収集、活動)	0.23	-0.35	-0.27	-0.13	0.16	-0.14	0.16	-0.16	0.10	-0.11	0.12	0.04	0.02
	教養、自己啓発	0.35	-0.30	-0.16	-0.12	0.28	0.03	0.09	-0.28	0.21	-0.03	0.13	0.08	-0.14
	読書	0.21	-0.29	-0.13	-0.16	0.29	-0.03	0.12	-0.29	0.23	-0.06	0.26	0.10	-0.16
	ゲーム	0.38	-0.01	-0.18	0.11	-0.05	0.16	0.21	0.21	0.06	-0.01	0.21	0.10	0.18
	写真・動画の撮影	0.39	-0.27	-0.23	0.03	0.10	0.10	0.01	0.21	0.03	-0.05	-0.09	0.05	0.13
	SNS	0.41	-0.18	-0.39	0.14	-0.16	0.08	0.05	0.16	-0.03	-0.04	0.00	0.05	0.17
	食(料理、グルメ)	0.24	-0.18	-0.39	-0.14	0.06	0.07	-0.26	0.01	-0.27	0.21	-0.14	-0.22	-0.07
	健康、美容	0.20	-0.39	-0.37	-0.14	-0.02	-0.01	-0.14	-0.10	-0.21	0.04	-0.11	-0.09	-0.07
	ハンドメイド、DIY	0.19	-0.35	-0.18	-0.22	0.02	0.05	0.03	0.02	0.04	-0.13	0.00	0.03	0.29
	ボランティア、ソーシャルビジネス	0.38	-0.35	-0.01	-0.10	0.13	0.00	0.05	-0.09	0.14	-0.07	0.00	0.10	-0.01
まちづくり活動	まちづくりのための活動	0.55	-0.28	0.52	0.03	-0.23	-0.04	-0.04	-0.05	-0.10	0.04	0.01	-0.05	-0.01
	安全な生活のための活動	0.55	-0.28	0.57	0.04	-0.27	-0.04	-0.05	-0.08	-0.13	0.05	0.00	-0.03	0.00
	災害に関係した活動	0.56	-0.28	0.56	0.03	-0.26	-0.05	-0.05	-0.09	-0.12	0.05	0.00	-0.04	-0.02
固有値(1.0以上のみを採用)		3.42	2.54	2.20	1.82	1.66	1.55	1.31	1.23	1.22	1.14	1.08	1.06	1.05
寄与率(%)		9.76	7.25	6.28	5.20	4.75	4.44	3.75	3.53	3.48	3.24	3.07	3.02	3.00
累積寄与率(%)		9.76	17.01	23.29	28.49	33.24	37.68	41.43	44.96	48.45	51.69	54.76	57.78	60.78

軸の凡例	
A	: 若年地域活動軸
B	: 会社員非自己研鑽軸
C	: 高齢地域活動軸
D	: 若年単身軸
E	: 中高年夫婦軸
F	: 中年核家族軸
G	: 単身フリーランス軸
H	: 親世帯同居軸
I	: 既婚公共従事軸
J	: 単身公共従事軸
K	: 夫婦のみ世帯軸
L	: 非正規従事軸
M	: 既婚フリーランス軸

※ダミー変数(1.該当、0.非該当)

(2)個人のライフスタイルに着目した分析

－ 非階層クラスター分析：三大都市圏 －

- 主成分得点を活用して、非階層クラスター分析により関係人口を8つに類型化。
- これらの結果を活用して、「個人のライフスタイルに着目した関係人口のペルソナ像」を整理。

分類 \ 主成分得点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
I. 非単身型	-0.15	-0.22	-0.03	0.02	0.69	-0.62	-0.60	0.61	-0.76	0.63	0.69	-0.32	0.26
II. 既婚公共従事型	-0.43	0.09	0.30	-0.78	-0.27	-0.63	-0.76	-0.52	1.02	-0.75	0.15	0.23	0.32
III. 若年単身・非正規型	0.73	0.34	-0.11	0.90	-0.33	0.00	0.11	0.06	0.67	-0.33	0.27	1.02	0.64
IV. 単身公共従事型	0.29	0.30	-0.63	0.46	-0.05	-0.62	0.42	-0.99	-0.44	0.63	-0.85	-0.44	-0.40
V. 中年核家族型	-0.25	-0.31	-0.30	-0.54	-0.78	0.97	-0.47	0.33	-0.13	0.52	-1.00	-0.06	0.28
VI. 中高年夫婦・地域活動型	-1.00	-1.04	0.91	0.64	0.85	0.23	0.44	0.06	-0.05	-0.05	0.05	0.32	0.19
VII. 会社員非自己研鑽型	0.40	0.78	0.38	-0.96	0.20	1.01	0.68	-0.14	-0.24	-0.30	0.21	0.19	0.10
VIII. 親世帯同居軸型	0.28	-0.23	-0.38	0.32	-0.51	-0.04	0.20	0.99	0.27	-0.76	0.67	-0.95	-1.65

軸の凡例

- A : 若年地域活動軸
- B : 会社員非自己研鑽軸
- C : 高齢地域活動軸
- D : 若年単身軸
- E : 中高年夫婦軸
- F : 中年核家族軸
- G : 単身フリーランス軸
- H : 親世帯同居軸
- I : 既婚公共従事軸
- J : 単身公共従事軸
- K : 夫婦のみ世帯軸
- L : 非正規従事軸
- M : 既婚フリーランス軸

(2)個人のライフスタイルに着目した分析

— 主成分分析:その他地域 —

- 主成分分析により主成分軸を14軸抽出し、それぞれ名称を付した。
- これらの結果を活用して、非階層クラスター分析を行い、関係人口を8つに類型化する。

変数(※)		主成分軸													
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
個人属性	性別(1.男性、0.女性)	0.24	0.05	0.56	0.39	0.29	0.04	0.05	0.09	0.15	0.16	0.02	0.07	0.07	0.01
	年齢18-34	0.29	-0.29	-0.18	0.52	-0.50	-0.13	-0.05	-0.01	0.18	0.01	-0.07	0.13	-0.10	0.00
	年齢35-49	0.14	-0.32	0.04	-0.37	0.28	0.50	0.31	0.10	-0.19	-0.25	0.26	-0.12	0.09	0.04
	年齢50-64	-0.24	0.11	0.00	-0.40	0.06	-0.51	-0.49	-0.11	-0.04	0.35	-0.11	-0.04	0.07	-0.07
	年齢65-	-0.25	0.62	0.16	0.30	0.19	0.15	0.26	0.02	0.07	-0.13	-0.10	0.02	-0.06	0.04
	職種1(1.会社員・専門職、0.その他)	0.40	-0.46	0.28	0.19	0.26	-0.05	-0.08	-0.49	-0.31	0.09	0.01	0.04	-0.02	0.01
	職種2(1.公務員・教員・団体職員、0.その他)	0.09	-0.06	0.07	0.01	-0.08	0.02	-0.37	0.65	0.39	-0.04	0.33	-0.06	0.12	0.05
	職種3(1.自営業・農林漁業、0.その他)	0.06	0.14	0.08	-0.10	0.13	-0.22	0.40	0.29	0.14	0.15	-0.35	-0.39	0.03	-0.08
	職種4(1.派遣社員・パート・アルバイト、0.その他)	-0.13	0.00	-0.19	-0.52	-0.15	-0.23	0.20	-0.04	0.22	-0.31	0.06	0.27	-0.11	0.03
	職種5(1.専業主婦・学生・無職、0.その他)	-0.43	0.46	-0.23	0.27	-0.19	0.36	-0.04	-0.02	-0.17	0.11	-0.11	-0.02	0.02	-0.03
一時単身	-0.01	-0.02	0.00	0.03	-0.01	-0.04	-0.04	0.08	-0.06	0.04	-0.09	0.13	0.15	0.82	
世帯属性	単身・独身	0.11	-0.24	-0.04	0.37	-0.02	-0.28	-0.10	0.34	-0.43	-0.35	-0.13	-0.23	-0.11	-0.14
	夫婦と子供	0.14	-0.23	0.12	-0.41	0.00	0.61	-0.24	0.03	0.19	0.20	-0.35	0.08	-0.12	-0.07
	夫婦のみ	-0.31	0.49	0.05	0.15	0.28	-0.24	0.04	-0.24	0.19	-0.18	0.23	0.26	-0.02	-0.08
	母子・父子世帯(1.非該当、0.該当)	0.00	0.01	0.08	0.11	0.15	0.14	-0.14	0.03	0.18	0.02	0.01	-0.01	-0.84	-0.03
	親世帯と同居	0.13	-0.07	-0.14	-0.06	-0.24	-0.09	0.32	-0.12	0.09	0.46	0.52	-0.22	-0.12	0.03
	子供世帯と同居	0.00	0.15	0.03	-0.02	-0.02	-0.06	0.18	-0.09	-0.01	0.25	-0.03	-0.44	-0.18	0.27
	知人・友人等と同居	0.04	-0.03	-0.05	0.03	-0.09	-0.06	0.06	-0.05	0.10	-0.13	-0.15	0.10	-0.21	0.37
就労環境	副業	0.40	-0.05	0.15	-0.27	0.08	-0.35	0.30	0.07	0.12	-0.11	-0.17	0.09	-0.07	-0.04
	テレワーク	0.45	-0.20	0.28	-0.08	0.24	-0.26	0.03	0.03	0.07	-0.03	-0.09	0.11	-0.06	0.03
趣味・関心	旅行、ドライブ・ツーリング等	0.18	0.11	-0.20	0.10	0.36	-0.03	-0.21	-0.23	0.29	-0.18	0.10	-0.32	0.10	0.03
	アウトドア、スポーツ(室内競技や観戦等も含む)	0.32	0.01	0.07	0.21	0.31	0.10	-0.12	-0.06	0.30	0.08	0.01	-0.04	0.19	0.04
	芸術、文化、サブカルチャー(鑑賞、収集、活動)	0.21	0.17	-0.44	-0.03	0.19	-0.14	0.03	0.18	-0.20	0.15	0.07	0.04	-0.03	-0.07
	教養、自己啓発	0.35	0.18	-0.32	0.02	0.31	0.01	-0.07	0.23	-0.17	0.15	0.01	0.17	-0.12	0.10
	読書	0.20	0.20	-0.29	-0.04	0.29	-0.01	-0.01	0.21	-0.24	0.22	0.20	0.26	-0.11	-0.02
	ゲーム	0.33	-0.18	-0.16	0.18	-0.09	0.09	0.20	-0.03	0.07	0.12	0.15	0.23	0.06	-0.08
	写真・動画の撮影	0.34	0.09	-0.36	0.18	0.05	0.06	0.13	-0.05	0.20	0.06	-0.21	0.00	0.14	-0.07
	SNS	0.38	-0.12	-0.41	0.19	-0.23	0.00	0.12	-0.06	0.13	-0.01	-0.11	0.05	0.06	-0.06
	食(料理、グルメ)	0.21	-0.04	-0.45	-0.04	0.12	0.04	-0.21	-0.21	0.12	-0.28	0.08	-0.29	-0.03	0.03
	健康、美容	0.18	0.08	-0.53	-0.10	0.06	0.02	-0.10	-0.10	-0.03	-0.15	-0.01	-0.14	-0.10	0.15
	ハンドメイド、DIY	0.17	0.14	-0.36	-0.17	0.05	0.08	0.05	-0.05	0.08	0.11	-0.26	0.08	0.11	-0.14
ボランティア、ソーシャルビジネス	0.37	0.26	-0.19	-0.01	0.12	0.02	-0.04	0.07	-0.10	0.01	-0.11	0.12	0.03	0.04	
まちづくり活動	まちづくりのための活動	0.55	0.46	0.27	-0.14	-0.26	0.04	-0.09	-0.04	-0.09	-0.08	0.05	-0.04	0.02	-0.01
	安全な生活のための活動	0.58	0.47	0.28	-0.14	-0.30	0.06	-0.08	-0.07	-0.10	-0.09	0.05	-0.04	-0.02	-0.01
	災害に関係した活動	0.58	0.46	0.28	-0.13	-0.30	0.03	-0.10	-0.06	-0.10	-0.08	0.08	-0.05	0.00	0.00
固有値(1.0以上のみを採用)		3.10	2.37	2.32	1.87	1.61	1.57	1.29	1.25	1.21	1.16	1.10	1.07	1.03	1.01
寄与率(%)		8.85	6.77	6.64	5.35	4.61	4.49	3.70	3.57	3.45	3.31	3.14	3.07	2.95	2.88
累積寄与率(%)		8.85	15.62	22.26	27.61	32.22	36.71	40.40	43.97	47.42	50.73	53.87	56.94	59.89	62.77

軸の凡例	
A	: 若年地域活動軸
B	: 高齢地域活動軸
C	: 会社員非自己研鑽軸
D	: 若年単身軸
E	: 中高年夫婦軸
F	: 中年核家族軸
G	: フリーランス軸
H	: 単身公共従事軸
I	: 既婚公共従事軸
J	: 複数世帯同居軸
K	: 親世帯同居軸
L	: 非正規従事軸
M	: ひとり親世帯軸
N	: 一時単身軸

※ダミー変数(1.該当、0.非該当)

(2)個人のライフスタイルに着目した分析

－ 非階層クラスター分析:その他地域 －

- 主成分得点を活用して、非階層クラスター分析により関係人口を8つに類型化。
- これらの結果を活用して、「個人のライフスタイルに着目した関係人口のペルソナ像」を整理。

分類 \ 主成分得点	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
I. 高齢地域活動型	-0.57	0.84	0.11	0.29	0.49	-0.40	-0.06	-0.57	0.48	-0.53	0.48	0.19	0.21	0.00
II. 非正規従事型	-0.31	0.16	0.31	0.02	-0.36	-0.28	0.68	0.63	-0.41	0.72	0.09	1.22	-0.51	-0.53
III. 中年核家族型	-0.40	-0.14	-0.40	-0.98	-0.56	0.93	-0.33	0.09	0.11	-0.09	-0.82	-0.16	-0.48	-0.05
IV. ひとり親世帯型	-0.02	-0.04	-0.29	-0.35	-0.49	-0.45	0.43	-0.07	-0.54	-0.07	0.00	-0.04	3.11	0.38
V. 親世帯同居・一時単身型	0.16	-0.16	-0.27	-0.04	-0.40	-0.20	0.45	-0.35	0.09	0.52	1.12	-0.75	-0.39	1.17
VI. 会社員非自己研鑽型	0.43	-0.69	0.88	-0.25	0.44	0.85	-0.48	-0.22	0.45	0.40	-0.46	-0.06	0.23	0.18
VII. 若年地域活動型	1.56	0.40	-1.20	0.15	0.62	0.14	-0.05	-0.04	0.38	0.49	-0.36	0.42	0.20	-0.47
VIII. 若年単身・公共従事型	0.16	-0.55	-0.01	0.74	-0.07	-0.60	-0.22	0.60	-0.87	-0.81	-0.24	-0.73	-0.25	-0.41

軸の凡例

- A : 若年地域活動軸
- B : 高齢地域活動軸
- C : 会社員非自己研鑽軸
- D : 若年単身軸
- E : 中高年夫婦軸
- F : 中年核家族軸
- G : フリーランス軸
- H : 単身公共従事軸
- I : 既婚公共従事軸
- J : 複数世帯同居軸
- K : 親世帯同居軸
- L : 非正規従事軸
- M : ひとり親世帯軸
- N : 一時単身軸

(3)世代と地域への関わり方に着目したブロック分析結果

— 主成分分析：首都圏都市部→その他地域 —

○ 主成分分析により主成分軸を21軸抽出し、それぞれ名称を付した。

変数	主成分軸																					
	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	
個人属性	性別 (1.男性、0.女性)	0.32	0.16	0.31	0.16	0.20	0.03	0.19	0.04	0.20	0.09	0.06	0.08	0.02	0.13	0.27	0.13	0.10	0.16	0.01	0.09	0.13
	定職者 (1.会社員・専門職、0.その他)	0.29	0.20	0.63	0.50	0.12	-0.20	-0.22	-0.12	0.08	-0.06	-0.03	-0.09	0.08	-0.09	-0.12	0.04	0.01	0.00	-0.07	-0.03	0.04
	定職者 (1.公務員・教員・団体職員、0.その他)	0.02	0.00	-0.07	-0.27	0.03	0.06	0.12	0.39	0.10	0.16	0.22	0.20	-0.17	-0.06	0.47	0.05	0.32	-0.15	0.05	0.29	-0.08
	定職者 (1.自営業・農林漁業、0.その他)	0.02	-0.06	-0.25	0.00	0.21	0.04	0.29	0.00	0.06	0.07	0.20	0.14	-0.09	0.13	0.12	0.07	-0.32	0.35	0.34	-0.29	0.18
	非定職者 (1.派遣社員・パート・アルバイト、0.その他)	-0.15	-0.09	-0.27	-0.20	-0.08	0.00	-0.24	0.08	-0.40	-0.43	0.23	0.01	-0.23	-0.04	-0.02	-0.16	-0.24	0.06	-0.08	0.04	-0.25
	無職 (1.専業主婦・学生・無職、0.その他)	-0.28	-0.14	-0.40	-0.32	-0.24	0.19	0.20	-0.15	0.09	0.25	-0.39	-0.11	0.23	0.10	-0.20	0.00	0.13	-0.13	-0.04	-0.02	0.07
一時単身	0.03	-0.06	-0.03	-0.10	0.10	0.12	0.18	-0.20	0.06	0.17	-0.05	-0.10	0.14	-0.04	0.12	0.09	-0.10	0.39	-0.12	-0.03	-0.36	
同行者	自分ひとり	0.19	0.50	0.00	-0.45	0.50	-0.02	-0.05	-0.24	0.06	-0.17	0.02	0.03	0.00	0.05	0.00	0.14	-0.07	-0.16	-0.05	0.05	-0.02
	家族・親族	-0.45	-0.45	0.17	0.20	-0.29	-0.09	0.00	0.14	0.04	0.13	0.02	-0.28	-0.11	0.07	0.09	-0.15	0.11	-0.01	0.01	-0.24	0.08
	仕事関係の同僚や知人	0.34	-0.07	0.00	0.27	-0.23	0.23	0.34	0.16	-0.30	0.02	0.04	0.11	0.15	0.01	-0.07	-0.02	-0.01	0.03	0.07	0.08	-0.03
	サークルやコミュニティ等の仲間	0.27	-0.29	-0.12	0.05	-0.09	0.05	-0.05	0.04	0.17	0.00	-0.22	0.36	-0.04	-0.13	-0.19	-0.05	0.00	0.12	-0.06	0.18	-0.04
	プライベートの友人	0.09	-0.25	-0.15	0.27	-0.08	0.01	-0.29	-0.06	-0.16	0.07	0.09	0.24	0.12	-0.20	-0.11	0.19	0.01	0.26	0.06	0.29	-0.08
まっかけ	副業/テレワーク	0.35	-0.28	0.20	-0.23	-0.10	0.06	0.03	-0.02	-0.05	-0.12	0.01	-0.04	0.10	0.00	0.08	0.01	0.07	0.02	0.04	0.00	0.19
	仕事の関係で訪れたことがある	0.35	-0.03	0.02	0.16	0.07	0.17	0.33	0.00	-0.26	-0.05	0.14	-0.16	0.13	0.20	-0.08	0.08	0.11	-0.07	-0.03	0.03	-0.10
	価値観の変化	0.38	-0.38	-0.03	-0.07	0.12	-0.10	-0.07	0.06	0.14	-0.07	-0.08	-0.11	-0.03	0.04	-0.02	0.05	0.03	-0.01	-0.08	-0.05	0.06
	観光・ボランティア等で以前訪問	0.39	-0.40	-0.19	0.10	0.07	-0.09	-0.09	0.04	0.10	0.08	-0.01	-0.01	-0.11	0.12	-0.02	0.16	-0.05	-0.03	-0.06	0.06	0.14
	シェアリング等を活用	0.42	-0.26	0.08	-0.22	-0.12	-0.06	-0.01	0.00	0.05	-0.01	0.01	-0.07	-0.15	-0.06	-0.06	-0.01	-0.09	0.07	0.12	-0.14	0.04
	地域事情 (雇用、住居等) を教えてくれる住民等	0.31	-0.37	0.03	-0.19	0.11	-0.01	0.05	-0.09	0.08	-0.09	0.02	-0.07	-0.04	0.12	-0.08	0.02	0.02	-0.09	0.07	0.11	0.25
	非訪問の関わりがあった	0.42	-0.29	-0.08	-0.10	-0.03	-0.16	-0.15	0.03	0.01	0.06	0.11	-0.12	-0.03	-0.05	0.13	-0.11	0.03	-0.05	0.01	-0.21	-0.07
親族や友人とのつながり	-0.49	-0.35	0.17	-0.05	0.18	-0.05	0.07	-0.10	-0.13	-0.03	0.07	0.07	0.09	0.02	-0.05	0.07	0.04	0.10	0.05	0.08	0.03	
コネクションハブ	0.42	-0.31	0.11	-0.25	-0.08	-0.01	-0.03	-0.11	0.06	-0.05	-0.04	0.07	0.02	0.03	0.13	-0.11	-0.01	-0.08	-0.01	0.04	0.03	
関わり年数	5年未満	0.51	0.42	-0.04	-0.18	-0.18	-0.32	-0.10	0.06	-0.15	0.38	-0.09	-0.09	-0.05	-0.01	-0.11	-0.10	-0.03	0.08	0.13	0.06	-0.05
	5年～10年未満	0.09	-0.12	-0.21	0.26	-0.06	0.10	0.31	0.11	0.26	-0.56	-0.14	0.05	0.07	-0.22	0.09	0.11	-0.11	-0.26	-0.13	-0.13	-0.01
	10年～30年未満	-0.27	-0.26	0.09	0.09	0.11	0.65	-0.37	-0.24	0.07	0.09	0.14	-0.08	-0.09	0.22	0.11	0.02	0.07	0.05	-0.02	0.03	-0.01
	30年以上	-0.43	-0.14	0.14	-0.11	0.16	-0.45	0.30	0.11	-0.12	-0.11	0.09	0.17	0.11	-0.06	-0.07	0.02	0.06	0.07	-0.04	0.00	0.08
滞在頻度	月に10回以上	0.19	0.06	0.18	-0.29	0.07	0.19	-0.02	-0.12	0.02	-0.26	-0.10	-0.31	0.03	-0.14	-0.14	0.04	0.12	0.18	0.09	0.13	0.06
	月に数回	0.18	0.12	0.07	-0.07	-0.05	0.02	0.09	0.20	0.03	0.20	0.16	0.09	-0.41	0.07	-0.38	0.27	0.07	-0.09	-0.35	-0.23	-0.04
	月に1回程度	0.19	0.03	0.21	-0.01	-0.16	-0.05	-0.05	-0.14	-0.17	-0.07	-0.03	0.42	0.24	0.50	0.15	-0.38	-0.08	-0.14	0.01	-0.03	0.00
	益・正月・GWなどの長期休暇ごと	-0.23	-0.19	0.36	-0.07	-0.16	0.12	0.05	0.12	0.27	0.16	0.12	0.00	0.02	-0.20	0.03	0.18	-0.43	-0.20	0.16	0.13	-0.21
	年に数回	-0.04	-0.08	-0.22	0.29	0.51	0.03	0.06	0.11	-0.32	0.08	-0.48	-0.17	-0.26	-0.07	0.19	-0.17	0.01	-0.01	0.04	0.04	0.02
	年に1回程度	-0.07	0.04	-0.24	0.05	-0.19	-0.30	0.18	-0.14	0.36	-0.18	0.29	-0.26	0.06	0.13	-0.05	-0.19	0.19	0.33	-0.10	0.22	-0.12
	数年に1度	-0.10	0.00	-0.09	0.00	-0.06	0.05	-0.19	-0.18	0.03	-0.15	0.02	0.31	-0.04	-0.10	-0.11	0.23	0.49	-0.02	0.36	-0.34	-0.08
不定期	-0.01	0.14	-0.21	-0.11	-0.12	0.02	-0.24	0.08	-0.19	0.11	0.17	-0.01	0.44	-0.26	0.14	0.22	-0.15	0.01	-0.21	-0.06	0.47	
滞在场所	親族・知人等の所有物件	-0.49	-0.38	0.32	-0.21	0.13	-0.06	0.08	-0.03	-0.03	0.04	-0.05	0.07	0.02	-0.03	-0.09	-0.05	-0.07	0.02	-0.06	0.00	0.03
	シェアリングサービス	0.32	-0.13	0.01	-0.05	-0.01	-0.13	-0.20	0.03	0.15	-0.06	-0.18	0.09	0.03	-0.06	0.16	-0.09	-0.11	0.14	0.08	-0.28	-0.16
	旅館・ホテル、ペンション等の宿泊施設	0.22	-0.07	-0.43	0.28	0.03	-0.14	-0.14	-0.01	0.04	-0.04	0.20	-0.21	0.10	0.23	0.02	0.14	0.04	-0.18	0.14	0.08	0.06
	非宿泊	0.43	-0.07	0.17	-0.07	-0.06	0.16	0.17	0.06	-0.15	0.03	-0.11	-0.02	0.09	-0.06	0.00	0.06	0.10	0.15	-0.09	-0.06	-0.14
	コミュニティスペース等の地域の交流拠点施設	0.31	-0.24	0.04	-0.03	0.09	0.02	0.02	-0.02	-0.07	0.00	-0.07	0.08	0.11	-0.15	-0.03	-0.07	0.08	-0.05	-0.21	0.12	-0.11
生活関連施設	0.30	-0.18	0.06	-0.01	0.01	0.05	0.04	0.06	-0.16	-0.07	0.10	0.07	-0.21	-0.05	-0.10	0.04	0.16	0.03	0.17	0.14	0.06	
その他	0.00	0.00	-0.02	0.00	-0.05	0.12	-0.09	0.07	0.05	-0.07	0.00	0.17	-0.23	0.24	0.02	-0.02	-0.06	0.26	-0.52	-0.01	0.21	
過ごし方	地域づくりの企画	0.22	-0.10	-0.06	0.10	0.05	0.01	0.21	-0.49	0.03	0.21	0.23	0.14	-0.16	-0.33	0.00	-0.36	-0.01	-0.17	-0.08	-0.04	0.10
	地域づくりへの参加	0.08	0.01	0.09	-0.11	0.21	0.16	-0.21	0.64	0.17	-0.06	-0.02	-0.05	0.27	0.13	-0.22	-0.21	0.02	0.09	0.11	-0.04	-0.04
	地域産業の活性化	0.06	-0.08	0.14	-0.07	-0.35	-0.20	0.02	-0.14	-0.24	-0.11	-0.25	-0.10	-0.12	0.18	0.32	0.48	-0.08	0.06	-0.02	0.01	-0.08
	地域住民との交流	0.05	-0.24	-0.15	0.01	0.32	-0.11	0.08	0.01	-0.04	0.09	0.02	0.18	0.19	0.14	-0.20	0.15	-0.02	0.06	-0.04	-0.19	-0.09
	イベント参加	0.06	-0.29	-0.05	0.04	0.16	-0.10	-0.03	-0.03	0.00	0.08	0.02	-0.10	-0.09	0.02	-0.18	0.02	-0.27	-0.05	0.15	0.26	0.11
	趣味・消費活動等	-0.04	-0.24	-0.07	0.04	0.13	-0.19	-0.09	-0.08	0.05	0.13	0.01	0.03	0.12	0.28	-0.05	0.15	-0.05	-0.27	-0.08	0.07	-0.34
	テレワーク/副業	0.24	-0.01	0.14	-0.08	-0.01	0.23	0.13	0.00	-0.23	-0.01	0.30	-0.22	0.04	0.01	-0.13	-0.03	-0.09	-0.12	0.03	-0.19	-0.10
	自己の用務	-0.32	-0.24	0.19	-0.10	0.05	-0.18	-0.03	0.04	-0.23	-0.03	0.03	-0.07	-0.03	0.00	-0.04	0.04	0.20	-0.02	-0.01	0.05	0.10
	非訪問	0.11	-0.25	-0.07	-0.02	0.25	-0.09	-0.13	0.03	-0.07	0.12	0.18	-0.12	0.23	-0.23	0.25	-0.04	0.16	-0.02	-0.24	-0.18	-0.16
	固有値 (1.0以上のみを採用)	3.85	2.56	1.87	1.64	1.53	1.43	1.40	1.31	1.28	1.23	1.21	1.21	1.18	1.16	1.15	1.14	1.10	1.07	1.05	1.04	1.01
寄与率 (%)	7.85	5.22	3.82	3.35	3.12	2.91	2.85	2.68	2.61	2.51	2.47	2.46	2.40	2.38	2.35	2.32	2.25	2.18	2.14	2.12	2.07	
累積寄与率 (%)	7.85	13.07	16.89	20.24	23.36	26.27	29.13	31.80	34.41	36.93	39.40	41.86	44.26	46.64	48.99	51.31	53.56	55.74	57.88	59.99	62.06	

- 軸の凡例
- A : テレワーク/副業能動的軸①
 - B : 自分ひとり訪問軸①
 - C : 会社員帰省軸
 - D : 会社員仕事訪問軸
 - E : 自分ひとり地域住民交流軸
 - F : 関わり年数長期軸
 - G : 自営業等仕事訪問軸
 - H : 公務員地域づくり担い手軸①
 - I : 男性地域づくり参加軸
 - J : 関わり年数短期軸
 - L : 非定職テレワーク/副業軸
 - M : 同好会地域担い手軸
 - N : 不定期地域担い手軸
 - O : 毎月地域担い手軸
 - P : 公務員地域産業担い手軸①
 - Q : 趣味・消費型地域産業担い手軸
 - R : 低頻度自己用務軸
 - S : 自営業シェアリング軸
 - T : 自営業イベント参加軸
 - U : 同好会イベント参加軸
 - V : 不定期イベント参加軸

(3)世代と地域への関わり方に着目したブロック分析結果

ー 性別・世代別の主成分得点：首都圏都市部→その他地域 ー

○ 主成分得点を活用して、性別・世代別に関係人口（訪問系）直接寄与型を類型化。

性別	世代	A：テレワーク/副業能動的軸①	B：自分ひとり訪問軸①	C：会社員帰省軸	D：会社員仕事訪問軸	E：自分ひとり地域住民交流軸	F：関わり年数長期軸	G：自営業等仕事訪問軸	H：公務員地域づくり担い手軸①	I：男性地域づくり参加軸	J：関わり年数短期軸	L：非定職テレワーク/副業軸
男性	A：団塊世代・ポスト団塊世代以上	0.43	0.19	0.36	0.08	0.03	0.05	0.10	-0.01	0.18	0.16	0.03
女性		-0.22	-0.13	-0.17	-0.27	-0.32	0.07	-0.37	-0.10	-0.23	0.00	-0.15
男性	B：バブル世代	0.24	0.23	0.36	0.40	0.29	-0.17	-0.05	0.11	0.22	-0.04	0.13
女性		-0.56	-0.38	-0.45	-0.05	-0.19	-0.16	-0.26	0.02	-0.41	-0.29	0.09
男性	C：団塊ジュニア世代・ポスト団塊ジュニア世代	0.19	0.36	0.39	0.29	0.31	-0.08	0.08	0.10	0.25	-0.02	0.11
女性		-0.56	-0.25	-0.68	-0.29	-0.25	-0.04	-0.11	0.01	-0.39	-0.16	-0.04
男性	D：さとり世代・デジタルネイティブ世代	-0.13	-0.14	-0.30	0.02	0.36	0.14	0.63	0.00	0.14	-0.02	0.05
女性		-0.78	-0.53	-0.81	-0.49	-0.14	-0.07	0.23	-0.04	-0.22	-0.16	-0.24

性別	世代	M：同好会地域担い手軸	N：不定期地域担い手軸	O：毎月地域担い手軸	P：公務員地域産業担い手軸	Q：趣味・消費型地域産業担い手軸	R：低頻度自己用務軸	S：自営業シェアリング軸	T：自営業イベント参加軸	U：同好会イベント参加軸	V：不定期イベント参加軸
男性	A：団塊世代・ポスト団塊世代以上	0.08	0.00	-0.01	0.30	0.10	0.06	0.13	0.04	0.14	0.07
女性		-0.14	-0.14	-0.27	-0.44	-0.18	-0.28	-0.28	0.08	-0.09	-0.27
男性	B：バブル世代	0.11	0.09	0.09	0.29	0.19	0.12	0.25	-0.02	0.12	0.13
女性		-0.21	-0.07	-0.23	-0.25	-0.25	-0.22	-0.31	-0.11	-0.19	-0.25
男性	C：団塊ジュニア世代・ポスト団塊ジュニア世代	0.06	-0.15	0.14	0.18	0.08	-0.03	0.39	0.17	-0.09	0.24
女性		-0.11	0.07	-0.01	-0.37	-0.19	0.01	-0.12	-0.10	-0.24	-0.17
男性	D：さとり世代・デジタルネイティブ世代	0.12	0.10	0.46	0.20	0.14	0.27	0.07	-0.09	0.07	0.34
女性		-0.04	0.35	0.17	-0.62	-0.11	0.25	-0.37	-0.26	-0.24	-0.07

(3)世代と地域への関わり方に着目したブロック分析結果

－ 主成分分析:その他地域→首都圏都市部 －

- 主成分分析により主成分軸を20軸抽出し、それぞれ名称を付した。
- これらの結果を活用して、性別・世代別に主成分得点を算出して、関係人口（訪問系）直接寄与型を類型化。

変数		主成分軸																			
		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
個人属性	性別 (1.男性、0.女性)	0.40	0.15	0.37	0.15	0.01	0.02	0.12	0.03	0.13	0.11	0.06	0.09	0.19	0.24	0.02	0.09	0.10	0.06	0.18	0.07
	定職者 (1.会社員・専門職、0.その他)	0.36	0.15	0.41	0.10	-0.48	-0.12	0.42	-0.05	-0.27	-0.22	0.09	0.05	0.03	-0.18	0.05	0.02	-0.01	0.04	0.16	0.05
	定職者 (1.公務員・教員・団体職員、0.その他)	-0.02	0.01	-0.13	0.03	0.09	0.14	-0.01	-0.03	0.29	0.51	-0.11	0.35	0.31	0.21	-0.05	-0.13	0.08	-0.30	0.03	0.05
	定職者 (1.自営業・農林漁業、0.その他)	0.11	-0.08	0.12	-0.06	0.20	-0.02	-0.32	-0.08	0.47	0.16	0.13	-0.20	-0.06	0.06	-0.05	0.29	0.16	0.29	-0.01	-0.04
	非定職者 (1.派遣社員・パート・アルバイト、0.無職 (1.専業主婦・学生・無職、0.その他))	-0.28	-0.03	-0.33	-0.13	0.01	0.00	-0.17	-0.35	0.01	-0.03	0.11	0.10	-0.46	-0.33	-0.01	-0.02	-0.03	-0.18	-0.26	0.08
同行者	自分ひとり	0.00	0.00	0.22	0.00	0.02	0.04	-0.08	-0.07	0.08	0.14	-0.11	-0.05	-0.05	0.02	0.24	0.50	-0.28	-0.02	0.16	-0.14
	家族・親族	0.03	0.66	-0.05	0.14	0.36	-0.01	0.43	-0.14	0.17	0.02	0.02	-0.11	-0.18	0.07	-0.06	-0.02	-0.17	-0.08	0.00	-0.09
	仕事関係の同僚や知人	-0.26	-0.64	0.07	0.12	-0.12	0.13	-0.22	0.10	-0.21	0.11	-0.08	-0.02	0.12	-0.18	0.13	-0.04	0.16	0.00	0.07	-0.13
	サークルやコミュニティ等の仲間	0.43	-0.06	0.14	-0.23	-0.21	0.02	-0.41	0.10	0.00	-0.07	0.14	0.20	0.03	0.06	0.10	-0.02	0.09	-0.09	-0.13	0.23
きっかけ	プライベートの友人	0.28	-0.27	-0.04	-0.09	-0.09	-0.25	-0.08	-0.08	-0.01	-0.07	-0.03	0.12	0.01	0.18	-0.25	-0.06	-0.05	0.30	0.07	-0.02
	就業/テレワーク	0.09	-0.33	-0.14	-0.26	-0.24	-0.17	0.04	0.02	0.10	-0.20	-0.02	-0.06	-0.04	0.12	-0.17	0.14	0.03	0.13	0.09	0.21
	仕事の関係で訪れたことがある	0.43	-0.11	0.00	0.26	0.04	0.11	-0.13	0.01	0.14	-0.05	0.04	0.04	-0.04	-0.14	0.01	-0.19	-0.03	0.08	0.04	-0.14
	価値観の変化	0.35	0.16	0.11	-0.29	0.08	0.20	-0.14	0.06	-0.06	-0.03	0.20	0.01	-0.20	0.05	0.04	-0.04	0.15	-0.06	0.07	0.00
	観光・ボランティア等で以前訪問	0.50	-0.23	-0.11	0.11	0.05	0.17	0.08	-0.07	0.04	0.07	0.02	-0.01	-0.07	-0.03	0.09	-0.17	-0.06	0.00	-0.09	-0.08
	シェアリング等を活用	0.35	-0.17	-0.32	-0.26	-0.01	-0.03	0.21	0.07	0.01	0.04	-0.07	-0.23	0.14	-0.09	-0.16	-0.06	0.03	0.08	0.01	-0.03
	地域事情 (雇用、住居等) を教えてくれる住民等	0.55	-0.17	-0.08	0.17	0.02	0.11	0.00	-0.10	0.12	0.03	0.08	-0.13	-0.02	-0.03	0.02	-0.04	-0.08	0.01	-0.09	0.03
	非訪問の関わりがあった	0.43	-0.26	-0.06	0.16	0.14	-0.02	-0.06	-0.03	0.18	0.03	-0.07	-0.11	-0.10	-0.09	-0.01	-0.03	-0.17	0.08	0.03	-0.02
	親族や友人とのつながり	0.41	-0.14	-0.25	0.05	0.02	0.11	0.17	-0.02	-0.12	0.01	-0.02	0.08	-0.02	0.06	0.20	0.06	0.02	-0.07	0.10	0.09
	コネクションハブ	-0.29	-0.46	0.13	0.20	0.00	0.09	0.11	0.03	0.17	-0.12	0.10	0.15	-0.17	-0.02	-0.02	0.19	-0.10	-0.12	0.01	-0.07
関わり年数	5年未満	0.46	-0.20	-0.13	0.21	0.03	0.13	0.10	0.09	-0.03	0.06	0.02	0.09	-0.11	0.09	-0.03	-0.01	-0.10	0.15	-0.15	0.05
	5年～10年未満	0.04	0.41	-0.54	0.29	-0.47	0.23	-0.14	0.15	0.07	-0.12	-0.06	0.08	0.02	0.03	-0.08	0.16	-0.05	0.04	0.04	-0.16
	10年～30年未満	0.11	-0.16	0.27	-0.08	0.13	-0.60	-0.09	0.11	0.19	0.03	0.01	-0.11	0.13	-0.25	0.22	-0.27	-0.18	-0.20	0.07	-0.07
	30年以上	-0.03	-0.21	0.34	-0.25	0.45	0.25	0.14	-0.35	-0.35	0.06	-0.11	0.13	0.09	-0.04	-0.03	0.14	0.19	0.13	-0.09	0.02
滞在頻度	月に10回以上	-0.19	-0.22	0.11	-0.04	0.00	0.00	0.15	0.11	0.15	0.09	0.25	-0.20	-0.35	0.35	-0.11	-0.15	0.04	0.00	-0.03	0.36
	月に数回	0.19	0.17	0.08	0.20	0.00	-0.14	-0.02	0.05	0.06	0.09	-0.37	-0.05	-0.32	-0.02	0.21	0.19	0.36	0.21	0.00	-0.08
	月に1回程度	0.14	-0.06	-0.07	-0.06	0.19	-0.37	-0.12	-0.04	-0.12	-0.12	0.11	0.38	-0.14	0.24	-0.20	0.01	-0.11	-0.20	0.22	-0.26
	年に1回程度	0.12	0.06	0.13	0.21	0.15	0.20	-0.18	-0.03	0.03	-0.17	-0.06	-0.14	0.32	-0.24	-0.50	0.21	-0.15	-0.26	-0.02	0.34
	年に1度	-0.06	-0.24	-0.02	0.24	-0.16	-0.02	0.16	-0.20	-0.26	0.21	0.03	-0.30	0.00	0.27	-0.16	-0.11	0.20	-0.09	-0.10	-0.10
	不定期	-0.03	0.00	0.07	-0.53	-0.28	0.19	0.16	0.32	0.09	0.40	-0.01	-0.02	-0.06	-0.21	-0.01	-0.02	-0.17	0.05	-0.16	-0.19
	非宿泊	-0.13	0.01	-0.04	0.05	0.03	-0.09	0.09	-0.06	0.28	-0.53	0.20	0.05	0.25	0.16	0.35	0.03	0.22	0.02	-0.38	-0.07
滞り場所	親族・知人等の所有物件	-0.10	0.00	0.01	0.12	0.05	0.10	0.03	-0.24	0.06	0.02	-0.13	0.33	0.09	-0.12	0.13	-0.34	-0.19	0.40	0.12	0.17
	シェアリングサービス	-0.15	0.09	-0.20	0.05	0.14	0.06	-0.19	-0.04	-0.21	0.02	0.16	-0.20	-0.19	0.00	0.29	-0.05	-0.07	0.00	0.48	0.32
	旅館・ホテル、ペンション等の宿泊施設	-0.26	-0.50	0.16	0.37	-0.18	0.09	0.07	0.06	0.11	0.01	-0.04	0.09	-0.20	0.04	-0.02	0.01	-0.06	-0.08	0.02	-0.04
	非宿泊	0.35	-0.13	-0.25	0.13	0.15	0.02	0.14	0.06	-0.08	0.02	-0.04	-0.07	-0.01	-0.19	0.02	0.00	0.12	-0.07	0.01	0.09
	コミュニティスペース等の地域の交流拠点施設	0.09	-0.02	-0.13	-0.33	0.17	0.28	0.11	0.12	0.14	-0.14	0.42	0.01	0.13	-0.16	-0.01	-0.03	-0.01	0.19	0.23	-0.15
	生活関連施設	0.49	0.13	0.22	0.08	0.00	-0.01	-0.27	-0.07	-0.14	-0.02	-0.02	-0.06	-0.06	0.07	-0.04	0.01	-0.20	-0.07	-0.25	0.03
	その他	0.27	-0.18	-0.18	0.04	0.17	-0.17	0.01	0.08	0.02	-0.10	-0.16	0.02	-0.04	-0.21	-0.05	0.17	0.30	-0.19	0.24	-0.09
	地域づくりの企画	0.22	-0.02	0.19	-0.22	0.08	0.36	0.01	0.12	0.10	-0.31	-0.45	0.09	-0.23	0.06	-0.01	-0.16	0.03	-0.14	0.03	-0.03
	趣味・消費活動等	0.12	-0.12	-0.14	-0.05	-0.27	0.00	-0.09	-0.47	0.07	0.10	0.10	-0.25	0.16	0.16	0.11	-0.03	-0.02	-0.15	0.21	-0.17
	テレワーク/副業	0.05	-0.10	-0.01	-0.09	0.04	0.09	0.14	0.31	0.05	0.00	0.15	0.25	-0.13	0.07	-0.10	0.08	0.18	-0.17	0.18	0.00
自分の用務	0.09	-0.25	-0.01	-0.13	0.05	-0.11	0.18	0.16	-0.01	-0.04	-0.18	0.02	-0.05	0.22	0.17	0.08	-0.40	-0.07	-0.09	0.10	
非訪問	-0.06	-0.31	-0.10	-0.17	-0.02	0.00	0.25	-0.10	0.01	-0.03	0.03	-0.05	0.09	-0.07	0.02	0.35	-0.23	0.01	-0.01	0.06	
固有値 (1.0以上のみを採用)	3.41	2.56	1.86	1.81	1.62	1.54	1.46	1.43	1.34	1.30	1.25	1.24	1.22	1.20	1.17	1.13	1.11	1.09	1.07	1.04	
寄与率 (%)	6.96	5.23	3.79	3.70	3.30	3.15	2.97	2.92	2.73	2.66	2.55	2.53	2.50	2.45	2.39	2.31	2.27	2.23	2.19	2.12	
累積寄与率 (%)	6.96	12.19	15.98	19.69	22.99	26.13	29.11	32.03	34.76	37.42	39.97	42.50	44.99	47.45	49.83	52.14	54.42	56.64	58.83	60.96	

軸の凡例

- A : テレワーク/副業能動的軸②
- B : 自分ひとり訪問軸②
- C : 会社員テレワーク/副業軸
- D : 親族宅滞在型地域づくり参加軸
- E : 無職自分ひとり地域づくり参加軸
- F : 宿泊施設滞在型地域づくり企画軸
- G : 会社員自分ひとり趣味・消費軸
- H : 無職地域の担い手軸
- I : 自営業自己用務軸
- J : 公務員地域づくり担い手軸②
- K : 関わり年数長期型地域担い手軸
- L : 会社員地域住民交流軸
- M : 公務員地域産業担い手軸②
- N : 無職関わり年数長期型地域づくり担い手軸
- O : 一時単身非訪問・イベント参加軸
- P : 一時単身趣味・消費軸
- Q : 高頻度地域住民交流軸
- R : 同好会地域づくり参加軸
- S : 不定期地域産業・交流軸
- T : 関わり年数長期型イベント参加軸

(3)世代と地域への関わり方に着目したブロック分析結果

ー 性別・世代別の主成分得点：その他地域→首都圏都市部 ー

○ 主成分得点を活用して、性別・世代別に関係人口（訪問系）直接寄与型を類型化。

性別	世代	A：テレワーク/副業能動的軸②	B：自分ひとり訪問軸②	C：会社員テレワーク/副業軸	D：親族宅滞在型地域づくり参加軸	E：無職自分ひとり地域づくり参加軸	F：宿泊施設滞在型地域づくり企画軸	G：会社員自分ひとり趣味・消費軸	H：無職地域の担い手軸	I：自営業自己用務軸	J：公務員地域づくり担い手軸②
男性	A：団塊世代・ポスト団塊世代以上	0.63	0.21	0.10	0.30	-0.27	-0.03	0.20	0.01	0.06	0.09
女性		-0.43	-0.15	-0.62	-0.11	-0.18	-0.15	-0.29	0.00	-0.22	-0.23
男性	B：バブル世代	0.44	0.33	0.49	-0.04	-0.10	-0.07	0.21	-0.19	0.04	0.14
女性		-0.54	-0.18	-0.37	-0.20	0.10	-0.09	0.04	-0.28	-0.19	0.12
男性	C：団塊ジュニア世代・ポスト団塊ジュ	0.20	0.09	0.59	0.18	-0.04	-0.20	0.16	0.00	0.01	-0.07
女性		-0.69	-0.28	-0.48	-0.22	0.02	0.24	-0.16	0.01	0.09	-0.07
男性	D：さとり世代・デジタルネイティブ世	-0.14	-0.08	0.38	-0.13	0.58	0.25	-0.11	0.22	0.22	0.08
女性		-0.94	-0.74	-0.19	-0.21	0.60	0.25	-0.40	0.39	-0.24	-0.36

性別	世代	K：関わり年数長期型地域担い手軸	L：会社員地域住民交流軸	M：公務員地域産業担い手軸②	N：無職関わり年数長期型地域づくり担	O：一時単身非訪問・イベント参加軸	P：一時単身趣味・消費軸	Q：高頻度地域住民交流軸	R：同好会地域づくり参加軸	S：不定期地域産業・交流軸	T：関わり年数長期型イベント参加軸
男性	A：団塊世代・ポスト団塊世代以上	0.01	0.18	0.18	0.21	0.04	0.10	0.05	0.03	0.15	0.15
女性		-0.20	-0.23	-0.13	-0.25	0.01	-0.06	-0.26	-0.06	-0.27	-0.21
男性	B：バブル世代	0.13	0.07	0.24	0.13	-0.01	0.10	0.26	0.01	0.32	0.15
女性		0.02	-0.01	-0.45	-0.61	0.05	-0.21	0.04	-0.10	-0.44	0.02
男性	C：団塊ジュニア世代・ポスト団塊ジュ	0.26	0.24	0.13	0.09	0.12	0.13	0.23	0.13	0.31	0.17
女性		-0.02	-0.17	-0.42	-0.51	-0.16	-0.06	-0.25	-0.13	-0.21	-0.20
男性	D：さとり世代・デジタルネイティブ世	0.03	-0.08	0.15	0.49	-0.06	-0.03	-0.01	0.10	0.08	-0.07
女性		-0.22	-0.17	-0.35	-0.26	-0.01	-0.29	-0.02	-0.06	-0.37	-0.26